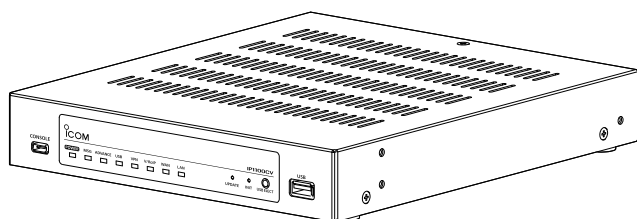


WLAN TRANSCEIVER
CONTROLLER
IP1100CV

本書では、導入時に必要な基本的な説明を記載しています。
また、設定画面の各項目については、取扱説明書 [活用編] に記載
していますので、必要に応じてご覧ください。



Icom Inc.

はじめに

1 ご使用になる前に

2 導入ガイド

3 保守について

4 ご参考に

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、IPネットワークを経由して弊社製WLAN無線機を制御するためのコントローラーです。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

登録商標/著作権

アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

本書の表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

「 」表記：本製品の各メニューと、そのメニューに属する設定画面の名称を(「 」)で囲んで表記します。

[]表記：キー、ランプ、ポート、各設定画面の設定項目名を([])で囲んで表記します。

< >表記：設定画面上に設けられたコマンドボタンの名称を(< >)で囲んで表記します。

※ 本書は、IP1100CV Ver.1.01のファームウェアを使用して説明しています。

※ 本書では、Windows 11の画面を例に説明しています。

※ 本書では、IP100H、IP110H、IP200H、IP200PG、IP210H、VP-2100(リモートコミュニケーターモード時)を「WLAN無線機」と表記しています。

※ 本書では、WLAN無線機を制御するコントローラー(AP-9500、IP1000C、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4)を「無線機コントローラー」と表記しています。

2024年11月現在、VP-2100に対応しているコントローラーはAP-9500、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。

※ 本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、お使いになるパソコンと多少異なる場合があります。

※ 本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

内蔵ファームウェアについて

WLAN無線機のファームウェアオンライン更新

「管理」メニューの「内蔵ファームウェアの更新」画面で、本製品に内蔵しているWLAN無線機のファームウェアをオンラインで更新できます。

※ ファームウェアの確認には、インターネットへの接続環境が必要です。

はじめに

本製品の概要について

- ◎本製品は、弊社製WLAN無線機を制御するコントローラーとして、IPネットワークを経由した呼び出しやメッセージの送受信に対応しています。
 - ※ ご利用になるためには、無線アクセスポイントが必要です。
- ◎弊社製WLAN無線機、IP100FS(リモートコミュニケーター)を、合計300台まで本製品に登録して使用できます。
- ◎市販のUSBメモリーを本製品のUSBポートに接続することで、無線機の通話録音、ファームウェアの更新、設定の保存/復元ができます。
- ◎100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-Tの自動切り替えに対応しています。
- ◎ポートの極性について、MDI(ストレート)/MDI-X(クロス)を自動判別します。
- ◎ネットワーク管理機能として、SNMPに対応しています。
- ◎IPフィルター機能を搭載していますので、アクセス制限ができます。
- ◎本製品は、免許不要・資格不要です。

取り扱い上のご注意

- ◎本製品は、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的とした製品ではありません。
 - 本製品が原因で発生したいかなる損害についても弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎パソコンやその他の周辺機器の取扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。
- ◎次に示す内容をよくお読みになってから、本製品の設定ファイルや弊社ホームページ<https://www.icom.co.jp/>より提供されるアップデート用ファームウェアファイルをご使用ください。
 - 本製品以外の機器への書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎本製品が原因で発生した債務不履行、または不法行為に基づく損害賠償の責任は、当社に故意、または過失のある場合を除いて、本製品の購入代金と同等金額を上限といたします。
- ◎本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修理、または瑕疵のない同一製品、もしくは同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責任は一切負いません。

はじめに

出荷時のおもな設定値

| 設定メニュー | 設定画面 | 設定項目 | 設定名称 | 設定値 |
|----------|----------|-------------|----------|---------------|
| ネットワーク設定 | IPアドレス | IPアドレス設定 | IPアドレス | 192.168.0.1 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | DHCPサーバー | DHCPサーバー設定 | DHCPサーバー | 無効 |
| ルーター設定 | WAN接続先 | 回線種別設定 | 回線種別 | 使用しない |
| 管理 | 管理者 | 管理者パスワードの変更 | 管理者ID | admin(変更不可) |
| | | | 現在のパスワード | — |

※上記以外の設定値については、取扱説明書[活用編]をご覧ください。

※本製品の管理者用ID(admin)は、変更できません。

不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせた長く複雑なものにされることをおすすめします。

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「ご使用になる前に」と弊社ホームページに掲載の下記取扱説明書(PDFファイル)で構成されています。

ご使用になる前に(別紙)

本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を説明しています。

また、本製品の初期化操作など、保守についても説明しています。

取扱説明書[導入編](本書)

本製品の基本的な方法について、本書を最初からお読みいただくことで、設定や設置の作業ができるように構成しています。

取扱説明書[活用編](PDF)

本製品に設定できる詳細な機能について、設定メニューごとに詳細を説明しています。

はじめに

本体MACアドレスが必要なときは

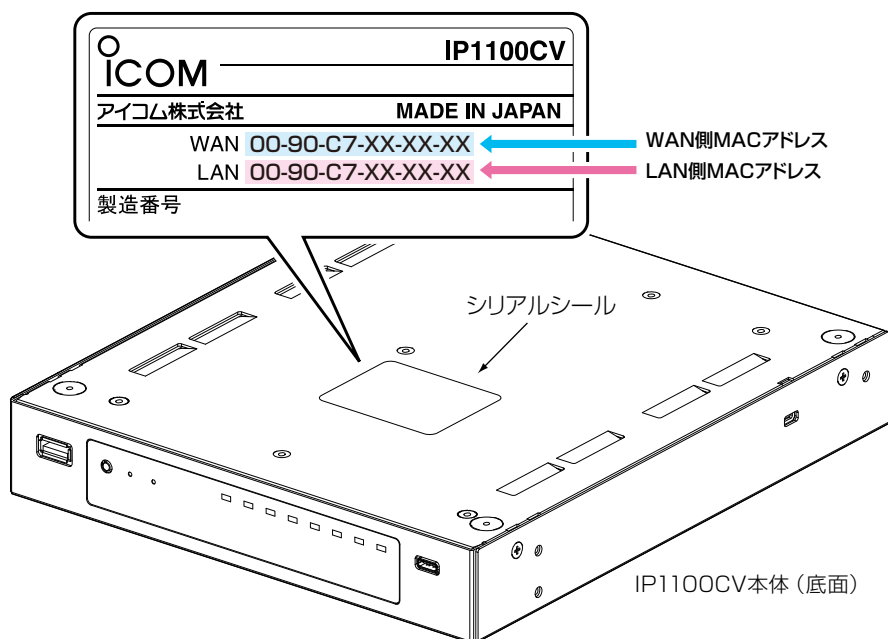
本体MACアドレス(機器固有の番号)は、本製品底面のシリアルシール(下図)に12桁で記載されています。

本製品をインターネットに接続してご使用になる場合、ご契約の接続業者、またはプロバイダーや提供を受けるサービスによっては、モデムに直接接続するネットワーク機器(本製品)がそれぞれ独自に持っているWAN側MACアドレス(機器固有の番号)を、ご契約の接続業者、またはプロバイダーに対して事前申請を必要とする場合があります。

そのような場合、申請、および登録が完了するまで、本製品を利用してインターネットに接続できません。

※LAN側のMACアドレスではありませんのでご注意ください。

※MACアドレスの記載位置は、お買い上げの製品によって若干異なる場合があります。



ご参考

上記のMACアドレスは、設定画面でも確認できます。(取扱説明書[活用編])

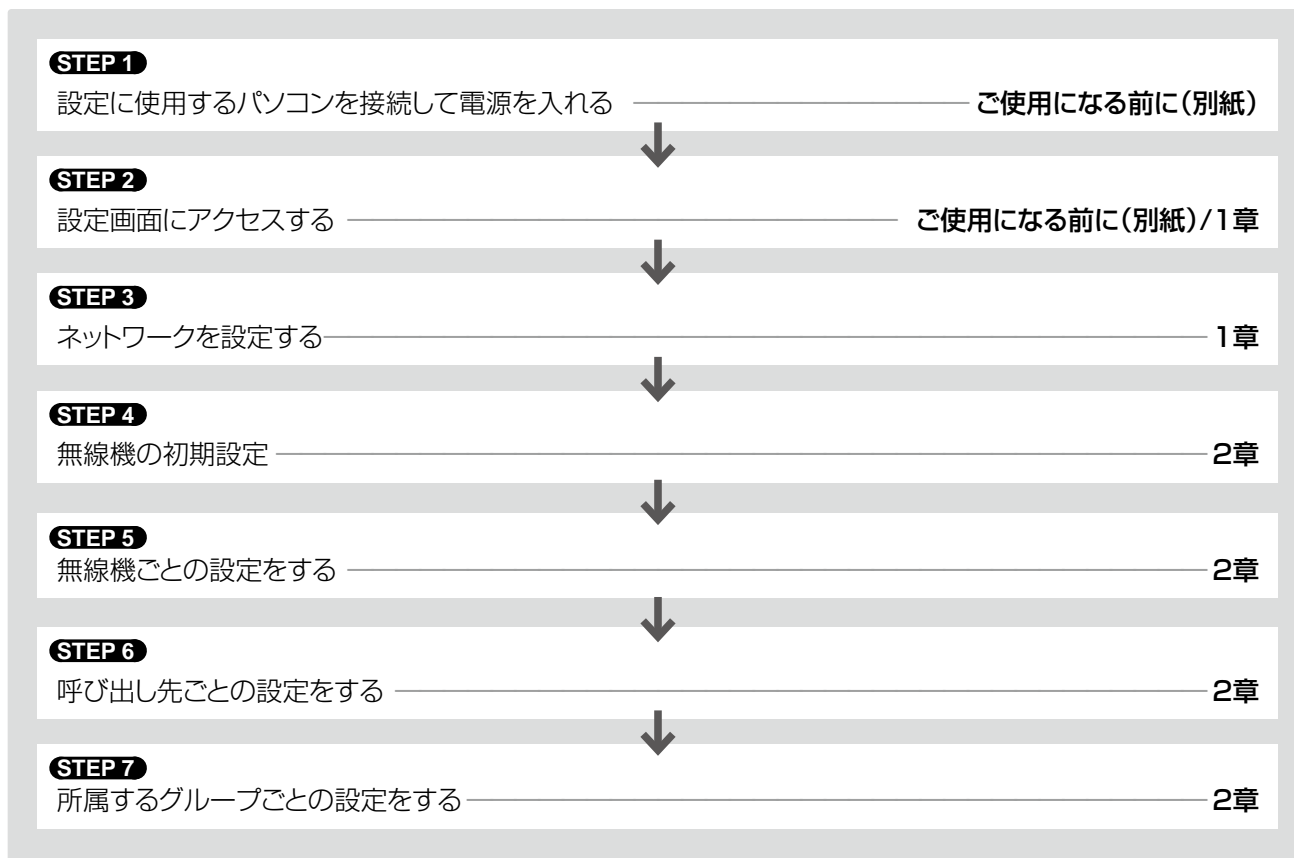
はじめに

ご使用までの流れ

本製品をWLAN無線機のコントローラーとして設定する場合は、次の順にお読みください。

※各STEPの右端に記載する数字は、本書の参照箇所です。

※運用形態によっては設定不要のSTEPもありますので、その場合は次のSTEPに進んでください。



ご注意

本製品は、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的とした製品ではありません。

電池の消耗や電波環境、無線アクセスポイントやネットワークの状態など、周囲の環境によって、通信できないことがあります。

WLAN無線機の緊急呼び出し機能は、補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

この章では、
本製品の基本操作やおもな機能などを説明しています。

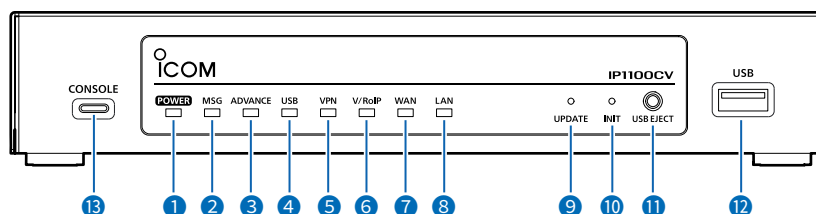
| | |
|--------------------------|------|
| 1. 各部の名称と機能 | 1-2 |
| ■ 前面部 | 1-2 |
| ■ 後面部 | 1-5 |
| ■ 側面部 | 1-6 |
| 2. おもな機能について | 1-7 |
| ■ 基本構成について | 1-7 |
| ■ WLAN無線機のファームウェアについて | 1-9 |
| ■ 単信/複信通信について | 1-10 |
| ■ VOX機能について | 1-10 |
| ■ 多重通信について | 1-10 |
| ■ 全体/グループ呼び出しについて | 1-11 |
| ■ トークグループについて | 1-12 |
| ■ 個別呼び出しについて | 1-13 |
| ■ 通話状態について | 1-13 |
| ■ 優先呼び出しと優先度について | 1-14 |
| ■ 近隣呼出機能について | 1-15 |
| ■ メッセージ機能について | 1-16 |
| ■ プレゼンス機能について | 1-17 |
| ■ ルーター機能 | 1-18 |
| ■ VPN機能 | 1-18 |
| 3. 接続や設置について | 1-19 |
| ■ マグネットの取り付け | 1-19 |
| 4. 設定のしかた | 1-20 |
| ■ 設定用のパソコンに固定IPアドレスを設定する | 1-20 |
| ■ 設定に使うパソコンを接続する | 1-21 |
| ■ 設定画面にアクセスするには | 1-22 |
| ■ 設定画面の名称と機能について | 1-23 |
| ■ 設定画面の表示について | 1-24 |
| ■ 本体IPアドレスを変更するときは | 1-26 |

1 ご使用になる前に

1. 各部の名称と機能

■ 前面部

ランプの動作、接続部やボタンについて説明します。



- ① [POWER] ランプ
 - 緑点灯 : 動作中
 - ☀ 緑点滅 : 起動中
 - 橙点灯 : ブートローダー起動中
 - 赤点灯 : ブートローダープロンプト停止中
 - ☀ 赤点滅 : UID表示★
 - 消 灯 : 電源OFF時

★管理者が本製品の設定画面から操作してランプを点滅させることがあります。

IP1100CVを複数台設置している場合などに、識別のため使用されます。

※電源投入時、すべてのランプが点滅(赤→緑)します。

※起動中、[POWER] ランプは緑点灯→緑点滅→緑点灯の順で遷移します。

- ② [MSG] ランプ
 - 緑点灯 : オンライン更新(ファームウェア更新あり)
 - ☀ 緑点滅 : 初期化動作移行中
 オンライン更新(ファームウェアダウンロード中)
 - 消 灯 : 上記以外

- ③ [ADVANCE] ランプ

将来的な機能拡張用のため、現在は動作しません。

- ④ [USB] ランプ
 - 緑点灯 : USBメモリー接続時
 - ☀ 緑点滅 : USBメモリーアクセス中
 - 赤点灯 : USBメモリーからの設定読み出しや、ファームウェアアップデート失敗
 - 消 灯 : USBメモリー未接続時/取りはずし準備完了

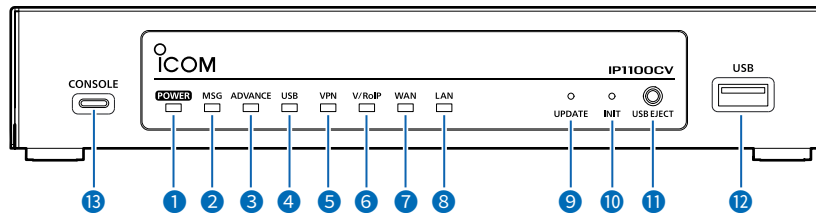
- ⑤ [VPN] ランプ
 - 緑点灯 : IPsecトンネル接続確立時(1つ以上)
 - 消 灯 : 接続未確立時/VPN未設定時/設定無効時

- ⑥ [V/RoIP] ランプ
 - 緑点灯 : WLAN無線機が1台以上登録(レジスト)時
 - 消 灯 : 未登録時/接続試行中

1 ご使用になる前に

1. 各部の名称と機能

■ 前面部

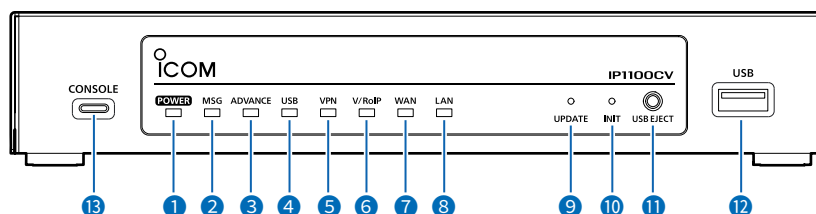


- ⑦ [WAN] ランプ ……………
- 緑点灯： WAN接続完了
PPP確立時(PPPoE)
IPアドレス取得成功(DHCPクライアント)
 - ☀ 赤点滅： 認証エラー(PPPoE)
IPアドレス取得失敗(DHCPクライアント)
 - 消 灯： 上記以外
- ⑧ [LAN] ランプ ……………
- 緑点灯： LAN接続時
 - 消 灯： 上記以外
- ⑨ <UPDATE> ボタン ……………
- 最新ファームウェアがあるとき、[MSG] ランプ(②)が点灯(緑)から点滅(緑)に切り替わるまでボタンを押して、ファームウェアを更新します。
※ペン先などを利用して押してください。
- ⑩ <INIT> ボタン ……………
- 設定を初期化するとき 사용합니다。(P.3-4)
※ペン先などを利用して押してください。
- ⑪ <USB EJECT> ボタン ……………
- [USB] ポート(⑫)に接続したUSBストレージデバイスを取りはずすときは、[USB] ランプ(④)が点灯(緑)から消灯に切り替わるまでボタンを押します。

1 ご使用になる前に

1. 各部の名称と機能

■ 前面部



- 12 [USB]ポート 設定復元やファームウェアの更新などで使用するUSBメモリー(市販品)を差し込むポートです。
(USB3.0)
また、無線機への通話録音をUSB経由で外部ストレージに保存できます。
※あらかじめ、USBデバイス内のデータをバックアップしてから、ご使用ください。
※指紋認証型、アプリケーション認証(パスワード認証)型など、セキュリティー対応型のUSBメモリーは使用できません。
※すべてのUSBデバイスでの動作を保証するものではありません。
- 13 [CONSOLE]ポート 本製品の設定にターミナルソフトウェアを使用するとき、USBケーブル(市販品)を接続します。
(USB Type-C)
※本製品とパソコンをUSBケーブルで接続し、ご使用していただくために必要なUSBドライバーおよびインストールガイドについては、弊社ホームページからダウンロードできます。(下記参照)
※USBケーブル(Type-C)、ターミナルソフトウェアは、別途ご用意ください。

USBドライバーのダウンロードについて

本製品の[CONSOLE]ポートは、弊社ネットワーク機器用のUSBドライバーで動作します。
弊社ホームページのサポート情報(サポート情報→法人のお客様→ダウンロード)から、USBドライバーをダウンロードできます。

アイコム株式会社 サポート情報
<https://www.icom.co.jp/support/business/>

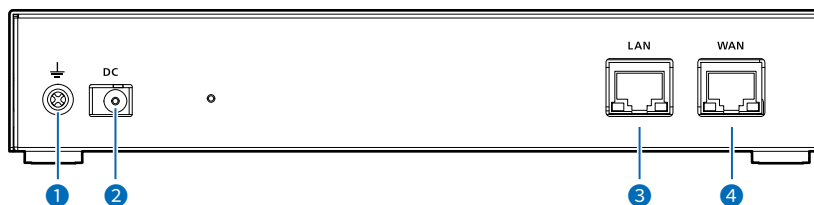
※弊社ホームページからのダウンロード手順については、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

1 ご使用になる前に

1. 各部の名称と機能

■ 後面部

ランプの動作、接続部やボタンについて説明します。



- ① アース端子 市販のアース線を接続します。
- ② DCジャック 本製品に付属のACアダプターを接続します。
- ③ [LAN]ポート HUBなどのネットワーク機器と接続します。
(RJ45型)

ランプ表示



点灯: 接続時
点滅: データ通信中
① 緑色: 1000BASE-T/2.5GBASE-T時
② 橙色: 100BASE-TX時

- ④ [WAN]ポート ADSL、VDSL、CATVでお使いのブリッジタイプモデム、またはFTTHでお
(RJ45型) 使いの回線終端装置と接続します。

ランプ表示



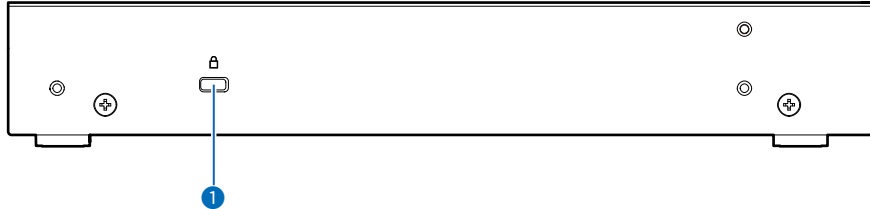
点灯: 接続時
点滅: データ通信中
① 緑色: 1000BASE-T/2.5GBASE-T時
② 橙色: 100BASE-TX時

1 ご使用になる前に

1. 各部の名称と機能

■ 側面部

接続各部について説明します。



- ① **セキュリティーロット** ……… 市販のセキュリティーワイヤーで本製品を固定するときに使用します。セキュリティーワイヤーを固定してから、本製品のセキュリティーロットに取り付けてください。
- ※取り付け方法については、ご使用になるセキュリティーワイヤーの取扱説明書をご覧ください。
- ※セキュリティーワイヤーには、シリンダーヘッド部の横からワイヤーが出るものと、上から出るものがあります。
- ご利用の環境に応じたセキュリティーワイヤーをご用意ください。

1 ご使用になる前に

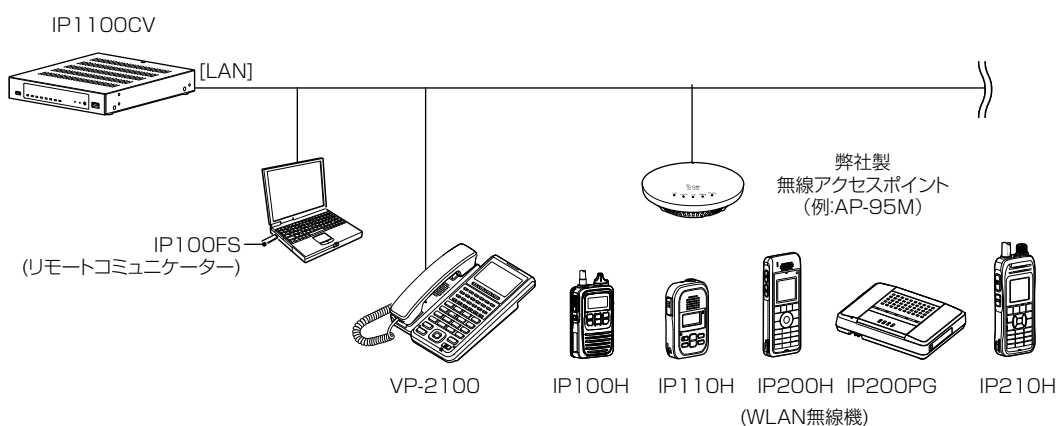
2. おもな機能について

■ 基本構成について

WLAN無線機を制御するコントローラーとして、IPネットワークを経由した呼び出しやメッセージの送受信に対応しています。

※ご利用になるためには、無線アクセスポイントが必要です。(VP-2100を除く)

※2024年11月現在、弊社製IP100H、IP110H、IP100FS、IP200H、IP200PG、IP210H、VP-2100が使用できます。



IP100FS(リモートコミュニケーター)

本製品に登録したIP100HとIPネットワークを経由して音声通信できるソフトウェアです。

パソコンからの呼び出しやメッセージの送受信、WLAN無線機の位置情報、WLAN無線機から送信されたプレゼンス情報の確認、WLAN無線機の遠隔ロックなどに対応しています。

※使用方法について詳しくは、IP100FSのヘルプをご覧ください。

IP100H(WLAN無線機)

IP100Hは、無線LANのIEEE802.11n/a/g/b規格に準拠しています。

本製品を利用して、IPネットワークを経由した音声通信やメッセージ通信ができます。

※ご使用になる環境に合わせたシステム構成を構築してから、本製品で無線機追加設定、CS-IP100Hから無線LAN設定と保守サーバー設定をする必要があります。

※IP100Hの操作方法について詳しくは、IP100Hの取扱説明書をご覧ください。

CS-IP100H(クローニングソフトウェア)

IP100Hをパソコンから設定するためのソフトウェアとして、CS-IP100H(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※弊社ホームページに掲載の「CS-IP100H取扱説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがって別売品のクローニングケーブルを接続してください。

※201番以上のTRX番号を登録する場合は、Ver.2.06以降をご使用ください。

IP110H(WLAN無線機)

IP110Hは、無線LANのIEEE802.11ac/n/a/g/b規格に準拠しています。

本製品を利用して、IPネットワークを経由した音声通信やメッセージ通信ができます。

※ご使用になる環境に合わせたシステム構成を構築してから、本製品で無線機追加設定、CS-IP110Hから無線LAN設定と保守サーバー設定をする必要があります。

1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

■ 基本構成について

CS-IP110H(プログラミングソフトウェア)

IP110Hをパソコンから設定するためのソフトウェアとして、CS-IP110H(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※ 弊社ホームページに掲載の「CS-IP110H取扱説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがってIP110Hに付属のUSBケーブルを接続してください。

IP200H(WLAN無線機)

IP200Hは、無線LANのIEEE802.11ac/n/a/g/b規格に準拠しています。

本製品を利用して、IPネットワークを経由した音声通信やメッセージ通信ができます。

※ ご使用になる環境に合わせたシステム構成を構築してから、本製品で無線機追加設定、CS-IP200Hから無線LAN設定と保守サーバー設定をする必要があります。

※ お買い上げの販売店で設定されている場合、IP200HはIP無線機やIP電話としても使用できます。

IP200Hの操作方法について詳しくは、IP200Hの取扱説明書をご覧ください。

CS-IP200H(プログラミングソフトウェア)

IP200Hをパソコンから設定するためのソフトウェアとして、CS-IP200H(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※ 弊社ホームページに掲載の「CS-IP200H取扱説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがってIP200Hに付属のUSBケーブルを接続してください。

IP200PG(WLAN無線機)

IP200PGは、無線LANのIEEE802.11ac/n/a/g/b規格に準拠しています。

本製品を利用して、IPネットワークを経由した音声通信ができます。

※ ご使用になる環境に合わせたシステム構成を構築してから、本製品で無線機追加設定、CS-IP200PGから無線LAN設定と保守サーバー設定をする必要があります。

※ お買い上げの販売店で設定されている場合、IP200PGはIP無線機やIP電話としても使用できます。

IP200PGの操作方法について詳しくは、IP200PGの取扱説明書をご覧ください。

CS-IP200PG(プログラミングソフトウェア)

IP200PGをパソコンから設定するためのソフトウェアとして、CS-IP200PG(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※ 弊社ホームページに掲載の「CS-IP200PG取扱説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがってIP200PGに付属のUSBケーブルを接続してください。

IP210H(WLAN無線機)

IP210Hは、無線LANのIEEE802.11ac/n/a/g/b規格に準拠しています。

本製品を利用して、IPネットワークを経由した音声通信やメッセージ通信ができます。

※ ご使用になる環境に合わせたシステム構成を構築してから、本製品で無線機追加設定、CS-IP210Hから無線LAN設定と保守サーバー設定をする必要があります。

※ お買い上げの販売店で設定されている場合、IP210HはIP無線機やIP電話としても使用できます。

IP210Hの操作方法について詳しくは、IP210Hの取扱説明書をご覧ください。

CS-IP210H(プログラミングソフトウェア)

IP210Hをパソコンから設定するためのソフトウェアとして、CS-IP210H(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※ 弊社ホームページに掲載の「CS-IP210H取扱説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがってIP210Hに付属のUSBケーブルを接続してください。

1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

■ 基本構成について

VP-2100(WLAN無線機)

VP-2100は、IPネットワークを經由して、弊社製IP電話機やWLAN無線機などを呼び出しできる卓上型IPフォンです。本製品に収容することで、WLAN無線機と通話できるリモートコミュニケーターモードを搭載しています。

※ ご使用になる環境に合わせたシステム構成を構築してから、本製品で無線機追加設定、VP-2100本体で保守サーバー設定をする必要があります。

VP-2100の操作方法について詳しくは、VP-2100の取扱説明書をご覧ください。

TOP

■ WLAN無線機のファームウェアについて

本製品は、内蔵するWLAN無線機のファームウェアバージョンが「TOP」メニューに表示されます。

※本製品に登録されたWLAN無線機ごとのファームウェアのバージョン情報は、「無線機設定」→「無線機管理」画面で確認できます。

| | |
|--------------------------|----------|
| 本体名称 | IP1100CV |
| バージョン | 1.0.0 |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP100H) | 1.0.0 |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP110H) | 1.0.0 |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP200H) | 1.0.0 |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP200PG) | 1.0.0 |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP210H) | 1.0.0 |
| 内蔵ファームウェアバージョン (VP-2100) | 1.0.0 |

1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

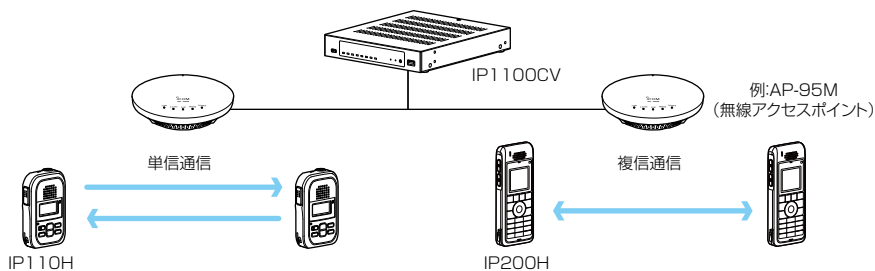
■ 単信/複信通信について

2種類(単信/複信)の通信方式に対応しています。

単信は送信と受信を交互に切り替えて交信する方式、複信は電話のように同時通話できる方式です。

本製品に登録したWLAN無線機ごとに、「無線機個別」画面で通信方式を設定します。

【単信通信と複信通信】



■ VOX機能について

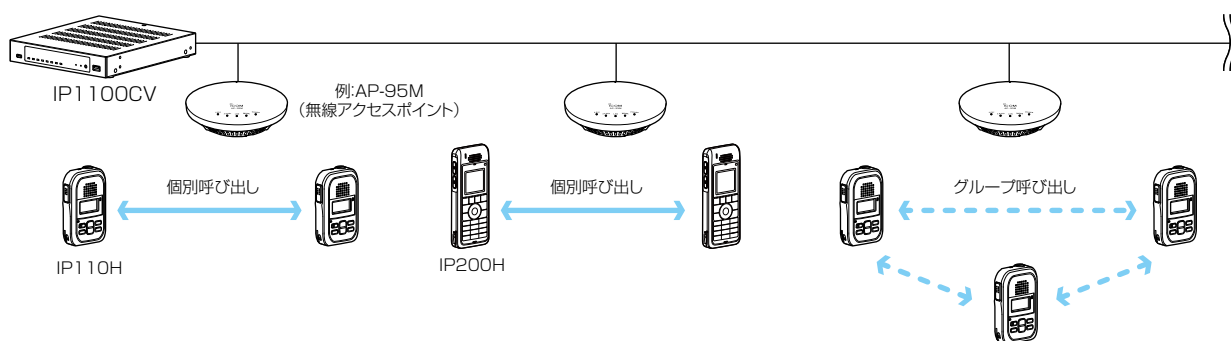
WLAN無線機(VP-2100を除く)の[PTT]を押さずに、ヘッドセット(別売品)からの音声によって送受信を自動的に切り替えるVOX機能を使用できます。

※VOX機能対応のヘッドセット(別売品)を接続すると、音声によって送受信を自動的に切り替えます。

詳しくは、ご使用になるWLAN無線機の取扱説明書をご覧ください。

■ 多重通信について

IPネットワークでは混信が発生しないため、システム内で同時に複数の音声通信ができます。

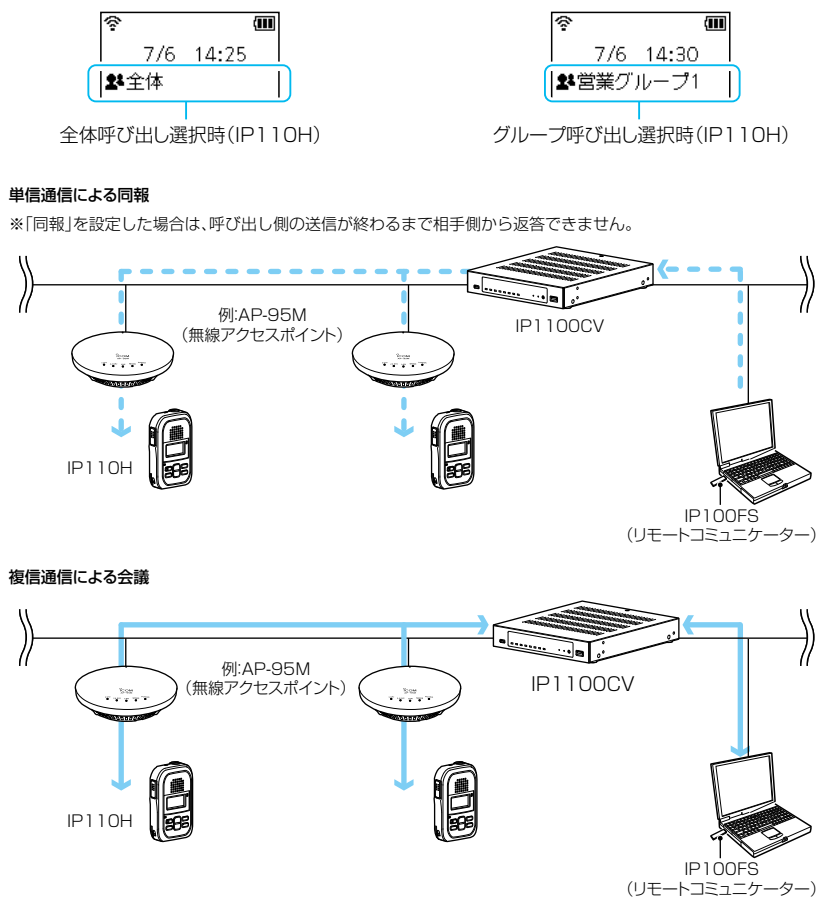


1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

■全体/グループ呼び出しについて

全体、グループ呼び出しごとに、「同報」(1対N：単信通信)、「会議」(多者間通話：複信通信)が設定できます。



全体呼び出しについて

本製品の「無線機追加」画面で登録したWLAN無線機をすべて呼び出すときに使用します。

グループ呼び出しについて

呼び出したいグループをアドレス帳から選択して呼び出します。

※本製品の「無線機追加」画面で登録したWLAN無線機を、「呼出先設定」画面でグループに分け、呼び出すためのグループ番号を割り当てる必要があります。

※本製品で設定したアドレス帳、呼出先設定は、WLAN無線機が所属する設定グループごとで共用します。

電話との通話について(IP100H/IP110Hを除く)

WLAN無線機モードで動作しているWLAN無線機から電話を呼び出したり、電話から個別にWLAN無線機を呼び出したりできません。

WLAN無線機を電話から呼び出す場合、全体やグループ呼び出しを設定してください。

1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

■トークグループについて

あらかじめ本製品にトークグループとして登録しておいたグループから、WLAN無線機側でどのグループに所属するかを選択できる機能です。

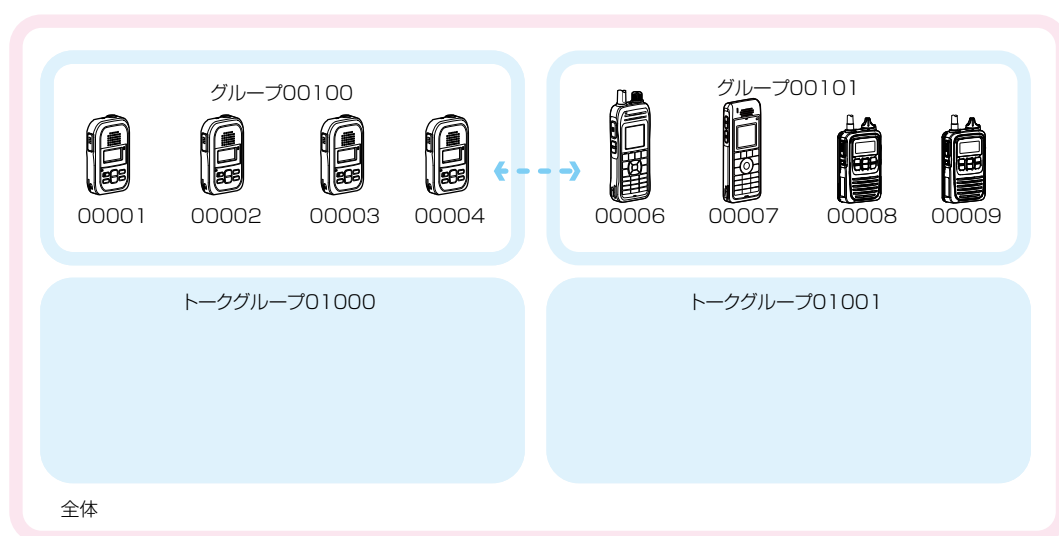
同じトークグループに所属するほかの端末とグループ呼び出しができます。

図のように、トークグループ(例：01000)を選択すると、その端末(例：00004)は通常のグループ(例：00100)からはずれます。

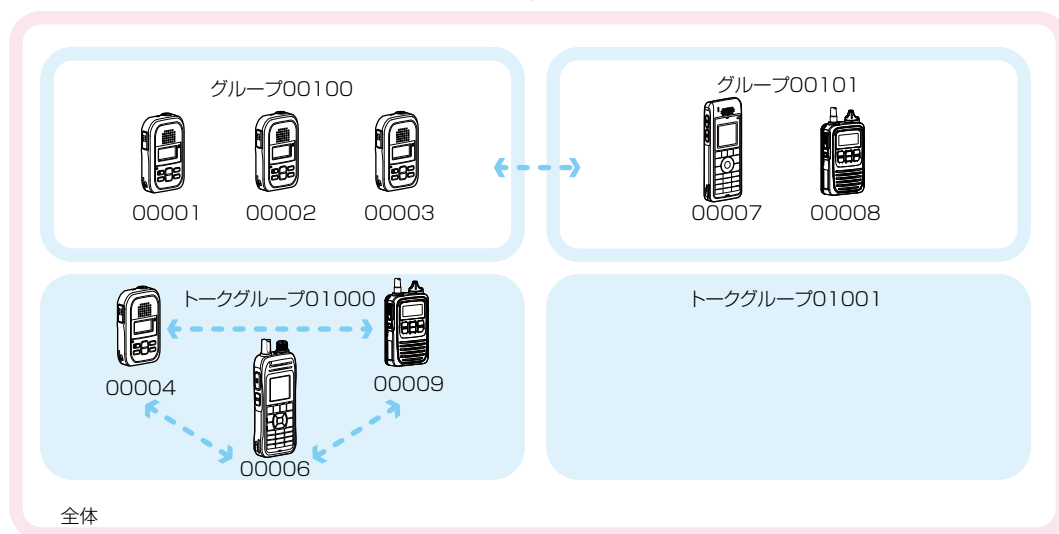
※IP200PGで使用する場合は、常時、所属するトークグループを本製品で設定します。

※操作方法については、ご使用になるWLAN無線機の取扱説明書をご覧ください。

トークグループOFF時



トークグループ選択時



※本製品の「呼出先設定」画面と「アドレス帳」画面でトークグループ番号を登録する必要があります。

※トークグループ種別が「管理用」に設定されている場合は、複数のトークグループと通話できます。

※全体呼び出しの対象にトークグループを含めるかどうか、トークグループの呼び出し対象にどのIP100FSを含めるかなど、本製品で設定します。

※本製品で設定したアドレス帳、呼出先設定は、WLAN無線機が所属する設定グループごとで共用します。

1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

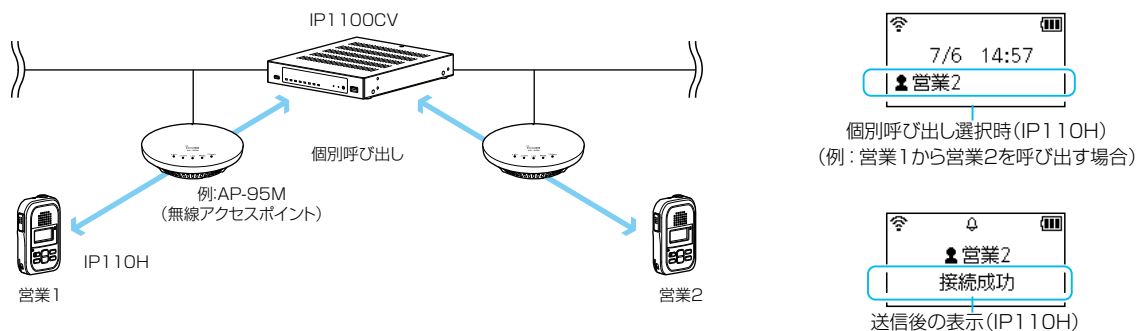
■ 個別呼び出しについて

指定した無線機と1対1で通話するときには使用します。

個別呼び出しをすると、WLAN無線機の表示部に接続結果(接続成功/通話中/応答なし)が表示されます。

※相手先が圏外の場合は、「応答なし」が表示されます。

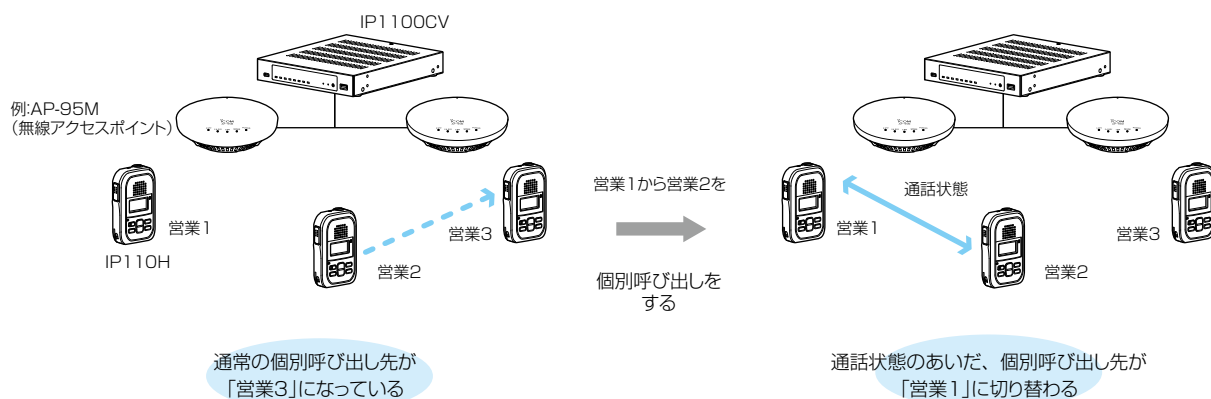
※「設定グループ詳細」画面で、接続通知音が「有効」に設定されているときは接続の成功や失敗を音でもお知らせします。



■ 通話状態について

発信、または着信をすると、通話状態になります。

通話状態のあいだ★は、送信操作だけで通話相手と通信できます。



★通話状態のあいだとは、終話判定時間内、または別の相手局を呼び出すまでのことです。

終話判定時間について

通話相手からの送信が終了したあと、待ち受け状態(待受画面)に戻るまでの時間です。(出荷時の設定: 5秒)

終話判定時間内の新規着信拒否(着信の優先度)について

通話相手からの送信が終了したあと、待ち受け状態(待受画面)に戻るまでに別の相手からの着信があった場合、優先度に応じて新規着信を受け付けるように設定されています。

※現在の通話よりも高い優先度の着信は受け付けますが、それ以下または同等の優先度の着信は受け付けません。

終話判定時間が経過したあとに、着信を受け付けます。

※本製品で設定した終話判定時間は、WLAN無線機が所属する設定グループごとで共有します。

1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

■ 優先呼び出しと優先度について

出荷時、WLAN無線機に優先度の高い呼び出し権限を付与する場合に使用する優先呼出機能は、「無効」に設定されています。

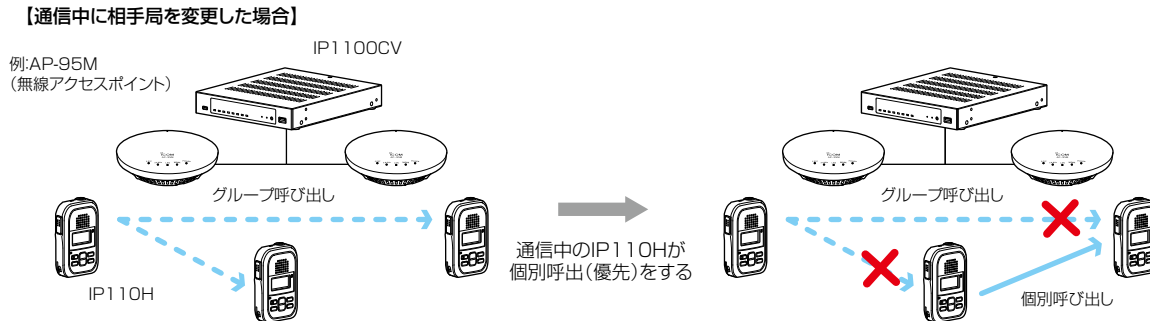
呼出種別ごとの優先度は、下記ようになります。

| 優先度 | 優先順位* | 呼出種別 | 優先呼出 | 備考 |
|------------------|-------|------------|------|--------------------|
| 高 ↑ ↓ 低 | 固定 | 電話通信 | — | 電話通信 |
| | | 緊急呼び出し(優先) | 有効 | — |
| | | 緊急呼び出し | 無効 | — |
| | 可変 | 全体呼出(優先) | 有効 | 近隣呼出/IP100FS使用時も含む |
| | | 個別呼出(優先) | 有効 | IP100FS使用時も含む |
| | | グループ呼出(優先) | 有効 | 近隣呼出/IP100FS使用時も含む |
| | | 全体呼出 | 無効 | 近隣呼出も含む |
| | | 個別呼出 | 無効 | — |
| | | グループ呼出 | 無効 | 近隣呼出も含む |

★「可変」は、「RoIPサーバー」画面の[通話優先順位設定]項目で変更できます。

※同一優先順位内での優先度は、呼び出した順番となります。

※着信時の応答は、発信側の優先度にしたがいます。



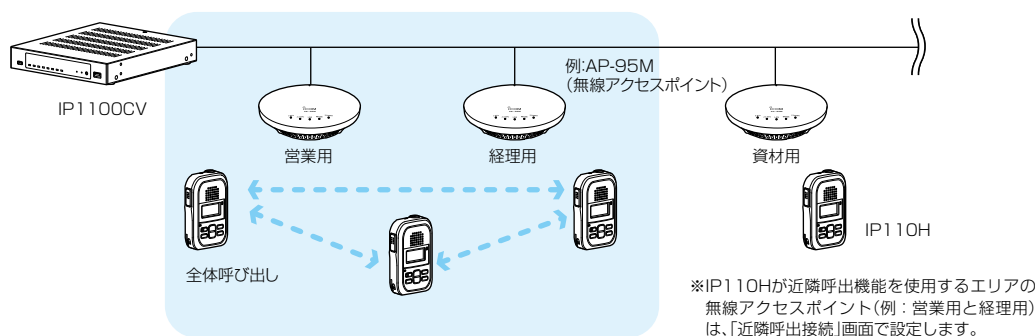
1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

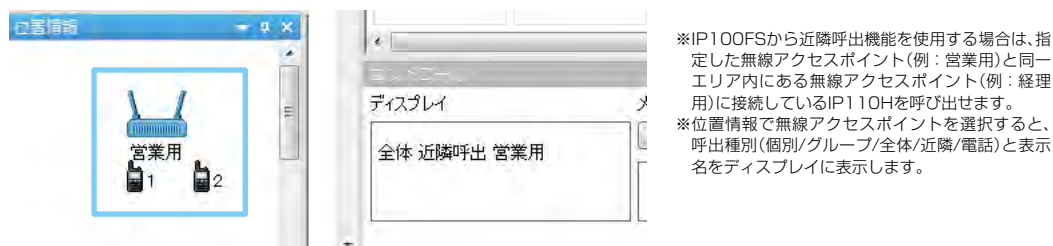
■ 近隣呼出機能について

特定のエリアに限定して運用をするときに使用する機能です。 (出荷時の設定：無効)
WLAN無線機側(IP200PG/VP-2100を除く)で近隣呼出機能を「ON」にしている状態で全体/グループ呼び出しをすると、WLAN無線機が接続している無線アクセスポイントと同一エリア内のWLAN無線機を呼び出します。

【IP110Hから近隣呼出機能で全体呼び出しをした場合】



【IP100FSから近隣呼出機能で呼び出す場合】



※この機能を使用するには、本製品の「無線機個別」画面でWLAN無線機ごとの近隣呼出機能を「有効」にし、「近隣呼出接続」画面でエリア内の無線アクセスポイント(BSSID)を登録しておく必要があります。

1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

■メッセージ機能について

WLAN無線機 (IP200PGを除く) でメッセージを送受信するときに設定します。 (出荷時の設定: 無効)

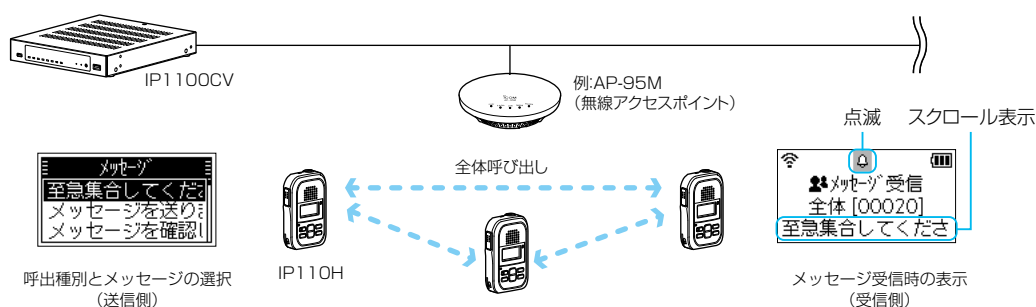
※WLAN無線機から送信する半角32(全角16)文字以内の定型メッセージは、「設定グループ」メニューの「メッセージ」画面で最大10件登録できます。

※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。

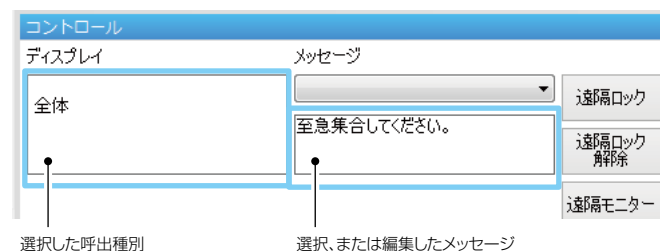
※環境依存文字を入力しないでください。

環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。

【IP110Hからメッセージを送信する場合】



【IP100FSからメッセージを送信する場合】



※IP100FSでは、最大100件の定型メッセージをサイトごとに登録できます。登録したメッセージを選択、またはメッセージを編集して送信できます。

※この機能を使用するには、本製品の「無線機個別」画面でWLAN無線機ごとのメッセージ機能を「有効」にしておく必要があります。

※本製品で設定した定型メッセージは、所属する設定グループごとで共用します。

1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

■ プレゼンス機能について

WLAN無線機 (IP200PGを除く) からステータス情報 (例: 会議中) を送信するときに設定します。

(出荷時の設定: 無効)

※WLAN無線機から送信する半角32 (全角16) 文字以内のステータス情報は、「設定グループ」の「プレゼンス」画面で最大10件登録できます。

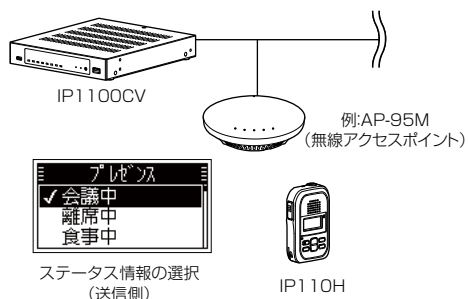
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。

※環境依存文字を入力しないでください。

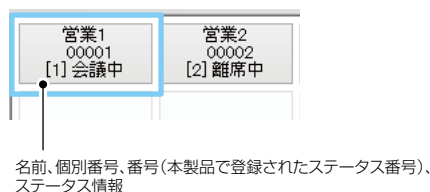
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。

※WLAN無線機から送信されたステータス情報は、IP100FSのワンタッチボタン画面や本製品の「無線機設定」の「無線機管理」画面で確認できます。

【IP110Hからプレゼンスを送信する場合】



【IP100FSでプレゼンスを確認する場合】



【本製品でプレゼンスを確認する場合】

| 無線機管理 | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-----|--------|-----|-------|------|---------------|--------|-------|----------|-----------|-------|
| <input type="checkbox"/> | すべて | TRX番号 | 機種 | 名前 | 個別番号 | レジスト状態 | IPアドレス | プレゼンス | トークグループ | 位置情報 | バージョン |
| <input type="checkbox"/> | 1 | IP110H | 営業1 | 00001 | 接続中 | 192.168.0.201 | 会議中 | - | 00-90-C7 | Ver. 1.00 | |
| <input type="checkbox"/> | 2 | IP110H | 営業2 | 00002 | 接続中 | 192.168.0.200 | 離席中 | - | 00-90-C7 | Ver. 1.00 | |
| <input type="checkbox"/> | 3 | IP110H | 営業3 | 00003 | 接続中 | 192.168.0.99 | 作業中 | - | 00-90-C7 | Ver. 1.00 | |

ステータス情報

※この機能を使用するには、本製品の「無線機個別」画面でWLAN無線機ごとのプレゼンス機能を「有効」にしておく必要があります。

1 ご使用になる前に

2. おもな機能について

■ ルーター機能

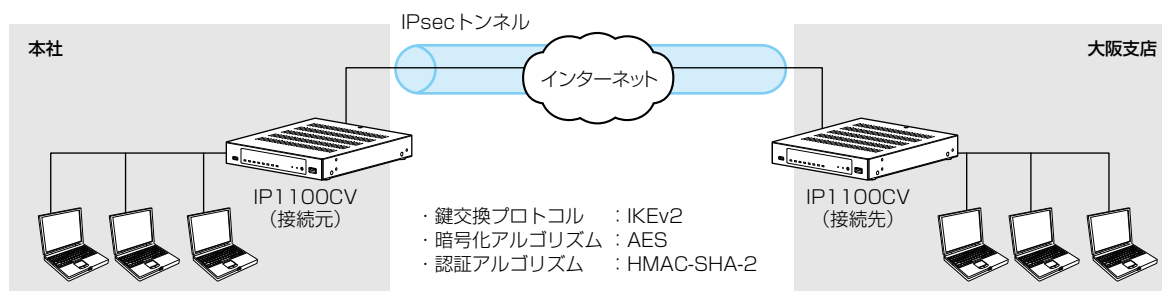
本製品のルーター機能を使用すると、本製品に接続したパソコンや機器からインターネットに接続できます。
※お使いのブリッジタイプモデム、またはFTTHでお使いの回線終端装置を本製品の[WAN]ポートに接続します。
※ご契約の回線接続業者との契約内容にしたがって、回線種別(DHCPクライアント/PPPoE/固定IP)を設定してください。

■ VPN機能

VPN(Virtual Private Network)機能を使用すると、インターネット上の2地点を暗号化通信で接続して、仮想的なネットワークを構成できます。

※本製品のVPN機能は、AP-9500、AP-9600、IP1100CV、SR-7100VN、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4と互換性があります。(2024年11月現在)

※接続先に合わせて、IPsecトンネルを登録してください。(取扱説明書[活用編])

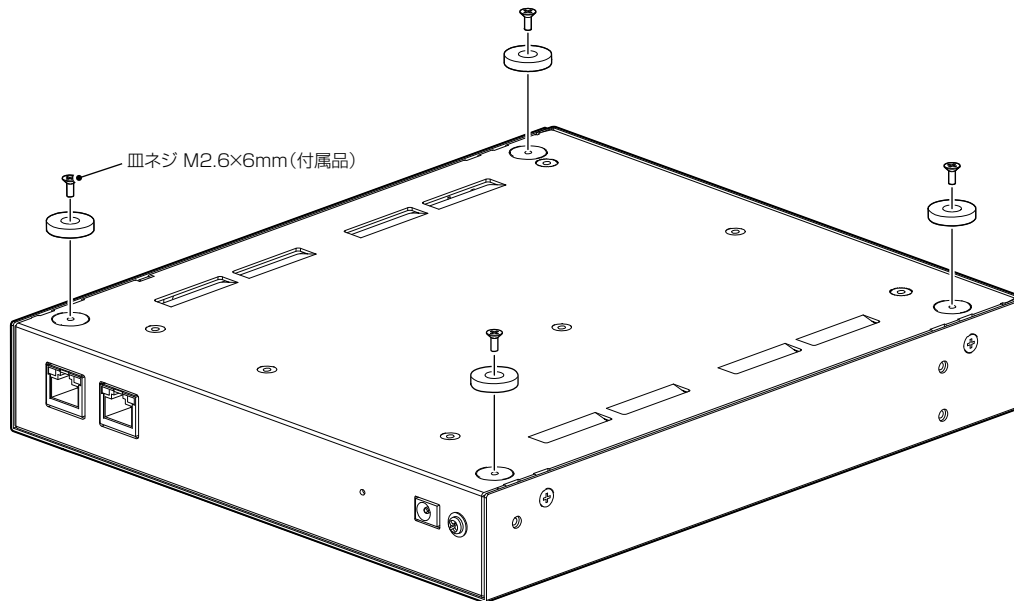


1 ご使用になる前に

3. 接続や設置について

■ マグネットの取り付け

付属のマグネットを図のように底面部に取り付けると、本製品を固定できます。



ご注意

- ◎マグネットで、指を挟まないようご注意ください。
- ◎心臓ペースメーカーなど電子医療機器をお使いのかたは、心臓ペースメーカーなどの植え込み部位に近づけたり、当てたりしないでください。電子医療機器などの動作に影響を与え、生命の危険があります。
- ◎時計、コンパスや精密機器、キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気/ICカードを近づけないでください。製品の誤動作の原因になったり、磁気/ICカードの内容が消去されたりすることがあります。

1 ご使用になる前に

4. 設定のしかた

出荷時、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1」、DHCPサーバー機能は「無効」に設定されています。
本製品の設定画面にアクセスするときは、接続するパソコンに固定IPアドレスの設定が必要です。

■ 設定用のパソコンに固定IPアドレスを設定する

Windows 11を例に、固定IPアドレス(例：192.168.0.100)をパソコンに設定する手順について説明します。

1 <スタート>(ロゴボタン)で右クリックし、表示されたメニューで[ネットワーク接続]をクリックします。

2 「ネットワークとインターネット」画面で[ネットワークの詳細設定]をクリックします。



3 [イーサネット]の[v]をクリックします。



4 [その他のアダプターオプション]の<編集>をクリックします。



5 「イーサネットのプロパティ」画面で、[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]を選択し、<プロパティ(R)>をクリックします。

「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」画面(別画面)が表示されます。

6 [次のIPアドレスを使う(S)]をクリックし、[IPアドレス(I)](例：192.168.0.100)と[サブネットマスク(U)](例：255.255.255.0)を入力して、<OK>をクリックします。



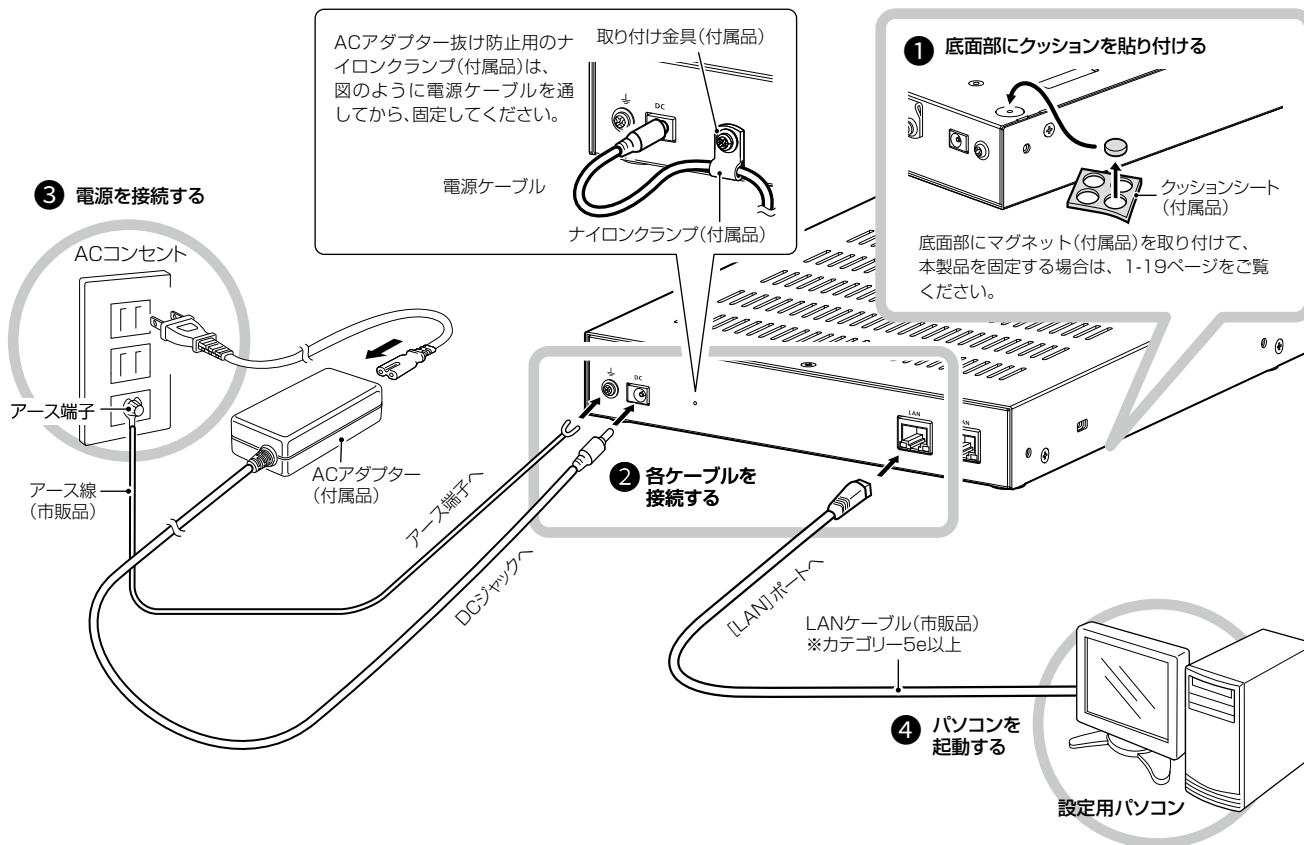
7 <OK>をクリックします。

1 ご使用になる前に

4. 設定のしかた

■ 設定に使うパソコンを接続する

本製品の電源を入れ、ランプの点灯を確認します。



⚠ 警告

- ◎本製品のアース端子を、ガス管や水道管には絶対に接続しないでください。
- ◎落雷したときの電氣的ショックの緩和、感電やノイズの回り込みを防止するため、本製品のアース端子は、市販のアース線を使用して、コンセントのアース端子、または地中に埋めたアース棒(市販品)に必ず接続してください。

1 ご使用になる前に

4. 設定のしかた

■ 設定画面にアクセスするには

本製品に接続したパソコンのWebブラウザから、本製品の設定画面にアクセスする手順について説明します。

1 Webブラウザを起動します。

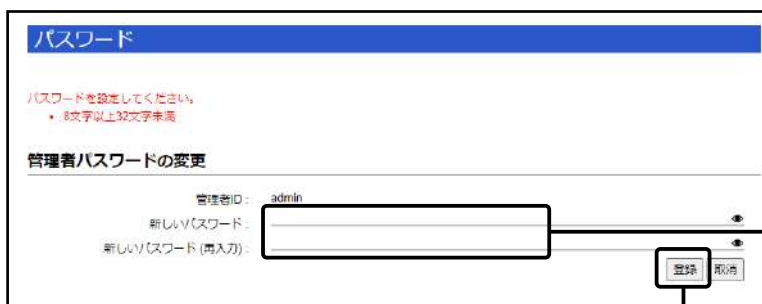
2 Webブラウザのアドレスバーに「http://192.168.0.1/」を入力します。
出荷時、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1」に設定されています。



入力する

3 [Enter]キーを押します。
初回ログイン画面が表示されます。

4 大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号(8文字以上32文字未満)で各項目を入力して、〈登録〉をクリックします。
サインイン画面が表示されます。

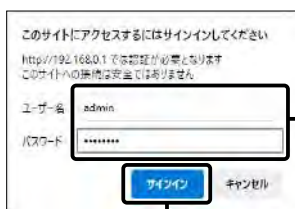


①入力する

※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。

②クリック

5 サインイン画面が表示されたら、[ユーザー名]欄に「admin」、[パスワード]欄に手順4で設定したパスワードを入力し、〈サインイン〉をクリックします。
通常の設定画面に切り替わります。



①入力する

②クリック

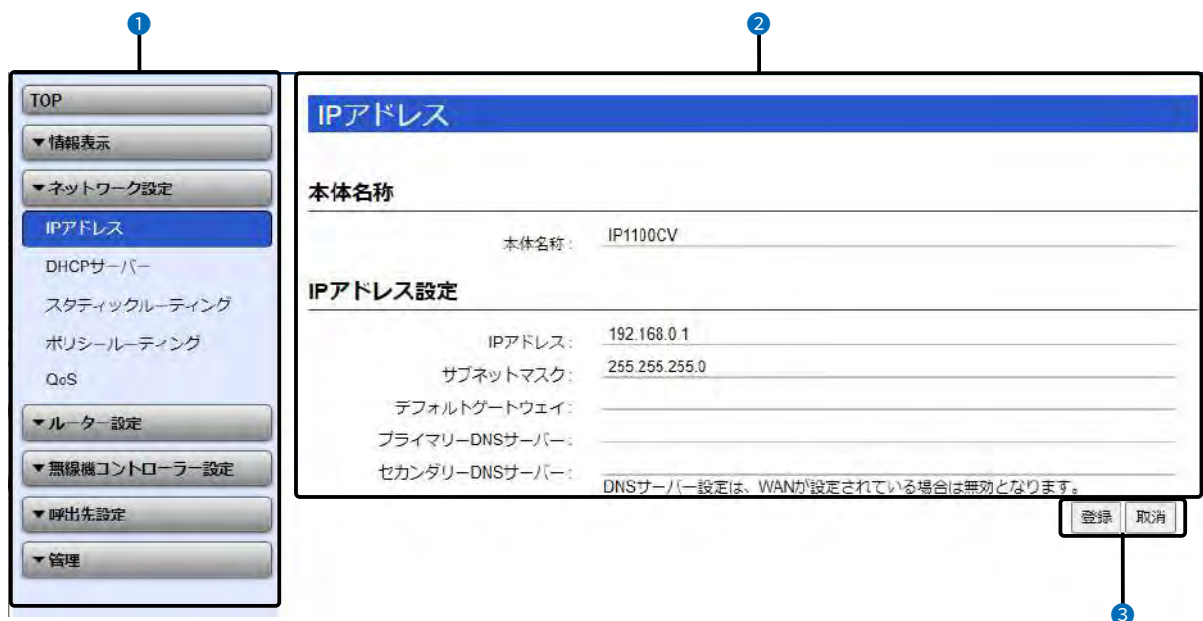
※次回以降のアクセスでは、ユーザー名(admin)と設定したパスワードを入力してください。
※管理者パスワードを忘れた場合は、工場出荷時(初期値)の状態に戻す必要があります。(P.3-4)

1 ご使用になる前に

4. 設定のしかた

■ 設定画面の名称と機能について

設定画面の名称と各画面に含まれる項目を説明します。
設定画面の構成について詳しくは、4-6ページをご覧ください。



※説明には、「IPアドレス」画面を使用しています。

- ① 設定画面選択メニュー 各メニューのタイトル上にマウスポインターを合わせてクリックすると、そのメニューに含まれる設定画面へのリンクが表示されます。
- ② 設定画面表示エリア [設定画面選択メニュー] (①) で選択したメニューに含まれる設定画面へのリンク (例：ネットワーク設定/IPアドレス) をクリックしたとき、その内容が表示されます。
- ③ 設定ボタン 設定した内容の登録や取り消しをします。
※表示画面によって、表示されるボタンの種類や位置が異なります。

1 ご使用になる前に

4. 設定のしかた

■ 設定画面の表示について

Webブラウザのウィンドウサイズによって表示方法が異なります。
ウィンドウの幅を狭くすると、メニューが折りたたまれ「≡」が表示されます。
さらに狭くすると項目がすべて縦に表示されます。
ご使用になるパソコンの画面サイズに合わせて調整してください。

設定画面：大

ICOM IP1100CV

TOP

▼ 情報表示

▼ ネットワーク設定

IPアドレス

DHCPサーバー

スタティックルーティング

ポリシールーティング

IPアドレス

本体名称

本体名称: IP1100CV

IPアドレス設定

IPアドレス: 192.168.0.1

設定画面：中

ICOM IP1100CV

≡

IPアドレス

本体名称

本体名称: IP1100CV

IPアドレス設定

設定画面：小

ICOM IP1100CV

≡

IPアドレス

本体名称

本体名称:
IP1100CV

IPアドレス設定

1 ご使用になる前に

4. 設定のしかた

■ 設定画面の表示について

「≡」をクリックすると、折りたたまれたメニューが表示されます。



1 ご使用になる前に

4. 設定のしかた

ネットワーク設定 > IPアドレス > IPアドレス設定

■ 本体IPアドレスを変更するときは

本製品のIPアドレスを変更するときは、既存のネットワークと重複しないように設定します。

- 1 「ネットワーク設定」メニュー、「IPアドレス」の順にクリックします。
- 2 「IPアドレス」画面で、「IPアドレス設定」項目の設定を変更し、〈登録〉をクリックします。

本体名称

本体名称: IP1100CV

IPアドレス設定

IPアドレス: 192.168.0.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ: _____

プライマリーDNSサーバー: _____

セカンダリーDNSサーバー: _____

DNSサーバー設定は、WANが設定されている場合は無効となります。

登録

- 3 設定変更後、「設定画面に戻る」と表示された文字の上にマウスポインターを移動してクリックします。
[ユーザー名]と[パスワード]を求める画面が表示されます。(P.1-22)
※IPアドレスの「ネットワーク部(例: 192.168.0)」を変更したときは、設定に使用するパソコンの「ネットワーク部」についても本製品と同じに変更します。

IPアドレスの割り当てかた

IPアドレスは、「ネットワーク部」と「ホスト部」の2つの要素から成り立っています。

出荷時の本製品のIPアドレス「192.168.0.1」(クラスC)を例とすると、最初の「192.168.0」までが「ネットワーク部」で、残りの「1」を「ホスト部」といいます。

「ネットワーク部」が同じIPアドレスを持つネットワーク機器(パソコンなど)は、同じネットワーク上にあると認識されます。さらに「ホスト部」によって同じネットワーク上にある各ネットワーク機器を識別しています。

以上のことから、IPアドレスを割り当てるときは、次のことに注意してください。

- 同じネットワークに含めたいネットワーク機器に対しては、「ネットワーク部」をすべて同じにする
- 同じネットワーク上の機器に対して、「ホスト部」を重複させない
- ネットワークアドレス(ホスト部の先頭、および「0」)を割り当てない
- ブロードキャストアドレス(ホスト部の末尾、および「255」)を割り当てない

この章では、

本製品のコントローラー機能をご使用いただくために必要な基本設定の手順を説明しています。

| | |
|------------------------------|------|
| 1. ご使用になるまでの流れ | 2-2 |
| ■ 接続/設定準備について | 2-2 |
| ■ 設定の流れについて | 2-3 |
| 2. 無線機の構築について | 2-5 |
| ■ 無線機の登録について | 2-6 |
| ■ 登録の確認/WLAN無線機の再起動 | 2-7 |
| ■ 無線機の個別設定について | 2-8 |
| ■ グループ呼び出しについて | 2-9 |
| ■ トークグループ呼び出しについて | 2-10 |
| ■ アドレス帳について | 2-11 |
| ■ メッセージについて | 2-12 |
| ■ プレゼンスについて | 2-13 |
| ■ 設定グループで共用するアドレス帳とメッセージについて | 2-14 |
| 3. 無線機の通話を録音する場合 | 2-15 |
| ■ 設定のしかた | 2-15 |
| ■ 録音データについて | 2-16 |
| 4. ブリッジ接続と呼出先設定について | 2-17 |
| 5. 他拠点接続設定について | 2-21 |
| 6. オーダーコールシステムについて | 2-27 |
| ■ オーダーコールシステム連携時の初期設定について | 2-28 |
| ■ オーダーコールシステム連携時のグループ設定について | 2-30 |
| ■ オーダーコールシステム連携時の設定について | 2-32 |
| ■ オーダーコールシステム連携時の操作について | 2-35 |
| ■ オーダーコールシステム連携時の音声データについて | 2-37 |

2 導入ガイド

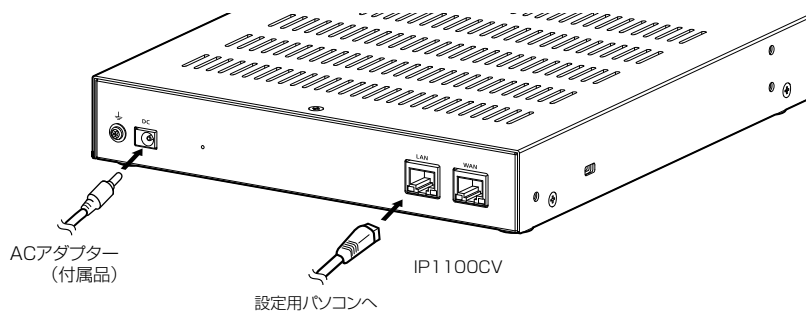
1. ご使用になるまでの流れ

■ 接続/設定準備について

本製品に機器を接続して、設定画面にアクセスするまでの流れです。

1. 設定用パソコンの接続(P.1-21)

設定用パソコンを本製品の[LAN]ポートに接続し、電源を接続します。



2. 設定画面にアクセス(P.1-22)

- 1 Webブラウザを起動し、アドレスバーに「http://本製品のIPアドレス/」を入力します。
入力例) http://192.168.0.1/
※出荷時、本製品のIPアドレスは、「192.168.0.1」に設定されています。
- 2 [Enter]キーを押します。
- 3 [ユーザー名]欄に「admin」、[パスワード]欄に「設定したパスワード」を入力し、〈OK〉をクリックします。

2 導入ガイド

1. ご使用になるまでの流れ

■ 設定の流れについて

設定画面を使用して、WLAN無線機を設定するまでの流れです。

※本書では、WLAN無線機が接続する無線アクセスポイント側の設定は完了しているものとして説明しています。

1. ネットワーク設定

ご利用の環境に合わせて、本製品の「ネットワーク設定」→「IPアドレス」画面でIPアドレス(出荷時の設定：192.168.0.1)、「ネットワーク設定」→「DHCPサーバー」画面でDHCPサーバー機能(出荷時の設定：無効)を設定します。

2. 無線機の初期設定

個別番号など、使用するWLAN無線機、IP100FSの設定を本製品に登録します。

「無線機追加」画面(P.2-6)

機種、名前、個別番号、パスワード、所属する設定グループを設定します。

※出荷時、パスワードは、「iptrx」に設定されていますので、任意のパスワードに変更してください。

※所属する設定グループごとに使用する共通設定は、「設定グループ」メニューで設定します。

CS-IP100H/CS-IP110H/CS-IP200H/CS-IP200PG/CS-IP210H(ソフトウェア)による設定(P.2-7)

本製品でWLAN無線機を登録したあと、無線LAN設定(接続する無線アクセスポイント)、保守サーバー接続設定(本製品)をWLAN無線機ごとに設定します。

※VP-2100の場合、本体の「管理者設定」で接続する保守サーバー(本製品)などの設定が必要です。

※各取扱説明書をよくお読みいただき、手順にしたがって設定してください。

3. 無線機の個別設定(P.2-8)

「無線機追加」画面で登録したWLAN無線機ごとに、「無線機個別」画面で使用する機能を設定します。

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> アドレス帳からの呼出 | <input type="checkbox"/> 通信方式(単信通信/複信通信) |
| <input type="checkbox"/> 優先呼出 | <input type="checkbox"/> 近隣呼出 |
| <input type="checkbox"/> メッセージ | <input type="checkbox"/> プレゼンス |

4. 呼出先設定(P.2-9)

「無線機追加」画面で登録したWLAN無線機、IP100FSを、「呼出先設定」画面でグループに分け、呼び出すためのグループ番号を割り当て、呼び出し先ごとに通信種別(同報/会議)を設定します。

設定の更新について

本製品で変更した設定をWLAN無線機に反映させるためには、WLAN無線機の再起動が必要になりますので、ご注意ください。

2 導入ガイド

1. ご使用になるまでの流れ

■ 設定の流れについて

5. 設定グループ(P.2-11～P.2-14)

「無線機追加」画面で登録したWLAN無線機、IP100FSが所属する設定グループごとに設定します。

「アドレス帳」画面

「無線機追加」画面で登録した個別番号、「呼出先設定」画面でグループ番号を登録します。(最大500件)

※VE-PG3、VE-PG4をブリッジ接続している場合は、通話相手の電話番号を登録できます。

「メッセージ」画面

WLAN無線機から送信する半角32(全角16)文字★以内の定型メッセージを登録します。(最大10件)

「プレゼンス」画面

WLAN無線機から送信する半角32(全角16)文字★以内のステータス情報を登録します。(最大10件)

「設定グループ詳細」画面

使用するアドレス帳のグループ番号、送信するメッセージのグループ番号を設定します。

★WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。

※環境依存文字を入力しないでください。

環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。

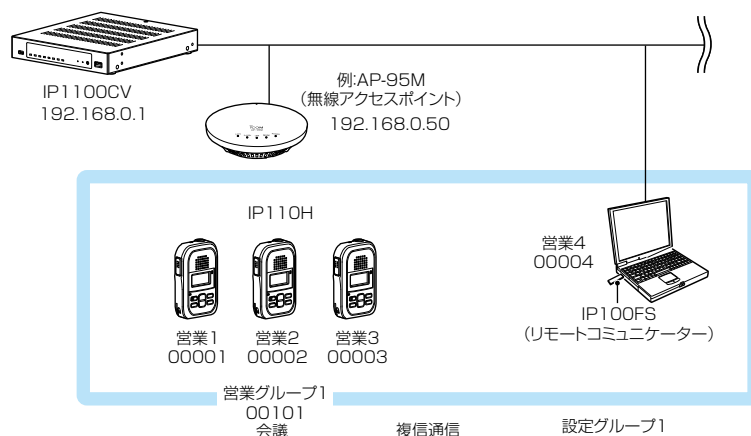
6. マイクゲイン/通知音/終話判定

必要に応じて、「無線機個別」画面でWLAN無線機のマイクゲイン、「設定グループ詳細」画面で各種通知音、終話判定など設定グループで使用する共通設定をします。

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

ご使用になる端末ごとに、個別番号などの設定が必要です。
IP110H(下図)を例に、本製品に登録するWLAN無線機の設定について説明しています。



- ※本製品のネットワーク上に無線アクセスポイントを接続してください。
- ※本書では、本製品をお使いになるネットワーク上のDHCPサーバーから、WLAN無線機やIP100FSを使用するパソコンのIPアドレスを自動取得しているものとして説明しています。
- ※固定IPアドレスで運用される場合など、ネットワーク上でIPアドレスが重複しないようにご注意ください。

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機追加

■ 無線機の登録について

登録するWLAN無線機、IP100FSごとに個別番号を設定します。

- 1 「無線機設定」、「無線機追加」の順にクリックします。
「無線機追加」画面が表示されます。
- 2 [TRX番号設定]項目で、登録する機種、名前、個別番号(00001～60000)を設定して、
(追加)をクリックします。

TRX番号設定

TRX番号: 1
機種: IP110H
名前: 営業1
個別番号: 00001

セキュリティ設定
パスワード: iptrx

ポート設定
無線機側ポート番号: 30000
サーバー側ポート番号: 30000

設定グループ
設定グループ: 1

① 選択する

② クリック

「設定グループ詳細」画面の「設定グループ設定」項目で指定する番号です。

追加

- 3 [TRX番号設定一覧]項目で、登録した内容を確認します。

TRX番号設定一覧

| <input type="checkbox"/> すべて | TRX番号 | 機種 | 名前 | 個別番号 | パスワード | ポート設定 | | 設定グループ | アドレスグループ |
|------------------------------|-------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|----------|
| | | | | | | 無線機側 | サーバー側 | | |
| <input type="checkbox"/> | 1 | IP110H | 営業1 | 00001 | iptrx | 30000 | 30000 | 1 | 1 |
| <input type="checkbox"/> | 2 | IP110H | 営業2 | 00002 | iptrx | 30002 | 30002 | 1 | 1 |
| <input type="checkbox"/> | 3 | IP110H | 営業3 | 00003 | iptrx | 30004 | 30004 | 1 | 1 |
| <input type="checkbox"/> | 4 | IP100FS | 営業4 | 00004 | iptrx | - | 30006 | 1 | 1 |

登録 取消

確認する

TRX番号一括設定について

連番で個別番号を一括登録したり、すでに登録した設定内容をほかの個別番号にコピーしたりできます。

TRX番号一括設定

個別番号: _____ ~ _____ 追加

※指定した範囲の連番を個別番号として登録します。

設定参照元: 初期値

※無線機個別設定を初期値で登録します。

設定グループ: 1

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

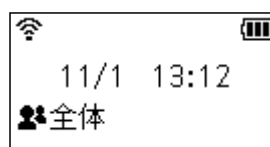
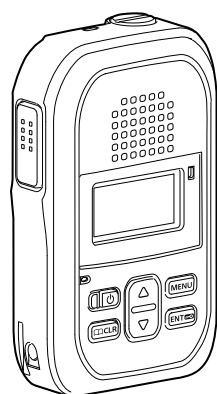
■ 登録の確認/WLAN無線機の再起動

【IP110Hの場合】

本製品にIP110Hを登録したあと、CS-IP110HでパソコンからIP110Hを設定します。

IP110Hが再起動すると、コントローラーの設定内容を自動的に取得します。

※IP110Hが待受画面を表示しないときは、コントローラーや無線アクセスポイントの設定を確認してください。



待受画面

設定の更新について

本製品で変更した設定をWLAN無線機に反映させるためには、WLAN無線機の再起動が必要になりますので、ご注意ください。

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機の個別設定について

登録したWLAN無線機ごとに機能の割り当てなどを設定します。

※設定変更後は、WLAN無線機の再起動が必要です。

- 1 「無線機設定」、「無線機個別」の順にクリックします。
「無線機個別」画面が表示されます。

- 2 「無線機個別設定」項目で、設定する個別番号を選択し、必要に応じて機能の割り当てをします。

無線機個別設定

個別番号: 00001 (営業1) ① 選択する

機種: IP110H

表示部

表示項目: 時計 名前 ② クリック

バックライト: 操作時点灯

バックライト輝度: 暗い 明るい

コントラスト: 8

全体呼出の表示文言:

起動コメント:

送信動作

送信禁止: 無効 有効

PTTロック: 無効 有効

ワンタッチPTT: 無効 有効

呼出先指定

待受画面での呼出: 無効 有効

※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

アドレス帳からの呼出: 無効 有効

アドレス帳先頭番号: 全体

全体呼出の表示: 無効 有効

- 3 「登録」をクリックします。

登録 クリック

- 4 「無線機個別設定一覧」項目で、登録した内容を確認します。

無線機個別設定一覧

| 機種 | 名前 | 個別番号 | 共通項目の設定 | アドレス帳からの呼出 | 近隣呼出 | メッセージ | プレゼンス |
|--------|-----|-------|---------|------------|------|-------|-------|
| IP110H | 営業1 | 00001 | - | 有効 | 無効 | 無効 | 無効 |
| IP110H | 営業2 | 00002 | - | 無効 | 無効 | 無効 | 無効 |
| IP110H | 営業3 | 00003 | - | 無効 | 有効 | 有効 | 有効 |

確認する

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

呼出先設定 > 呼出先設定

■ グループ呼び出しについて

登録したWLAN無線機、IP100FSをグループにして、「会議」(複信通信による多者間通話)を設定する場合を例に説明します。

※設定変更後は、WLAN無線機の再起動が必要です。

- 1 「呼出先設定」をクリックします。
「呼出先設定」画面が表示されます。
- 2 [呼出先設定]項目で、名前、呼出種別、グループ番号(00001～60000)を設定して、一覧からグループに所属するWLAN無線機、IP100FSを選択し、〈登録〉をクリックします。

呼出先設定

番号: 1

名前: 営業グループ1

呼出種別: グループ

呼出先番号: 00101

優先度: 通常 優先

無線機呼出

通信種別: 同報 会議

所属する無線機

すべて 00001(営業1) 00002(営業2) 00003(営業3) 00004(営業4)

他拠点: なし

登録

①設定する

②選択する

③クリック

- 3 [呼出先設定一覧(グループ)]項目で、登録した内容を確認します。

呼出先設定一覧(グループ)

| <input type="checkbox"/> すべて | 番号 | 名前 | 呼出先番号 | 優先度 | 所属する無線機台数 | 他拠点 | |
|------------------------------|----|---------|-------|-----|-----------|-----|-------|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 営業グループ1 | 00101 | 通常 | 4 | - | 編集 削除 |

選択削除 全削除

確認する

電話との通話について(IP100H/IP110Hを除く)

WLAN無線機モードで動作しているWLAN無線機から電話を呼び出したり、電話から個別にWLAN無線機を呼び出したりできません。

WLAN無線機を電話から呼び出す場合、全体やグループ呼び出しを設定してください。

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

呼出先設定 > 呼出先設定

■ トークグループ呼び出しについて

あらかじめ本製品にトークグループとして登録しておいたグループから、WLAN無線機側でどのグループに所属するかを選択できる機能です。

同じトークグループに所属するほかの端末とグループ呼び出しができます。

※この機能を使用する場合は、あらかじめ本製品の「呼出先設定」画面(下図)と「アドレス帳」画面(P.2-11)で、トークグループ番号を登録しておく必要があります。

※設定変更後は、WLAN無線機の再起動が必要です。

- 1 「呼出先設定」をクリックします。
「呼出先設定」画面が表示されます。

- 2 「呼出先設定」項目で、名前、呼出種別、トークグループ番号(00001～60000)を設定して、〈登録〉をクリックします。

呼出先設定

番号: 3

名前: TG20001

呼出種別: トークグループ

呼出先番号: 01001

無線機呼出

トークグループ種別: 通常 管理用

通信種別: 同報 会議

IP100FSへの送信: 無効 有効

IP100FSへの呼出先指定: すべて 指定

他拠点: なし

登録

①設定する

[トークグループ種別]が「管理用」に設定されている場合は、複数のトークグループと通話できます。

②クリック

- 3 「呼出先設定一覧(トークグループ)」項目で、登録した内容を確認します。

呼出先設定一覧(トークグループ)

| 番号 | 名前 | 呼出先番号 | 他拠点 |
|----|-------------|-------|-----|
| 13 | トークグループ1001 | 01001 | - |

確認する

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > アドレス帳

■ アドレス帳について

WLAN無線機(IP200PGを除く)が使用するアドレス帳を登録します。

※登録後は、WLAN無線機の再起動が必要です。

※アドレス帳を使用する場合は、[アドレス帳からの呼出]欄を「有効」に設定してください。

- 1 「設定グループ」、「アドレス帳」の順にクリックします。
「アドレス帳」画面が表示されます。
- 2 [アドレス帳グループ設定]項目で、アドレス帳グループ番号を選択します。
※この画面で選択したアドレス帳グループ番号(例：1)を、「設定グループ詳細」画面で指定します。
※グループ番号ごとに、登録されているアドレス帳が切り替わります。
- 3 [アドレス帳設定]項目で、名前[★]、呼出種別、呼出先番号(00001～60000)を設定して、〈登録〉をクリックします。
★WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。
★環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。

アドレス帳グループ設定

アドレス帳グループ番号: 1 (0件)
※変更すると、表示するアドレス帳のグループが変更されます。

アドレス帳グループ詳細設定

アドレス帳設定

登録方法: 個別入力 一覧から選択

番号: 1

名前: 営業1

ヨミカナ: Iイ*ヨカ1

呼出種別: 個別

呼出先番号: 00001

登録 取消

「無線機追加」画面や「呼出先設定」画面で登録した呼出先から選択するときは、「一覧から選択」をクリックします。

①設定する

②クリック

- 4 [アドレス帳設定一覧]項目で、登録した内容を確認します。

アドレス帳設定一覧

※IP200Hに呼出種別が電話の設定は登録されません。
※IP100Hは番号1から50までの50件が登録されます。

| 番号 | 名前 | ヨミカナ | 呼出種別 | 呼出先番号 | 編集 | 削除 |
|----|---------|------------|------|-------|----|----|
| 1 | 営業1 | Iイ*ヨカ1 | 個別 | 00001 | 編集 | 削除 |
| 2 | 営業2 | Iイ*ヨカ2 | 個別 | 00002 | 編集 | 削除 |
| 3 | 営業グループ1 | Iイ*ヨカグループ1 | グループ | 00101 | 編集 | 削除 |

確認する

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > メッセージ

■ メッセージについて

WLAN無線機(IP200PGを除く)が送信するメッセージを登録します。

※登録後は、WLAN無線機の再起動が必要です。

※メッセージを使用する場合は、[メッセージ]欄を「有効」に設定してください。

- 1 「設定グループ」、「メッセージ」の順にクリックします。
「メッセージ」画面が表示されます。
- 2 [メッセージグループ設定]項目で、メッセージグループ番号を選択します。
※この画面で選択したメッセージグループ番号(例：1)を、「設定グループ詳細」画面で指定します。
※グループ番号ごとに、登録されているメッセージが切り替わります。
- 3 [メッセージ設定]項目で、WLAN無線機から送信できる定型メッセージを半角32(全角16)文字以内で入力して、<登録>をクリックします。
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。
※グループごとに、最大10件まで登録できます。

メッセージグループ設定

メッセージグループ番号: 1 (10件) ▼
※変更すると、表示するメッセージのグループが変更されます。

メッセージグループ詳細設定

メッセージ設定

| 番号 | 定型文メッセージ |
|----|------------------|
| 1 | 至急集合してください。 |
| 2 | メッセージを送りました。 |
| 3 | メッセージを確認してください。 |
| 4 | 問題ないですか。 |
| 5 | 返信をお願いします。 |
| 6 | 至急返信をお願いします。 |
| 7 | 解散してください。 |
| 8 | 作業が完了次第、戻ってください。 |
| 9 | 荷物が届きました。 |
| 10 | 作業が終わりました。 |

登録

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > プレゼンス

■ プレゼンスについて

WLAN無線機(IP200PGを除く)が送信するステータス情報を登録します。

※登録後は、WLAN無線機の再起動が必要です。

※プレゼンスを使用する場合は、[プレゼンス]欄を「有効」に設定してください。

- 1 「設定グループ」、「プレゼンス」の順にクリックします。
「プレゼンス」画面が表示されます。
- 2 [プレゼンス設定]項目で、WLAN無線機から送信するステータス情報は半角32(全角16)文字以内で入力して、
(登録)をクリックします。
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。
※最大10件まで登録できます。
※画面左のチェックマークをはずすと、登録した内容がWLAN無線機に表示されません。

| <input checked="" type="checkbox"/> すべて | ステータス番号 | ステータス名 |
|---|---------|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1 | 会議中 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2 | 離席中 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3 | 食事中 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4 | 巡回中 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5 | 在席中 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 6 | 作業中 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 7 | 待機中 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 8 | 準備中 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 9 | 対応中 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 10 | 休憩中 |

①入力する

②クリック

2 導入ガイド

2. 無線機の構築について

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループで共用するアドレス帳とメッセージについて

WLAN無線機が所属する設定グループで使用するアドレス帳、メッセージを指定します。

※設定変更後は、WLAN無線機の再起動が必要です。

- 1 「設定グループ」、「設定グループ詳細」の順にクリックします。
「設定グループ詳細」画面が表示されます。
- 2 「設定グループ設定」項目で、設定グループの番号(例：1)を選択します。
※設定グループの番号は、「無線機追加」画面でWLAN無線機ごとに指定した番号です。
- 3 「設定グループ設定」項目で、使用するアドレス帳とメッセージのグループ番号を選択します。

設定グループ設定

番号: 1
※変更すると、表示する設定グループが変更されます。

名前:

無線LAN

無線LAN: 無線機の設定優先

グループ指定

アドレス帳グループ: 1 (営業部)

メッセージグループ: 1 (営業部)

サーバー接続

レジストサーバー:

登録時間: 60 秒

選択する

「アドレス帳」画面(P.2-11)で設定したアドレス帳のグループ番号、「メッセージ」画面(P.2-12)で設定したメッセージのグループ番号を選択します。

- 4 <登録>をクリックします。

電話通信

デフォルト発信ブリッジ番号: なし

登録

クリック

- 5 「設定グループ設定一覧」項目で、登録した内容を確認します。

設定グループ設定一覧

| 番号 | 名前 | 無線LAN | アドレス帳グループ | メッセージグループ |
|----|----|----------|-----------|-----------|
| 1 | | 無線機の設定優先 | 1 (営業部) | 1 (営業部) |
| 2 | | | | |

編集 削除

追加

全削除

確認する

2 導入ガイド

3. 無線機の通話を録音する場合

指定した端末や全体/グループの通話音声をUSB経由で外部ストレージに録音できます。

登録できる録音設定は4ボックスまでで、1ボックスの設定に録音対象となる条件を1つ設定できます。

※IP電話機同士、IP電話機とIP無線機、直接通話しているデジタル無線機、ブリッジ接続での通話は対象外です。

※録音中に一定時間、無音を検出すると録音を停止します。(初期設定：5秒)

※録音中のデータ通信は、そのまま無音として保存されます。

無線機コントローラー設定 > 無線機通話録音

■ 設定のしかた

本書では、ボックス1で全体呼び出しを録音する場合を例に説明します。

- 1 「無線機コントローラー設定」メニュー、「無線機通話録音」の順にクリックします。
「無線機通話録音」画面が表示されます。

- 2 [録音ボックス設定]項目で、モード(例：録音)と呼出種別(例：全体)を選択し、〈登録〉をクリックします。
※[モード]欄で「モニター」を選択すると、指定した通話を特定のポートから音声出力できます。(取扱説明書[活用編])

共通設定

無通話録音: 無効 有効
無通話録音時間: 5 秒
最新録音データの上書保存: 無効 有効

録音ボックス設定

番号: 1
モード: 録音
指定: 無効 有効
呼出種別: 全体

登録 取消

- 3 [録音ボックス設定一覧]項目で登録内容を確認します。

録音ボックス設定一覧

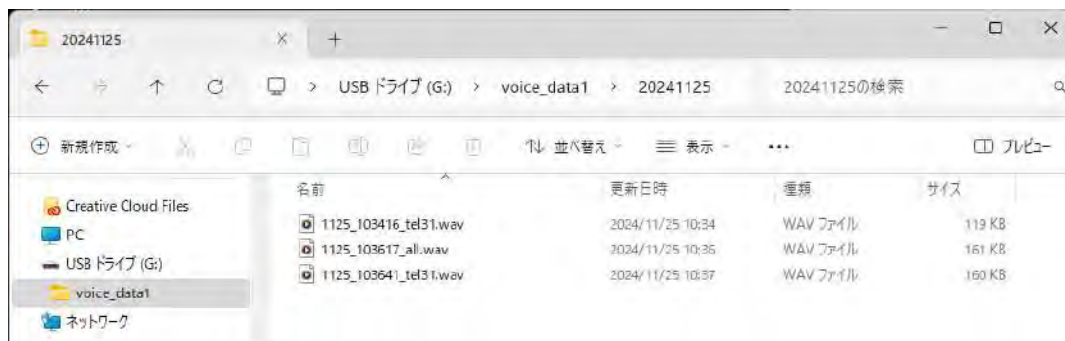
| 番号 | モード | 個別番号 | 呼出種別 | 呼出先番号 | 接続先アドレス | 接続先ポート番号 | 自局ポート番号 | 音声プロトコル |
|----|-----|------|------|-------|---------|----------|---------|---------|
| 1 | 録音 | - | 全体 | - | - | - | - | - |
| 2 | 無効 | - | - | - | - | - | - | - |
| 3 | 無効 | - | - | - | - | - | - | - |
| 4 | 無効 | - | - | - | - | - | - | - |

2 導入ガイド

3. 無線機の通話を録音する場合

■ 録音データについて

本製品のUSBポートに接続した外部ストレージ内に、ボックスごとのフォルダーが生成され、録音データがWAVファイル形式で保存されます。



| | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|--|
| フォルダー名 | voice_data[ボックス番号(1~4)]/ 保存開始時点の日付 | 「voice_data1」 — 「20241125」 (ボックス1/2024年11月25日の場合) |
| ファイル名 (拡張子(wav)を省略しています) | 全体呼び出し | MM(月) DD(日) _HH(時) MM(分) SS(秒) _all |
| | グループ呼び出し | MM(月) DD(日) _HH(時) MM(分) SS(秒) _group100 (グループ番号100の場合) |
| | 個別呼び出し(通話相手を表示) | MM(月) DD(日) _HH(時) MM(分) SS(秒) _uid10 (個別番号10の場合) |
| | 電話(通話相手を表示) | MM(月) DD(日) _HH(時) MM(分) SS(秒) _tel31 (内線31の電話の場合) |
| 最大ファイルサイズ | 1ファイルあたり100MB(100MB以降新しいファイルに切り替え) | |

※空き容量が不足して保存できない場合、旧データを削除して新データを書き込むかどうか、設定できます。

※録音開始時に空き容量が10MB以下の場合に、強制削除を実行し空き容量を確保します。

※最低110MB確保できるまで、指定ボックスの古い日付フォルダーから順にフォルダーごと削除されます。

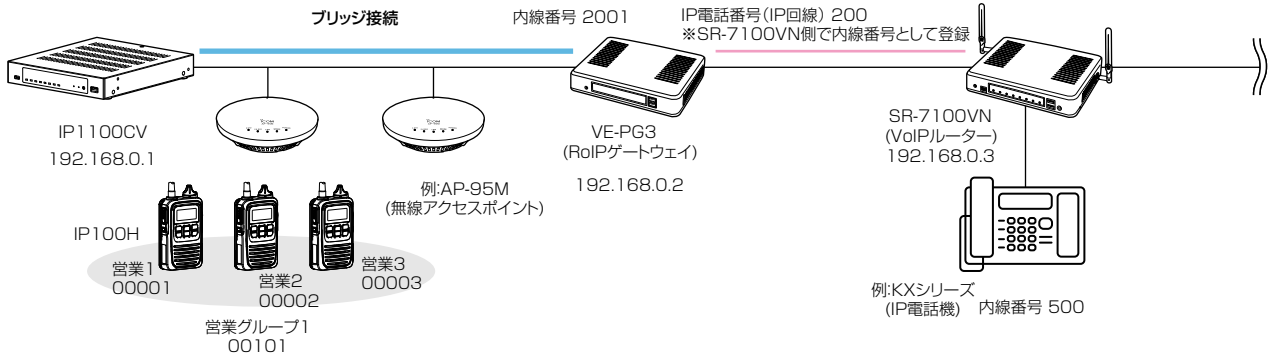
※指定ボックス内で空き容量を確保できないときは、録音しません。

2 導入ガイド

4. ブリッジ接続と呼出先設定について

弊社製RoIPゲートウェイ^{★1}とブリッジ接続すると、弊社製無線機(特定小電力トランシーバーやデジタル簡易業務用無線機など)とも通信でき、弊社製VoIPルーター^{★2}を併用すると内線や外線の話ができます。

※本書では、コンバーターモードのVE-PG3(ファームウェア Ver. 1.18以降)とSR-7100VNを例に説明しています。



★1 VE-PG4に置き換える場合は、VE-PG4のコンバーターブリッジ(仮想ポート)を使用します。詳細についてはVE-PG4の取扱説明書をご覧ください。

またVE-PG4にはWLAN無線機は50台、IP電話機は25台まで登録できますが、外線通話にはSIPサーバーが必要です。

★2 SR-8000V、またはSR-8000VKに置き換えて構築できます。

本製品の設定について

1. 「RoIPサーバー設定」→「ブリッジ」画面→「ブリッジ設定」項目で、接続先VE-PG3のIPアドレス(例：192.168.0.2)を設定します。

| ブリッジ設定 | |
|----------|-------------|
| 番号 | 1 |
| 接続先アドレス | 192.168.0.2 |
| 接続先ポート番号 | 21530 |
| 自局ポート番号 | 21530 |

「呼出先設定」画面の「ブリッジ番号」欄で選択する番号です。

2. 「呼出先設定」→「呼出先設定」画面で、「呼出種別」欄で「電話」、 「呼出先番号」欄でKXシリーズの内線番号(例：500)、 「ブリッジ番号」欄にブリッジ接続で設定したVE-PG3の番号(例：1)を設定します。

| 呼出先設定 | |
|--------|-------------|
| 番号 | 1 |
| 名前 | 500(KXシリーズ) |
| 呼出種別 | 電話 |
| 呼出先番号 | 500 |
| ブリッジ番号 | 1 |

「ブリッジ」画面の「番号」欄で選択した番号です。

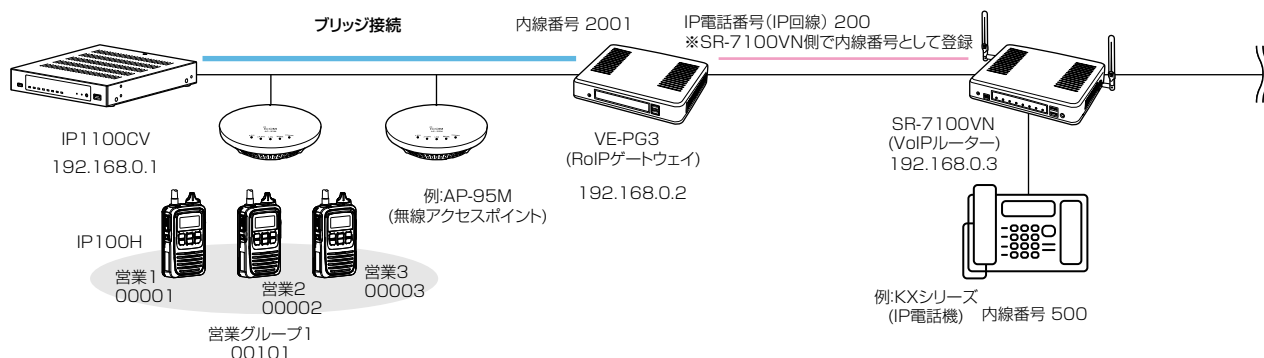
3. 「設定グループ」→「アドレス帳」画面の一覧から、「呼出先設定」画面で設定したKXシリーズの呼出先番号(例：500)を選択します。

| アドレス帳グループ設定 | | | |
|-------------------------------|-------------|--------|-------|
| アドレス帳グループ番号 | 1(営業部/0件) | | |
| ※変更すると、表示するアドレス帳のグループが変更されます。 | | | |
| 登録方法 | 個別入力 | 一覧から選択 | |
| <input type="checkbox"/> | すべて 名前 | 呼出種別 | 呼出先番号 |
| <input type="checkbox"/> | 500(KXシリーズ) | 電話 | 500 |

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

4. ブリッジ接続と呼出先設定について



本製品の設定について(つづき)

4. 「無線機設定」→「無線機個別」画面で、IP100Hごとにキー割当の「通話中の電話切断」欄が「有効」になっていることを確認します。

無線機個別設定

個別番号: 00001 (営業1)

機種: IP100H

表示部

表示項目: 時計 名前

バックライト: 操作時点灯

送信動作

送信禁止: 無効 有効

PTTロック: 無効 有効

通信方式

通信方式: 単信通信 複信通信

優先呼出: 無効 有効

近隣呼出: 無効 有効

メッセージ: 無効 有効

プレゼンス: 無効 有効

低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

固定呼出: 無効

キー割当

オプションキー: 無効

通話中の電話切断: 無効 有効

接続確認

[オプションキー]欄で「電話切断」を選択すると、「通話中の電話切断」欄は非表示になります。



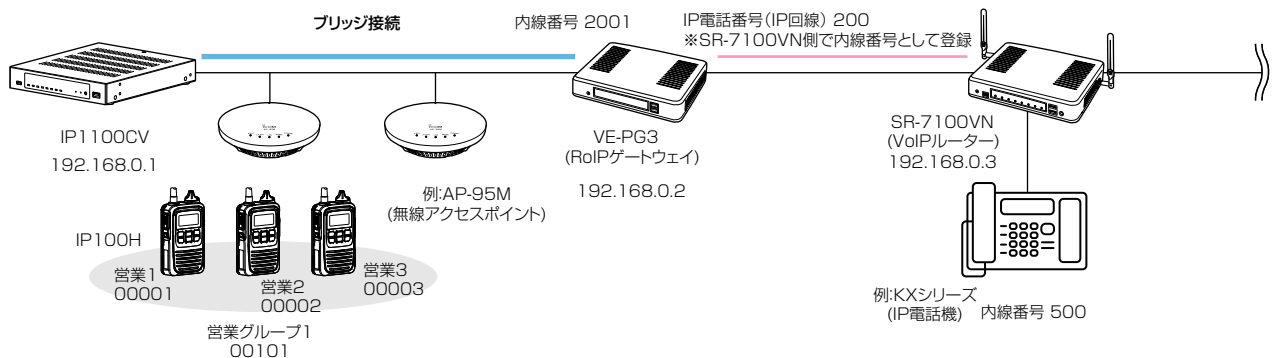
相手が応答する前、または通話中に「オプション」を押すと、IP100Hから電話を切れます。

※ IP100Hから電話を切れるのは、電話機からIP100Hを個別に呼び出したとき、またはIP100Hから電話機を呼び出したときだけです。

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

4. ブリッジ接続と呼出先設定について



VE-PG3(コンバーターモード)側の設定について

1. 「ポート詳細設定」メニュー→「ブリッジ」画面(例：ブリッジ1)→「ブリッジ接続設定」項目で、接続先AP-9500のIPアドレス(例：192.168.0.1)、音声Codec(G.711uシグナリング)を設定します。
※接続に使用するポート番号が、ほかの機器と重複しないようにご注意ください。
2. 「ブリッジ通信設定」項目で、呼出種別(例：グループ)、相手先番号(例：0101)を設定します。
3. 「ブリッジ制御設定」項目で、電話システムとの全二重通話(複信通信)をするために、受信優先を「無効」にします。

| ブリッジ接続設定 | |
|-----------|--|
| 接続先アドレス: | 192.168.0.1 |
| 接続先ポート番号: | 21530 |
| 自局ポート番号: | 21530 |
| 音声Codec: | G.711uシグナリング |
| 接続状態: | 送信中 <input type="button" value="切断"/> <input type="button" value="接続状態の更新"/> |

| ブリッジ通信設定 | |
|-------------|--|
| 秘話: | <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 |
| 呼出先指定 | 呼出種別: グループ |
| | 相手局番号: 0101 |
| | 自局番号: 0001 |
| 呼出先指定(同報着信) | 呼出種別: グループ |
| | 相手局番号: 0001 |
| | 自局番号: 0001 |

| ブリッジ制御設定 | |
|---------------|--|
| 受信優先: | <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 |
| PTT発信キャンセル: | <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 |
| 無線機への通知音 | 着信通知: なし |
| | 呼出機台通知: 通知音2 |
| | 通話機台通知: 通知音2 |
| | 切断通知: 通知音3 |
| | 発信失敗通知: 通知音3 |
| | 通知音量: 0 dB |
| 電話機からのPTT制御方式 | PTT制御方式: VOX |
| 電話機への発信方式 | 発信方式: RTP |

| ブリッジへの音声送信制御設定 | |
|--|--|
| ※アタックタイム、リリースタイム、音声遅延の設定値は5ミリ秒の整数倍となります。 | |

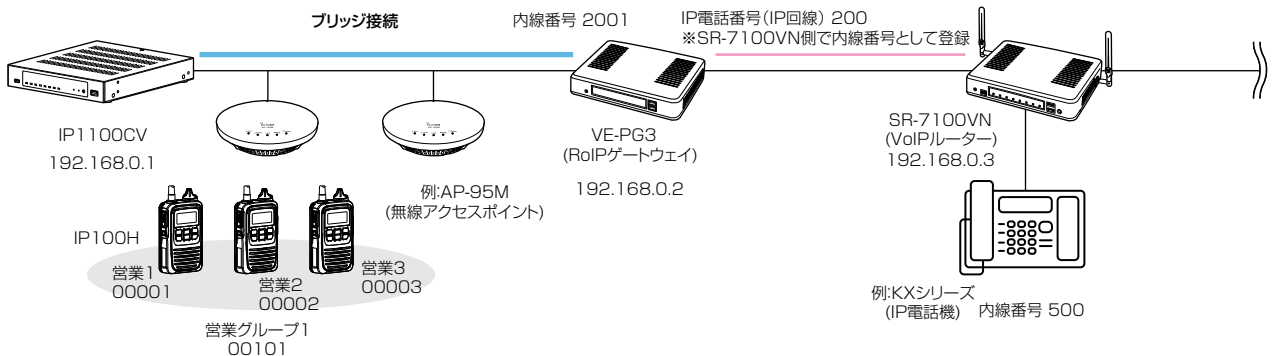
DID呼出機能を使用しない場合は、
「ブリッジ通信設定」項目で呼出先
(相手局)の設定が必要です。

必要に応じて、PTT制御方式、
発信方式を設定してください。

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

4. ブリッジ接続と呼出先設定について



VE-PG3(コンバーターモード)側の設定について(つづき)

4. [V/RoIP回線設定]メニュー→[IP回線]画面→[SIPサーバー設定]項目で、接続先のSR-7100VNを設定します。

| SIPサーバー設定 | |
|--------------|---------------------|
| 番号: | 1 |
| IP電話番号: | 200 |
| SIPサーバーアドレス: | 192.168.0.3 |
| SIPサービスドメイン: | 192.168.0.3 |
| ユーザーID: | 200 |
| パスワード: | ●●●●●●●● |
| 登録時間: | 600 秒 |
| 再登録周期: | 通常時: 50 % 異常時: 50 % |

SR-7100VNで設定された内線番号(例: 200)、IPアドレスなどを設定します。

5. [内線接続設定]メニュー→[内線]画面で、ポート種別(例: ブリッジ1)、ブリッジ1の内線番号(例: 2001)を設定します。

| 内線設定 | |
|---------------------|--|
| 内線番号: | 2001 |
| ポート種別: | ブリッジ1 |
| 無線機システムグループ: | なし |
| ピックアップグループ: | グループ1 |
| 発信回線(IP回線): | 200 |
| 発信回線(Peer to Peer): | 発信しない |
| デフォルト発信先電話番号: | |
| DID呼出: | <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 |

6. [内線接続設定]メニュー→[着信]画面で、着信先ポート(例: 2001)を設定します。

| V/RoIP着信設定 | | |
|------------|------|-------------|
| 電話番号 | 回線 | 着信先ポート |
| 200 | IP回線 | 2001(ブリッジ1) |

※電話機から「200」をダイヤルすると、営業グループ1(00011)のIP100Hに着信します。

IP100Hに表示される発信者番号は、電話機の内線番号になります。

※DID呼出機能を使用すると、電話機からIP100Hの個別番号やグループ番号をダイヤルして、特定の相手局へ発信できます。

※上記の手順5.で、[DID呼出]欄を「有効」にした場合、電話機から「200」をダイヤルすると、4秒後(初期値)、ダイヤルトーンが流れ、特定の相手局を呼び出すための番号をダイヤルできます。

このあいだに、営業1(00001)を個別呼び出しするときは、「*011」+「00001」(ブリッジ1の個別呼出プレフィクス+個別番号)をダイヤルします。(最後に#を押すと、即時発信となり待機時間が短縮されます。)

※設定について詳しくは、VE-PG3の取扱説明書をご覧ください。

5. 他拠点接続設定について

他拠点接続機能を使用すると、複数の拠点を接続して、はなれた拠点間で通話ができるようになります。

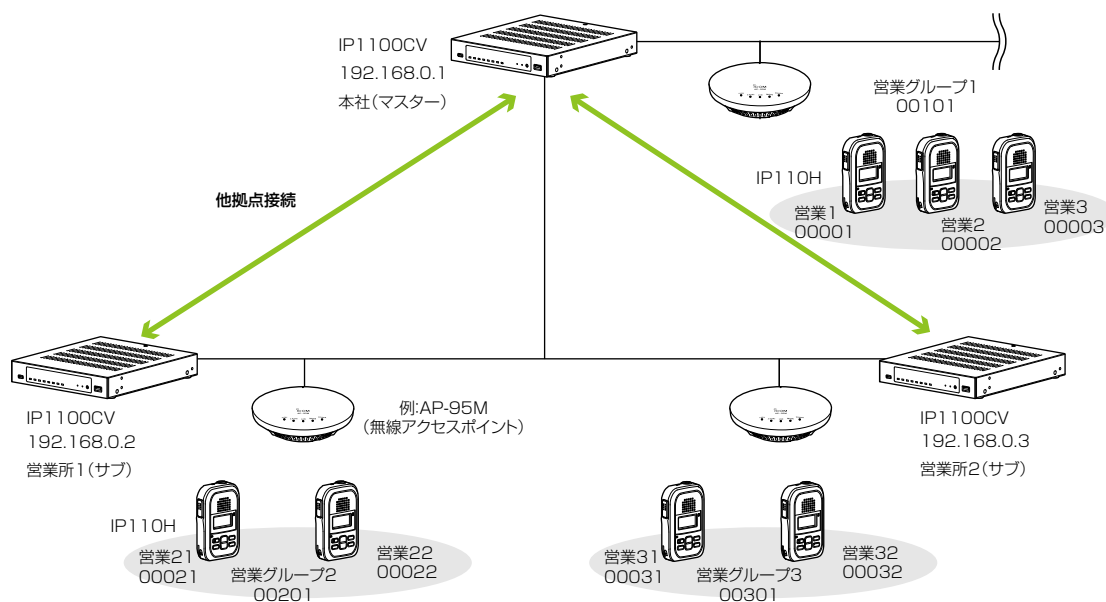
※1台のマスターに対して、最大22台のサブ(他拠点)が接続できます。

※必要に応じて、本製品をVPNルーターとしてご使用ください。

※本製品のVPN機能は、AP-9500、AP-9600、IP1100CV、SR-7100VN、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4と互換性があります。(別紙「取扱説明書[活用編]」参照)

※2024年11月現在、他拠点接続機能に対応し、WLAN無線機を制御するコントローラーとして使用できるのは、AP-9500(コントローラー機能搭載バージョン)、IP1000C、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。

本書では、IP1100CV同士の他拠点接続を例にして説明します。



本社(マスター)側の設定について

1. 「RoIP通信設定」→「RoIP通信設定」画面→[他拠点通信設定]項目で、他拠点通信モードを「マスター」に設定します。

| 他拠点通信設定 | |
|-----------|--|
| 他拠点通信モード: | <input type="radio"/> サブ <input checked="" type="radio"/> マスター |
| 目局ポート番号: | 32000 |

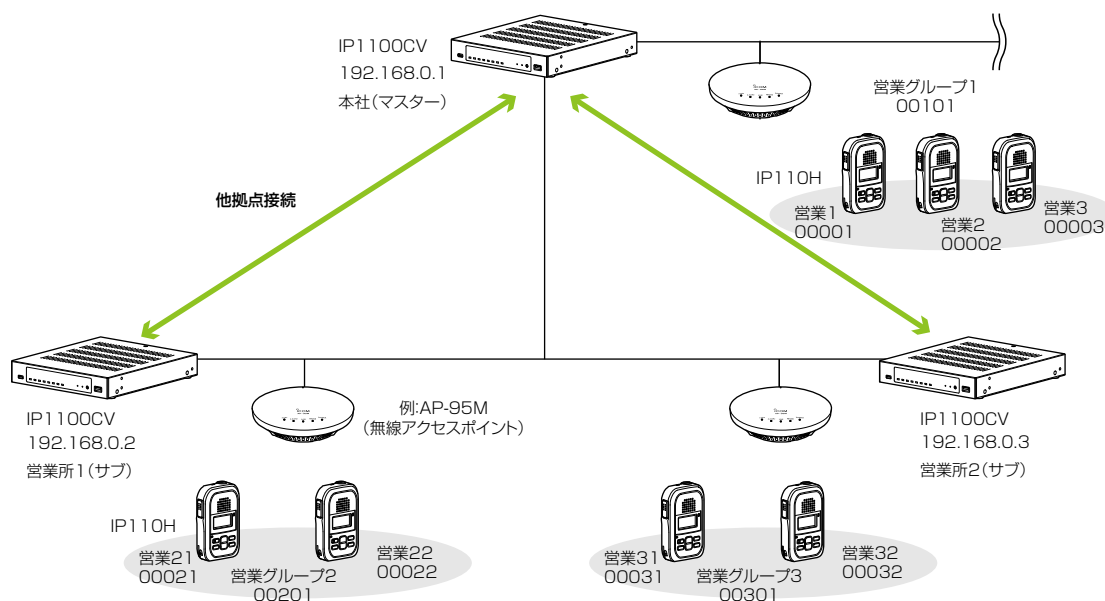
2. 「RoIPサーバー設定」→「他拠点接続」画面で、接続先IP1100CV(例: 営業所1(サブ)、営業所2(サブ))のIPアドレスを設定します。

| 他拠点接続設定 | | | |
|---|-------------|-------------|---|
| 番号: | 1 | | |
| 名前: | 営業所1(サブ) | | |
| 接続先アドレス: | 192.168.0.2 | | |
| 接続先ポート番号: | 32000 | | |
| <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/> | | | |
| 他拠点設定一覧 | | | |
| 番号 | 名前 | 接続先アドレス | 接続先ポート番号 |
| 1 | 営業所1(サブ) | 192.168.0.2 | 32000 |
| 2 | 営業所2(サブ) | 192.168.0.3 | 32000 |
| | | | <input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/> |
| <input type="button" value="全削除"/> | | | |

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

5. 他拠点接続設定について



本社(マスター)側の設定について(つづき)

3. 「呼出先設定」→「呼出先設定」画面で、呼出種別を「グループ」、呼出先番号(例: 00201)、優先度(例: 通常)、他拠点(例: 営業所1(サブ)、営業所2(サブ))を設定します。

呼出先設定

番号: 2
名前: 営業所1(サブ)
呼出種別: グループ
呼出先番号: 00201
優先度: 通常 優先

無線機呼出
通信種別: 同報 会議

所属する無線機
 すべて 00001(営業1) 00002(営業2) 00003(営業3)

他拠点: 2(営業所1(サブ))

グループ番号「00201」で呼び出す営業所を選択します。

呼出先設定一覧(全体)

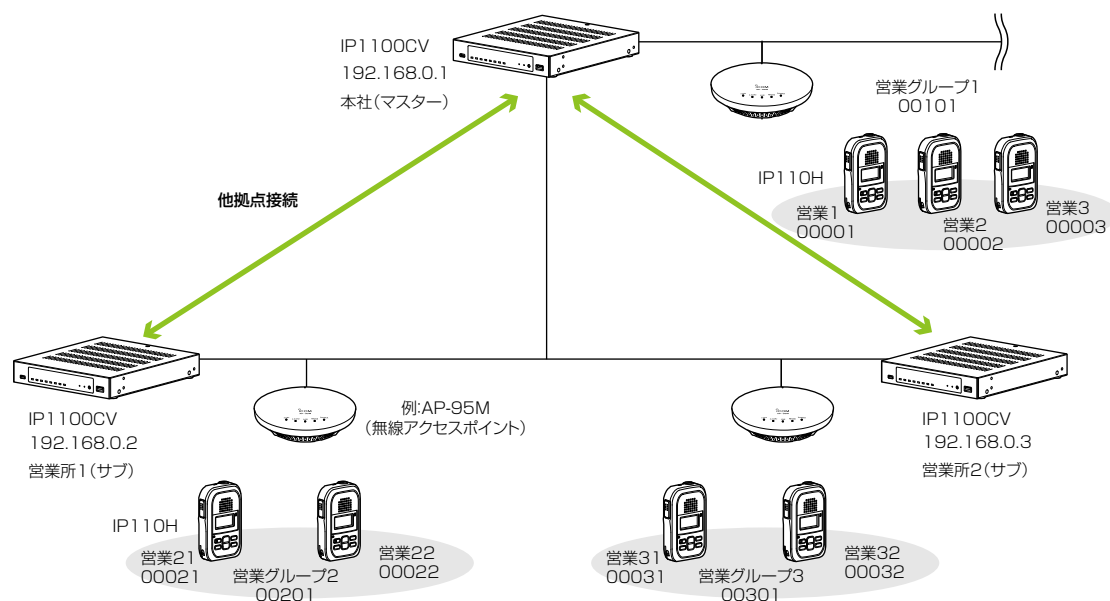
呼出先設定一覧(グループ)

| <input type="checkbox"/> すべて | 番号 | 名前 | 呼出先番号 | 優先度 | 所属する無線機台数 | 他拠点 |
|------------------------------|----|----------|-------|-----|-----------|-------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 営業グループ1 | 00101 | 通常 | 3 | - |
| <input type="checkbox"/> | 2 | 営業所1(サブ) | 00201 | 通常 | - | 2(営業所1(サブ)) |
| <input type="checkbox"/> | 3 | 営業所2(サブ) | 00301 | 通常 | - | 3(営業所2(サブ)) |

拠点内で呼び出す無線機の台数と、登録した他拠点の名前を表示します。

2 導入ガイド

5. 他拠点接続設定について



営業所1(サブ)側の設定について

営業グループ2(グループ番号「00201」)を呼び出す場合を例に説明しています。

1. 「RoIP通信設定」→「RoIP通信設定」画面→「他拠点通信設定」項目で、他拠点通信モードを「サブ」に設定します。

| 他拠点通信設定 | |
|-----------|--|
| 他拠点通信モード: | <input checked="" type="radio"/> サブ <input type="radio"/> マスター |
| 目番ポート番号: | 32000 |

2. 「RoIPサーバー設定」→「他拠点接続」画面で、接続先IP1100CV(例：本社(マスター))のIPアドレスを設定します。

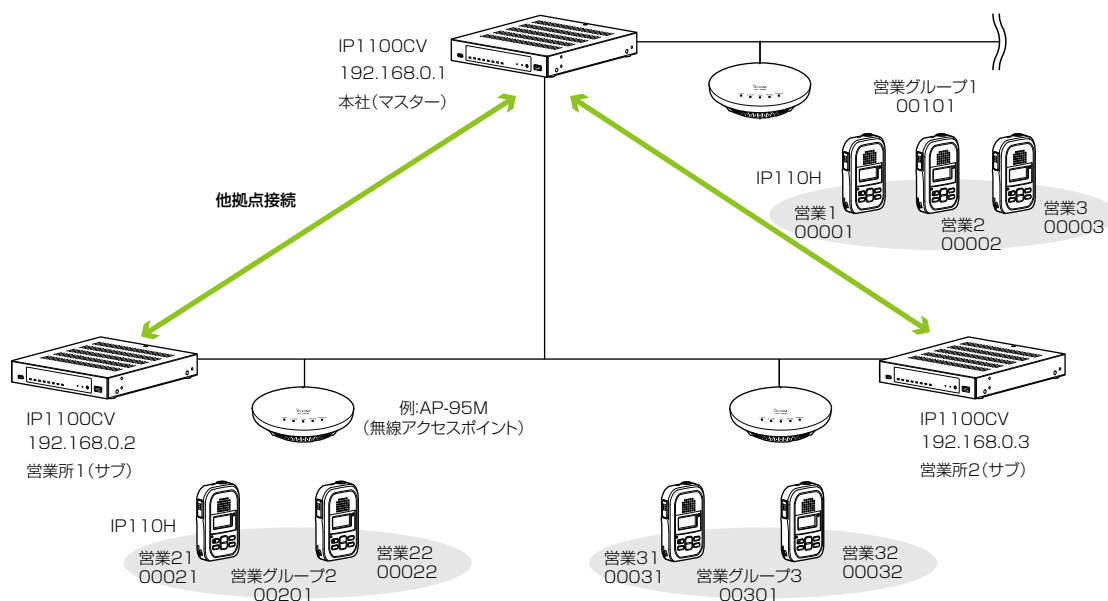
| 他拠点接続設定 | |
|---|-------------|
| 番号: | 1 |
| 名前: | 本社(マスター) |
| 接続先アドレス: | 192.168.0.1 |
| 接続先ポート番号: | 32000 |
| <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/> | |

| 他拠点設定一覧 | | | | |
|------------------------------------|----------|-------------|----------|---|
| 番号 | 名前 | 接続先アドレス | 接続先ポート番号 | |
| 1 | 本社(マスター) | 192.168.0.1 | 32000 | <input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/> |
| <input type="button" value="全削除"/> | | | | |

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

5. 他拠点接続設定について



営業所1(サブ)側の設定について(つづき)

3.「呼出先設定」→「呼出先設定」画面で、呼出種別を「グループ」、呼出先番号(例：00201)、優先度(例：通常)、所属する無線機を設定します。

呼出先設定

番号： 1

名前： 営業グループ2

呼出種別： グループ

呼出先番号： 00201

優先度： 通常 優先

無線機呼出

通信種別： 同報 会議

所属する無線機

すべて 00021(営業21) 00022(営業22)

他拠点： なし

サブ側の[他拠点]欄では、必要に応じて接続するマスターを選択します。

呼出先設定一覧(グループ)

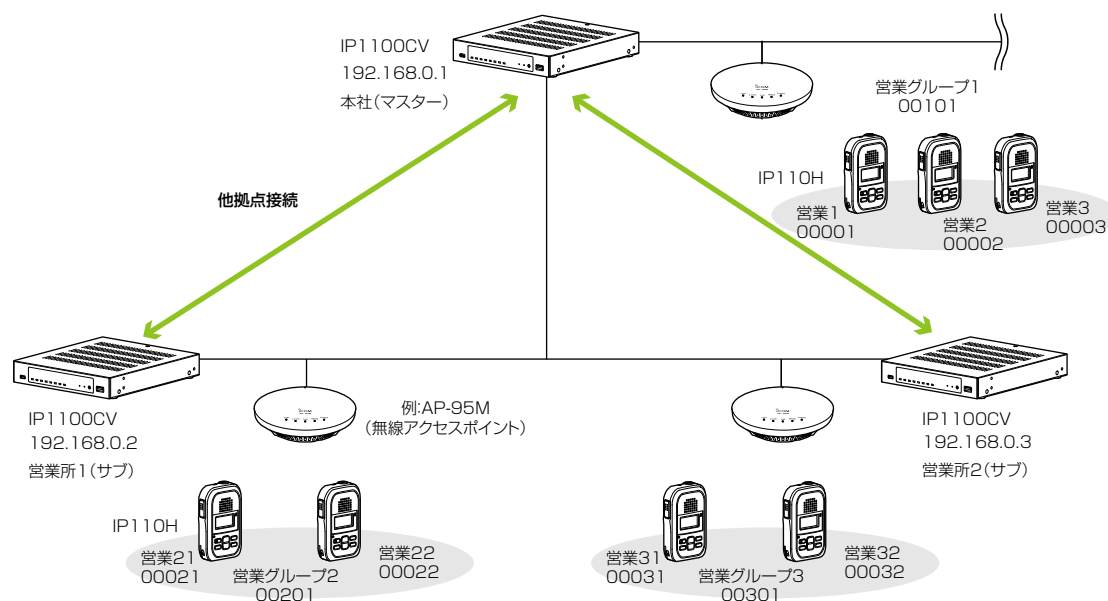
| 番号 | 名前 | 呼出先番号 | 優先度 | 所属する無線機台数 | 他拠点 |
|----|---------|-------|-----|-----------|-----|
| 1 | 営業グループ2 | 00201 | 通常 | 2 | - |

拠点内で呼び出す無線機の台数と他拠点接続の接続先を表示します。

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

5. 他拠点接続設定について



営業所2(サブ)側の設定について

営業グループ2(グループ番号「00201」)を呼び出す場合を例に説明しています。

1. 「RoIP通信設定」→「RoIP通信設定」画面→「他拠点通信設定」項目で、他拠点通信モードを「サブ」に設定します。

| 他拠点通信設定 | |
|-----------|--|
| 他拠点通信モード: | <input checked="" type="radio"/> サブ <input type="radio"/> マスター |
| 自局ポート番号: | 32000 |

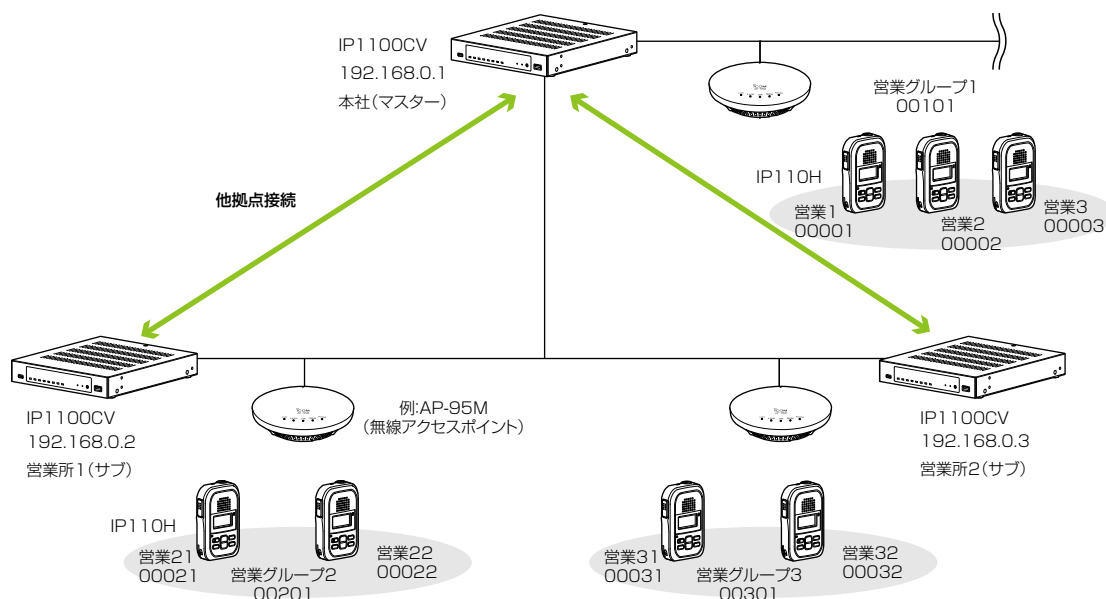
2. 「RoIPサーバー設定」→「他拠点接続」画面で、接続先IP1100CV(例: 本社(マスター))のIPアドレス(例: 192.168.0.1)を設定します。

| 他拠点接続設定 | | | |
|----------|-------------|-------------|----------|
| 番号 | 1 | | |
| 名前 | 本社(マスター) | | |
| 接続先アドレス | 192.168.0.1 | | |
| 接続先ポート番号 | 32000 | | |
| 登録 取消 | | | |
| 他拠点設定一覧 | | | |
| 番号 | 名前 | 接続先アドレス | 接続先ポート番号 |
| 1 | 本社(マスター) | 192.168.0.1 | 32000 |
| 編集 削除 | | | |
| 全削除 | | | |

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

5. 他拠点接続設定について



営業所2(サブ)側の設定について(つづき)

3. 「呼出先設定」→「呼出先設定」画面で、呼出種別を「グループ」、グループ番号(例:00201)、優先度(例:通常)、他拠点(例:本社(マスター))を設定します。

呼出先設定

番号: 1

名前: 営業グループ2(他拠点あり)

呼出種別: グループ

呼出先番号: 00201

優先度: 通常 優先

無線機呼出

通信種別: 同報 会議

所属する無線機

すべて 00031(営業31) 00032(営業32)

他拠点: 1(本社(マスター))

サブ側の[他拠点]欄では、接続するマスター(例:本社)を選択します。

登録 取消

呼出先設定一覧(グループ)

| <input type="checkbox"/> | 番号 | 名前 | 呼出先番号 | 優先度 | 所属する無線機台数 | 他拠点 | |
|--------------------------|----|---------|-------|-----|-----------|-------------|-------|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 営業グループ2 | 00201 | 通常 | - | 1(本社(マスター)) | 編集 削除 |

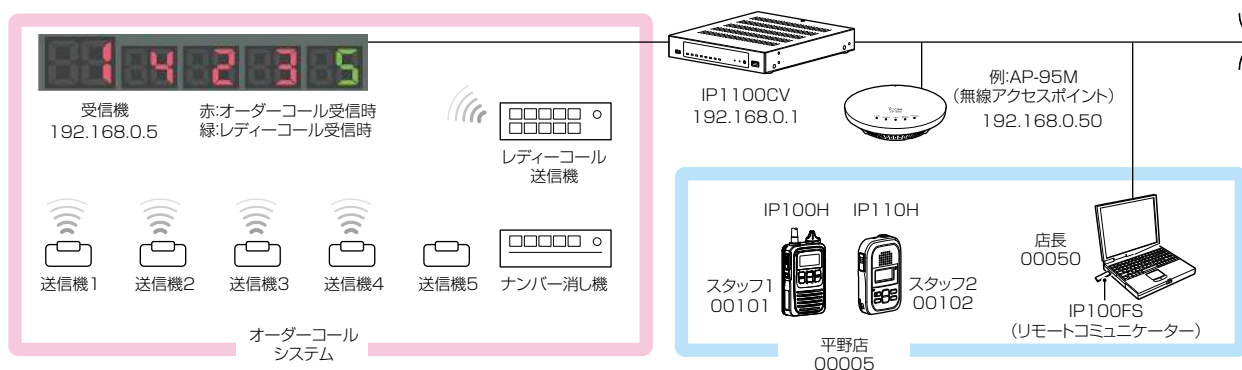
選択削除 全削除

拠点内で呼び出す無線機の台数と他拠点接続設定の接続先を表示します。

2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて

オーダーコールシステムと連携して運用する場合は、本製品の専用ページにアクセスして設定します。無線機の再起動後、本製品に登録されたIP100H、IP110H、IP100FSで、オーダーコールシステムの受信機に表示される内容を常時確認できるようになります。オーダーコールシステムの送信機からの呼び出しを、WLAN無線機の音声アナウンス、通知音や振動で確認できます。※オーダーコールシステムの操作や設定など、詳しくはご使用になる機器の取扱説明書と併せてご覧ください。本書では、ご使用になるオーダーコールシステムの設定などは完了しているものとして説明しています。



オーダーコールシステム連携時の初期設定について (P.2-28)

オーダーコールシステム受信機のIPアドレスを本製品に登録します。

オーダーコールシステム連携時のグループ設定について (P.2-30)

必要に応じて、オーダーコールシステムのグループごとに、呼び出しを確認する音声アナウンスを設定します。

オーダーコールシステム連携時の設定について (P.2-32)

- ◎「無線機個別」画面で、オーダーコールアナウンス時の通知音量、オプションキー (IP100H) やプログラマブルキー (IP110H) の機能を設定します。
- ◎「設定グループ詳細」画面で、オーダーコール時やレディーコール時の通知音、所属するオーダーコールシステムグループを設定します。

オーダーコールシステム連携時の操作について (P.2-35)

「設定グループ詳細」画面で指定したオーダーコールグループに登録されたすべての受信機に表示されている番号を、確認したり、消去したりできます。

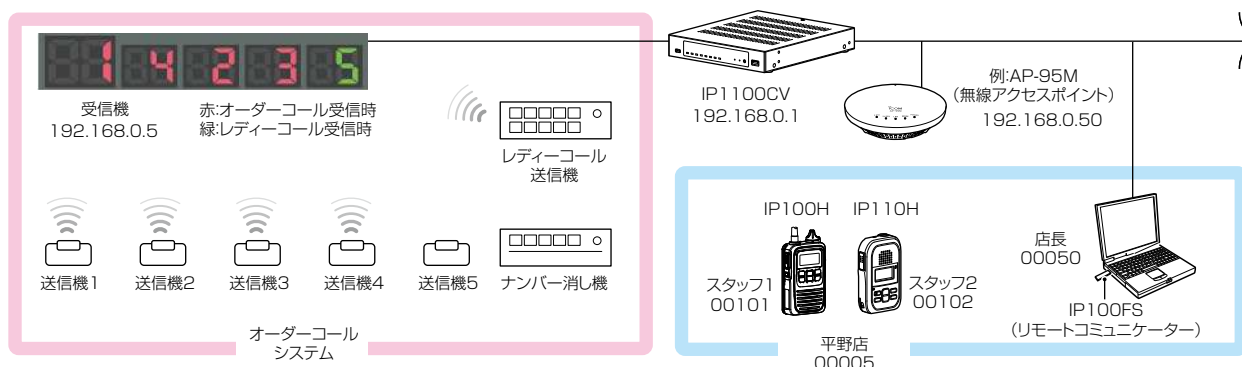
オーダーコールシステム連携時の音声データについて (P.2-37)

音声データ (拡張子: wav) をUSBメモリー (市販品) に保存後、本製品にUSBメモリーを差し込むと、音声アナウンスに使用できます。

※音声データが読み込まれていない状態や通知する内容に一致する音声ファイル名がない場合は、本製品に内蔵された標準音声データを使用します。

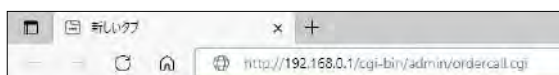
2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて



■ オーダーコールシステム連携時の初期設定について

1. Webブラウザのアドレスバーに、「[http://\[本製品のIPアドレス\]/cgi-bin/admin/ordercall.cgi](http://[本製品のIPアドレス]/cgi-bin/admin/ordercall.cgi)」の形式で、本製品に設定されたIPアドレス(出荷時の設定：192.168.0.1)を入力し、[Enter]キーを押します。
※初期設定後、オーダーコールシステムとの接続状態を確認する場合、または連携を解除する場合は、手順1の操作で専用ページにアクセスしてください。



2. 「オーダーコールシステム」画面で、「オーダーコールシステム」欄を「有効」に設定します。

| オーダーコールシステム | |
|---|--|
| オーダーコールシステム: | <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 |
| <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/> | |

3. <登録>をクリックして、無線機を再起動します。
4. 再起動後、「接続先IPアドレス」欄にオーダーコールシステム受信機のIPアドレス(例：192.168.0.5)、「接続先ポート番号」欄にオーダーコールシステム受信機のポート番号(例：10001)を入力し、<追加>をクリックします。
※テナントごとに最大20件のオーダーコールシステムを登録し、10グループまで登録できます。

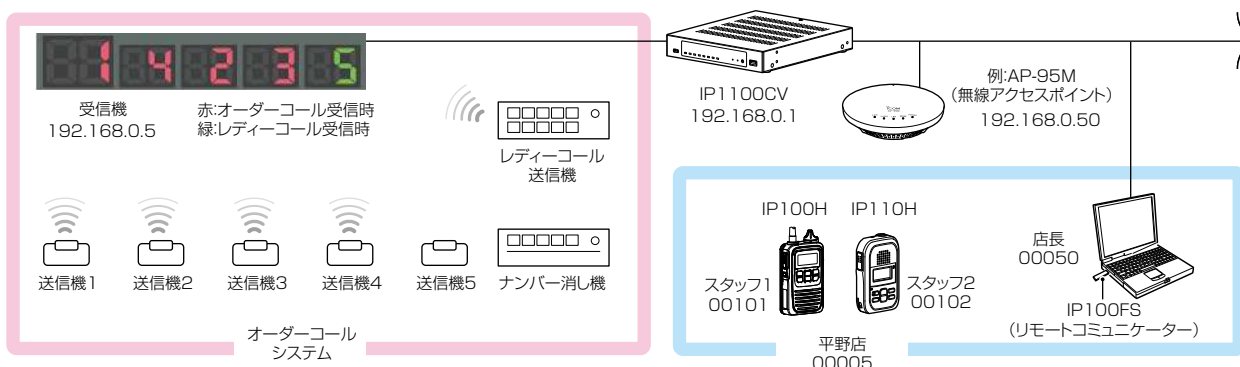
| オーダーコールシステム設定(テナント1) | |
|---|-------------|
| 番号: | 1 |
| 名前: | 本店 |
| 接続先IPアドレス: | 192.168.0.5 |
| 接続先ポート番号: | 10001 |
| オーダーコールグループ: | 1 |
| <input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="取消"/> | |

所属するオーダーコールシステムのグループを選択します。(P.2-29)

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて



■ オーダーコールシステム連携時の初期設定について

5.〈接続〉をクリックして、[接続状態]欄に「接続中」が表示されることを確認します。

※〈接続状態の更新〉をクリックしても、「接続中(表示)」、または「接続中」と表示されない場合は、〈編集〉をクリックして設定内容を確認してください。

オーダーコールシステム設定一覧(テナント1)

| 番号 | 名前 | 接続先IPアドレス | 接続先ポート番号 | オーダーコールグループ | 接続状態 | |
|----|----|-------------|----------|-------------|------|----------|
| 1 | 本店 | 192.168.0.5 | 10001 | 1 | 未接続 | 接続 編集 削除 |

[接続状態の更新](#)

[全削除](#)

オーダーコールグループ設定(テナント1)

オーダーコールグループ番号:

名前:

オーダーコールアナウンス: 無効 有効

レディーコールアナウンス:

先頭番号付加: 無効 有効

確認アナウンス:

アナウンス回数:

[登録](#) [取消](#)

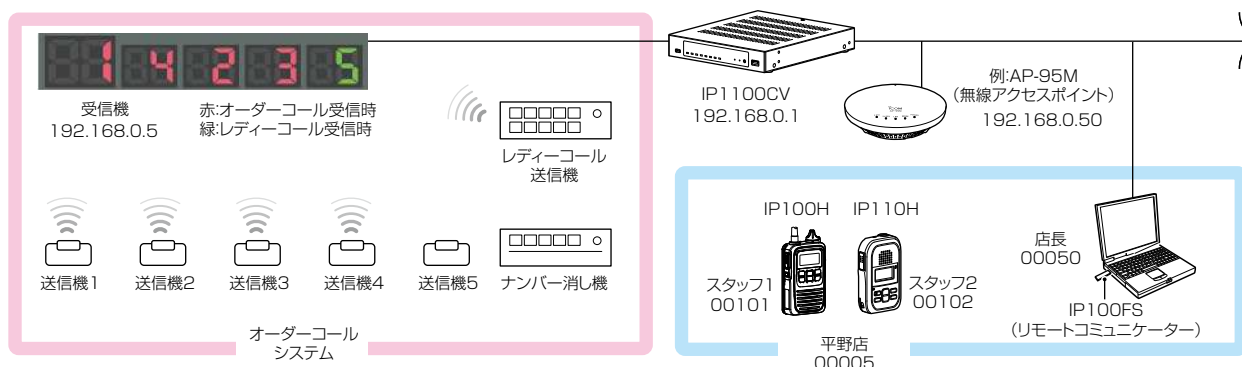
オーダーコールグループの名称が設定されている場合は、末尾に(名前)が表示されます。

【受信機の複数台接続について】

- ◎ オーダーコールグループに対して、複数の受信機が接続できます。
- ◎ 受信機を複数接続すると、最初に本製品と接続できた受信機がマスターになり、そのほかの受信機にはマスターと同じ内容が表示されます。
- ◎ 各オーダーコールグループで、IP100H/IP110Hの画面表示と連動する受信機は、表示される接続状態(上図)が「接続中(表示)」になり、そのほかの受信機は「接続中」になります。
- ◎ IP100H/IP110H、IP100FSから消去操作をすると、所属するオーダーコールグループの受信機(マスター)に表示されている一番左の番号を、すべての受信機から一斉に消去できます。

2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて



■ オーダーコールシステム連携時のグループ設定について

必要に応じて、オーダーコールシステムのグループごとに、呼び出しを確認するアナウンスが設定できます。

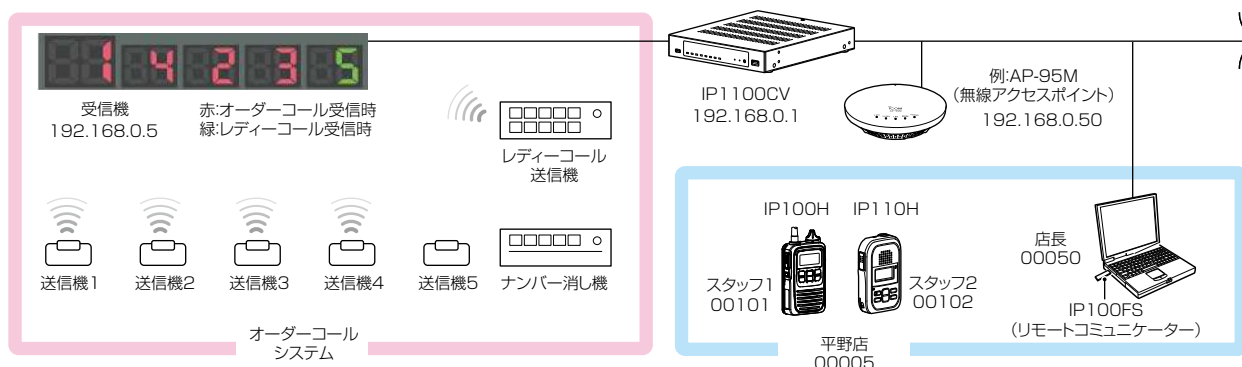
| オーダーコールグループ設定(テナント1) | |
|---|--|
| オーダーコールグループ番号: ① | 1 |
| 名前: ② | |
| オーダーコールアナウンス: ③ | <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 |
| レディーコールアナウンス: ④ | 無効 |
| 先頭番号付加: ⑤ | <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 |
| 確認アナウンス: ⑥ | 最終番号通知 |
| アナウンス回数: ⑦ | 2 |
| <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/> | |

- ① オーダーコールグループ番号** … アナウンスを設定するオーダーコールシステムのグループ番号を、「1」～「10」から選択します。
- ② 名前** ……………… 任意の名称を、31文字以内で入力します。
- ③ オーダーコールアナウンス** …… オーダーコールの送信機で呼び出しボタンが押されると通知する音声アナウンスを設定します。
(出荷時の設定: 無効)
 無効: 通知しません。
 有効: 押された呼び出しボタンの番号を通知します。
- ④ レディーコールアナウンス** …… レディーコールの送信機で呼び出しボタンが押されると通知する音声アナウンス(「コール」)を設定します。
(出荷時の設定: 無効)
 無効: 通知しません。
 有効(番号通知なし): 呼び出しボタンが押されたことを通知します。
 有効(番号通知あり): 「コール」(P.2-36)につづき、押された呼び出しボタンの番号を通知します。
- ⑤ 先頭番号付加** ……………… オーダーコール、またはレディーコールをアナウンスしたあとに、受信機の一
番左に表示されている番号も通知するときに設定します。
先頭番号には「ファースト」(P.2-38)を付加して通知します。
(出荷時の設定: 無効)

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて



■ オーダーコールシステム連携時のグループ設定について

| オーダーコールグループ設定(テナント1) | |
|---|--|
| オーダーコールグループ番号: | ① 1 |
| 名前: | ② |
| オーダーコールアナウンス: | ③ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 |
| レディーコールアナウンス: | ④ 無効 |
| 先頭番号付加: | ⑤ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 |
| 確認アナウンス: | ⑥ 最終番号通知 |
| アナウンス回数: | ⑦ 2 |
| <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/> | |

⑥ 確認アナウンス

IP100Hの[オプション](下図)やIP110Hのキー(P.2-33)を操作して、オーダーコール(受信機に表示された番号)を音声アナウンスで確認するとき設定します。(出荷時の設定: 無効)
 ※確認アナウンスの対象になるのは、オーダーコールだけです。
 ※「無線機個別」画面で、「確認アナウンス」を「有効」にする必要があります。(P.2-31、P.2-33)

- ◎無効 : 通知しません。
- ◎先頭番号通知: 受信機の一歩左に表示されている番号に「ファースト」(P.2-38)を付加して通知します。
- ◎最終番号通知: 最後に押された送信機の番号を通知します。

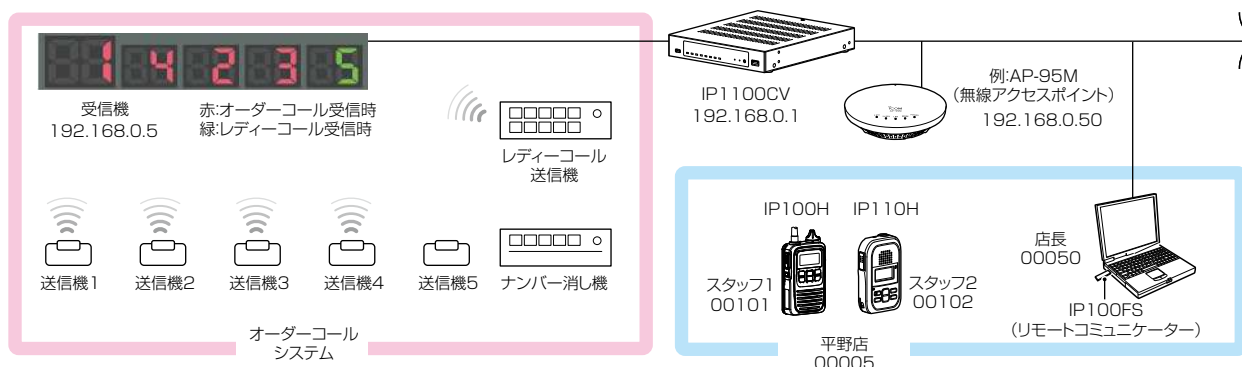


⑦ アナウンス回数

オーダーコールアナウンス、またはレディーコールアナウンス、確認アナウンスで通知するときの回数を、「1」～「3」から選択します。(出荷時の設定: 2)

2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて



■ オーダーコールシステム連携時の設定について

オーダーコールシステム連携に切り替わると、表示される設定画面や設定項目が一部変更になります。

「無線機設定」→「無線機個別」画面(IP100H)

○「オーダーコールアナウンス通知」→「通知音量」

○「キー割当」→「オプションキー」

○「キー割当」→「確認アナウンス」

※「表示項目」は、「オーダーコール」(変更不可)になります。

オーダーコールアナウンス通知

機能設定

通知音量: 10

通信方式: 単信通信 複信通信

優先呼出: 無効 有効

近隣呼出: 無効 有効

メッセージ: 無効 有効

プレゼンス: 無効 有効

低優先度呼出の音声ミキシング: 無効 有効

固定呼出

固定呼出: 無効

キー割当

オプションキー: 表示消去

確認アナウンス: 無効 有効

通話中の電話切断: 無効 有効

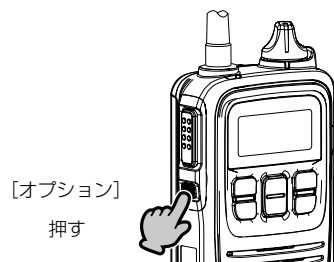
接続確認

接続確認: 無効 有効

必要に応じて、通知音を変更してください。

「表示消去」に設定されているときは、IP100Hの[オプション]を長く(約1秒)押すと、オーダーコール表示を消去できます。

[オプション]を短く押して、オーダーコールをアナウンスで確認するときは、「有効」にします。(P.2-31)

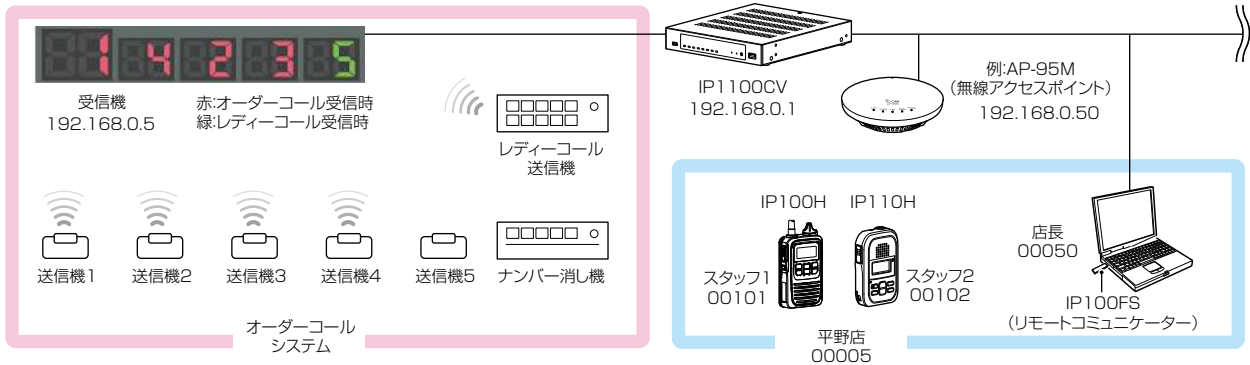


短押し: オーダーコールをアナウンスで確認するとき
長押し: オーダーコールの表示を消去するとき

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて



■ オーダーコールシステム連携時の設定について

オーダーコールシステム連携に切り替わると、表示される設定画面や設定項目が一部変更になります。

「無線機設定」→「無線機個別」画面(IP110H)

- ◎[オーダーコールアナウンス通知]→[通知音量]、[確認アナウンス]
- ◎[プログラマブルキー設定]→[表示消去]、[確認アナウンス]
- ※「表示項目」は、「オーダーコール」(変更不可)になります。

オーダーコールアナウンス通知

通知音量: 10

確認アナウンス: 無効 有効

機能設定

通信方式: 単信通信 複信通信

優先呼出: 無効 有効

プログラマブルキー設定

P1: 無効

P2: 無効

P3: メッセージ

P4: フンタッチ

P5: 電話切断

通話中の電話切断: 表示消去

接続確認

接続確認: 確認アナウンス

キー操作音

キー操作音: 一時音量切替

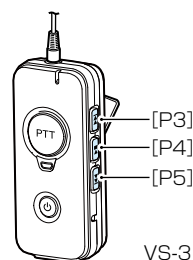
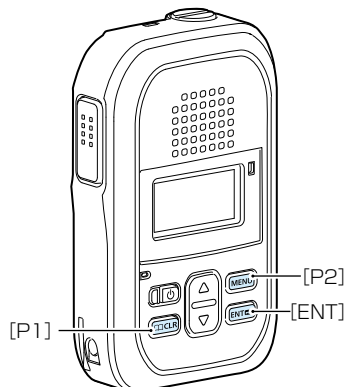
必要に応じて、通知音を変更してください。

IP110Hの[ENT]を短く押して、オーダーコールをアナウンスで確認するときは、「有効」にします。(P.2-30)

「表示消去」が[P1]~[P5](下図)に設定されているときは、割り当てられたキーを長く(約1秒)押しと、オーダーコール表示を消去できます。

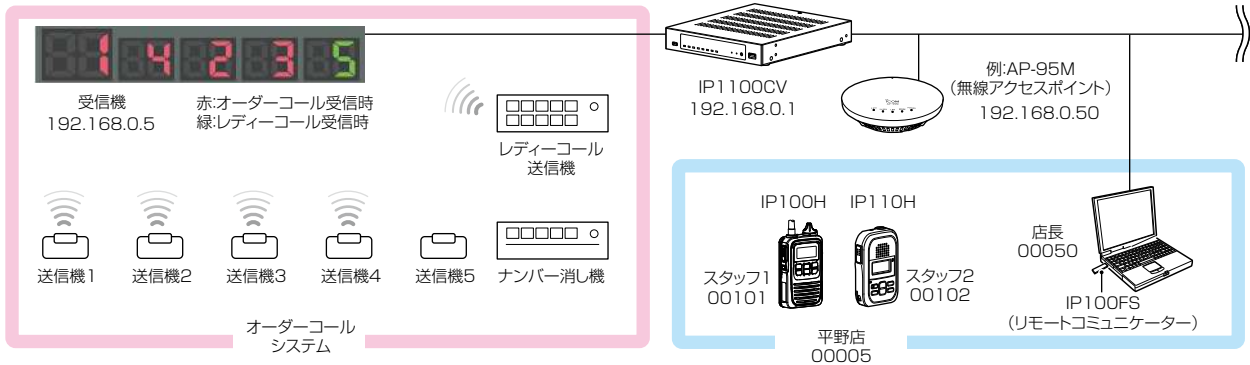
確認アナウンス有効時、「確認アナウンス」を割り当てられたキーを長く(約1秒)押しと、オーダーコールをアナウンスで確認できます。
※確認アナウンス無効時は、使用できない機能です。

IP110H



2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて



■ オーダーコールシステム連携時の設定について

オーダーコールシステム連携に切り替わると、表示される設定画面や設定項目が一部変更になります。

「設定グループ」→「設定グループ詳細」画面

- ◎ [オーダーコールシステム] → [オーダーコールシステム]
- ◎ [オーダーコールシステム] → [オーダーコールグループ]
- ◎ [受信通知音]

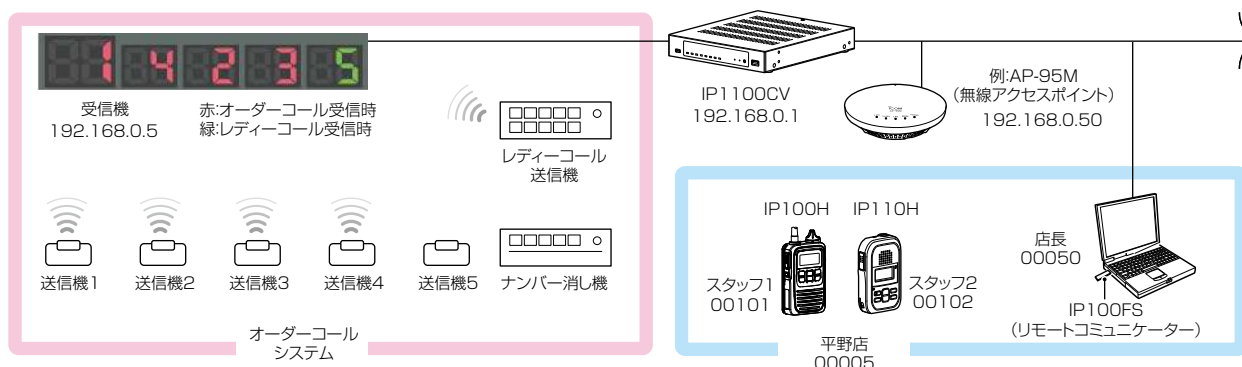
★ [オーダーコールグループ] 欄で「プレゼンス指定」を選択したときは、送信するステータス情報の番号(下図参照)に応じて、所属するオーダーコールグループが切り替わります。

「設定グループ」→「プレゼンス」画面

| すべて | ステータス番号 | ステータス名 |
|-------------------------------------|---------|--------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1 | フロア移動(食堂) |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2 | フロア移動(レストラン) |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3 | フロア移動(ショップ) |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4 | 休憩中 |

2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて



■ オーダーコールシステム連携時の操作について

オーダーコールシステム連携に切り替わると、画面に表示される内容や操作が一部変更になります。

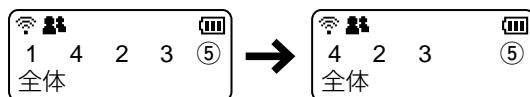
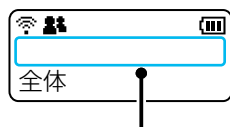
※「設定グループ詳細」画面で指定したオーダーコールグループごとに、受信機に表示されている番号を確認したり消去したりできます。

● IP100Hでは

オーダーコールシステム連携時、呼び出しボタンを押した送信機の番号が画面に表示されます。

※表示番号の点滅機能には対応していません。

※[オプション]に「表示消去」を割り当てている場合、IP100Hの[オプション]を長く(約1秒)押し、受信機の一番左に表示されている番号が消去できます。



通常の待受画面(P.2-7)と異なり、オーダーコールシステム連携時の待受画面には、日時が表示されません。

オーダーコールは左から消去されます。

※丸数字はレディーコールを示します。

● IP100FSでは

オーダーコールシステム連携時、オーダーコールシステム受信機の状態画面が別画面で常時表示されます。

※番号表示の点滅機能には対応していません。

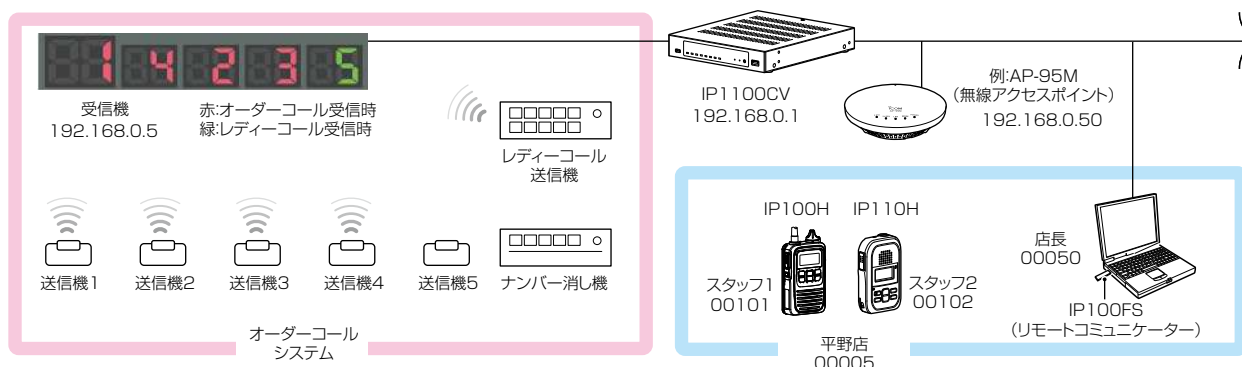


オーダーコール、レディーコールとも任意の番号を消去できます。消去するときは、画面上の番号表示をクリックします。

(次ページにつづく)

2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて



■ オーダーコールシステム連携時の操作について

オーダーコールシステム連携に切り替わると、画面に表示される内容や操作が一部変更になります。

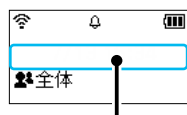
※「設定グループ詳細」画面で指定したオーダーコールグループごとに、受信機に表示されている番号を確認したり消去したりできます。

●IP110Hでは

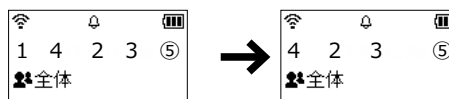
オーダーコールシステム連携時、呼び出しボタンを押した送信機の番号が画面に表示されます。

※表示番号の点滅機能には対応していません。

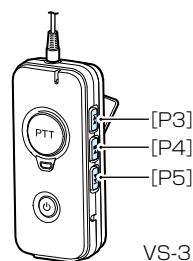
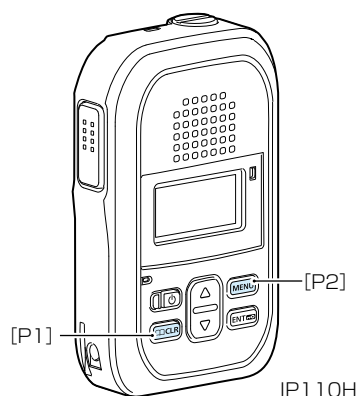
※「表示消去」を[P1]～[P5]に割り当てている場合、割り当てられたキーを長く(約1秒)押し続けると、受信機の一番左に表示されている番号が消去できます。



通常の待受画面と異なり、オーダーコールシステム連携時の待受画面には、日時や名前が表示されません。



オーダーコールは左から消去されます。
※丸数字はレディーコールを示します。

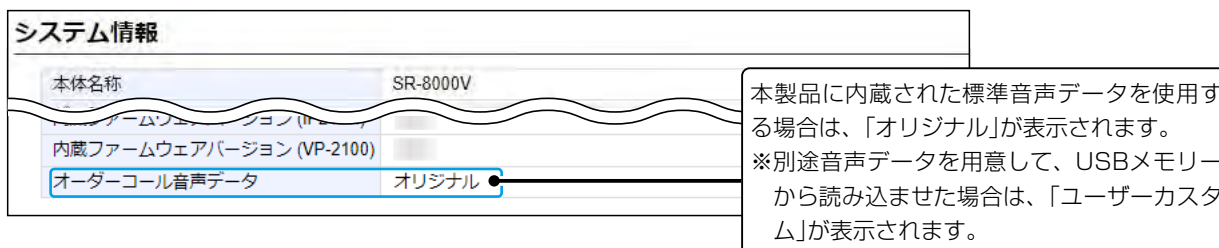


2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて

■ オーダーコールシステム連携時の音声データについて

オーダーコールシステム連携に切り替わると、「TOP」画面に[オーダーコール音声データ]欄が表示されます。



【対応するフォーマットについて】

| コーデック | サンプリング周波数 | ビット数 | チャンネル数 | コンテナフォーマット |
|-----------------|-----------|-------|-------------------|------------|
| リニアPCM | 8kHz | 16ビット | モノラル | wav |
| G711 μ -law | 8kHz | 8ビット | モノラル(μ -law) | wav |

※あらかじめ音声ファイルの最初と最後に50msの無音区間が挿入されている必要があります。

※音声ファイルは、1つあたり最大5秒までです。

5秒以上の音声ファイルは最初の5秒区間だけ再生します。

※音声データが読み込まれていない状態や通知する内容に一致する音声ファイル名がない場合は、本製品に内蔵された標準音声データを使用します。

【音声データのファイル名と保存先について】

本製品に読み込ませる音声データ(拡張子:wav)は、下図のようにUSBメモリーにフォルダーを用意し、格納してください。

※USBメモリーのルートフォルダーに自身の本体LAN側MACアドレスと一致するフォルダーがある場合は、その中に格納されているordercallフォルダーに保存されているデータを読み込みます。

この場合、ルートフォルダーにあるordercallフォルダーは参照されません。

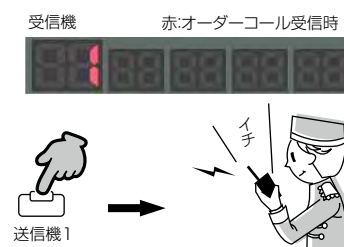


◎ファイル名の数字部分と押されたボタンの番号がリンクしています。

オーダーコールで、送信機1番の呼び出しボタンを押すと、「num001.wav」を再生します。

たとえば、「num001.wav」が「イチ」の場合は、「イチ」となります。

num000.wav : 0番押下
 } }
num099.wav : 99番押下



(次ページにつづく)

2 導入ガイド

6. オーダーコールシステムについて

■ オーダーコールシステム連携時の音声データについて

【音声データのファイル名と保存先について】



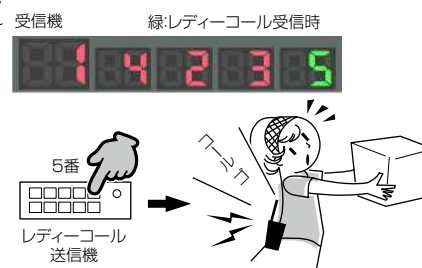
◎レディーコールアナウンス(P.2-30)が「有効(番号通知なし)」に設定されている場合

レディーコールの送信機で呼び出しボタンを押すと、「call.wav」を再生します。
たとえば、「call.wav」が「コール」の場合は、「コール」となります。



◎レディーコールアナウンス(P.2-30)が「有効(番号通知あり)」に設定されている場合

レディーコールの送信機で呼び出しボタンを押すと、「call.wav」と押されたボタンの番号(例:5)を結合し、再生します。
たとえば、「call.wav」が「コール」の場合は、「コール 5」となります。



◎先頭番号付加(P.2-30)が「有効」、または確認アナウンス(P.2-31)が「先頭番号通知」に設定されている場合

オーダーコールシステム受信機の一番左に表示されている番号をアナウンスするときは、「first.wav」と先頭番号(例:1)を結合し、再生します。
たとえば、「first.wav」が「ファースト」の場合は、「ファースト イチ」となります。



2 導入ガイド

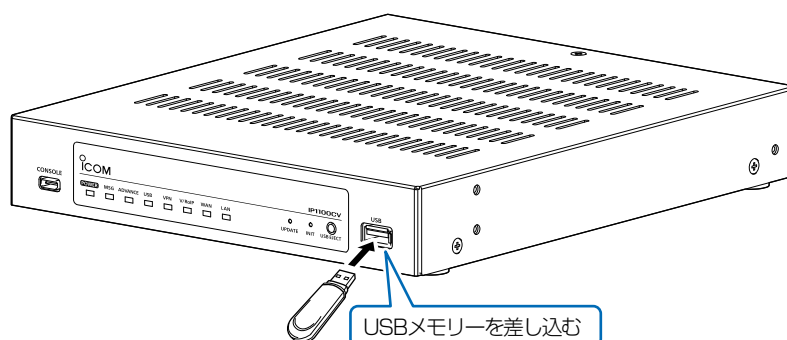
6. オーダーコールシステムについて

■ オーダーコールシステム連携時の音声データについて

【音声データの読み込みについて】

音声データが保存されたUSBメモリーを本製品の[USB]ポートに差し込んでください。

また、[USB]ランプが●緑点灯しているときに、USBメモリーを取りはずしたり、本製品の電源を切ったりすると、データ消失や故障の原因になります。



ご参考

「管理」メニューの「管理ツール」画面で、[USBメモリー]欄を「有効」に設定してください。

※ [USBアクセス許可]欄、[USB認証キー]欄の設定に関係なく使用できます。

ご注意

◎読み込んだ音声データをご利用になる場合は、USBメモリーは本製品に取り付けた状態のまま運用してください。

◎音声データを使わなくなった場合など読み込んだ内容を消去するときは、データ保護のため、必ず本製品の電源を切ってから、USBメモリーを取りはずし、本製品の電源を入れなおしてください。

この章では、

本製品の設定内容の保存、ファームウェアを更新する手順について説明しています。

| | |
|---------------------------------------|------|
| 1. 設定内容の確認または保存 | 3-2 |
| 2. 保存された設定の書き込み(復元) | 3-3 |
| 3. 設定を出荷時の状態に戻すには | 3-4 |
| ■ 〈INIT〉ボタンを使用する | 3-4 |
| ■ 設定画面を使用する | 3-5 |
| 4. ファームウェアを更新する | 3-6 |
| ■ ファームウェアについて | 3-6 |
| ■ ファームウェアの更新についてのご注意 | 3-6 |
| A) ファイルを指定して更新する | 3-7 |
| B) オンライン更新 | 3-8 |
| C) 〈UPDATE〉ボタンを使用して更新する | 3-9 |
| 5. USBメモリーによる自動設定機能について | 3-10 |
| ■ USBストレージデバイス使用時のご注意 | 3-11 |
| ■ 対応するUSBストレージデバイスの規格 | 3-11 |
| ■ 自動設定に使用するファイル名の付けかた | 3-12 |
| ■ 自動バックアップされる設定ファイルについて | 3-12 |
| ■ 複数台分の設定ファイルを1つのUSBメモリーで管理するには | 3-13 |
| 6. USBメモリーから自動で設定を復元するには | 3-14 |
| ■ 設定ファイルを保存して復元するまでの手順 | 3-14 |
| 7. USBメモリーからファームウェアを更新するには | 3-16 |
| ■ 更新するまでの手順 | 3-16 |
| 8. USBメモリー用の認証キーを設定するには | 3-18 |
| ■ 設定のしかた | 3-18 |

3 保守について

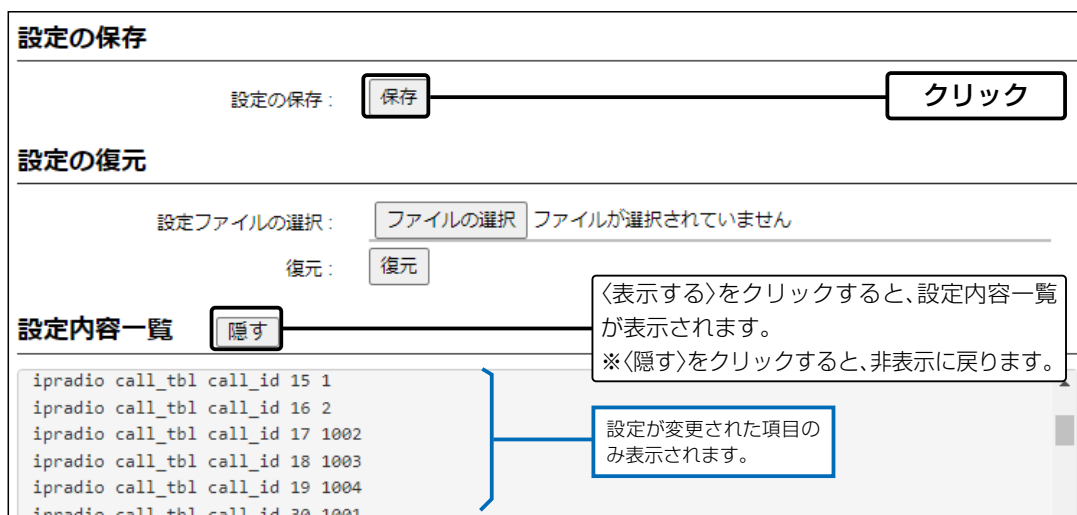
1. 設定内容の確認または保存

管理 > 設定の保存/復元

本製品の設定画面で変更された内容を確認して、その内容を設定ファイル(拡張子:sav)としてパソコンに保存できます。
※保存した設定ファイル(拡張子:sav)は、本製品以外の製品では使用できません。
※設定を保存しておく、誤って設定内容が失われたときなどに利用できます。

1 「管理」メニュー、「設定の保存/復元」の順にクリックします。
「設定の保存/復元」画面が表示されます。

2 [設定の保存]項目の<保存>をクリックします。



3 保守について

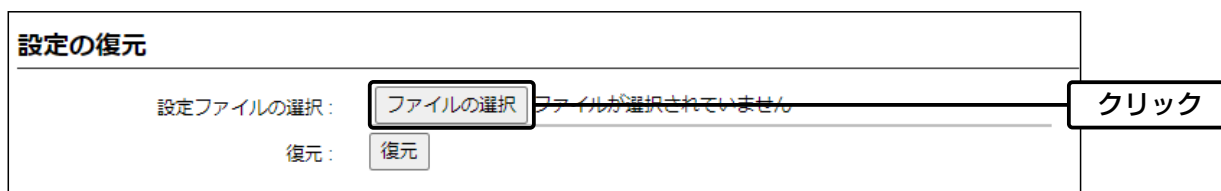
2. 保存された設定の書き込み(復元)

管理 > 設定の保存/復元

本製品の設定画面からパソコンに保存した設定ファイル(P.3-2)を本製品に書き込む手順を説明します。

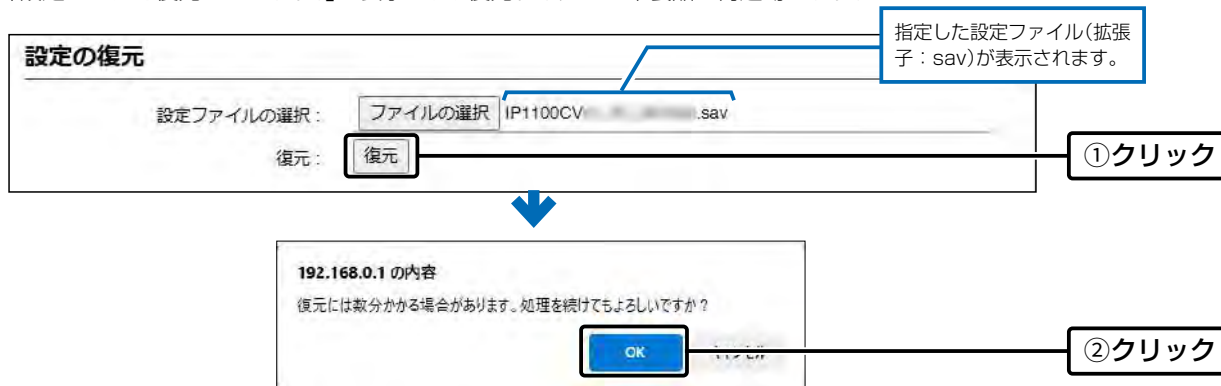
- 1 「管理」メニュー、「設定の保存/復元」の順にクリックします。
「設定の保存/復元」画面が表示されます。

- 2 「設定の復元」項目の〈ファイルの選択〉をクリックします。
「開く」画面(別画面)が表示されます。



- 3 「開く」画面(別画面)から、設定ファイル(拡張子: sav)を指定して、〈開く(O)〉をクリックします。
「設定ファイルの選択」欄に、書き込む設定ファイルが表示されます。

- 4 〈復元〉をクリックします。
「設定データを復元しています。」が表示され、復元するために本製品が再起動します。



- 5 再起動後、[Back]と表示された文字の上にマウスポインターを移動してクリックすると、設定画面に戻ります。
設定画面に戻らないときは、復元中ですので、しばらくしてから再度クリックしてください。
(接続するパソコンや本製品の電源は、絶対に切らないでください。)

設定ファイルについてのご注意

本製品以外の機器へ書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3 保守について

3. 設定を出荷時の状態に戻すには

ネットワーク構成を変更するときなど、既存の設定データをすべて消去して、設定をはじめからやりなおすときは、本製品の設定内容を出荷時の状態に戻せます。

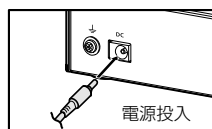
そのときの状況に応じて、次の2とおりの方法があります。

■ 〈INIT〉ボタンを使用する

- 1 本製品からすべての機器を取りはずして、電源を入れる

[POWER]ランプの点灯を確認してから、手順2の操作を開始してください。

※ご使用の環境により、[POWER]ランプ以外の状態は異なります。



電源投入

ランプ表示

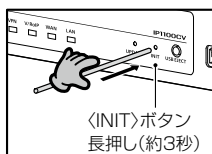
点灯(緑)



- 2 すべてのランプが ● 橙点灯するまで、〈INIT〉ボタンを押す

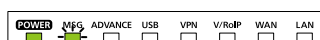
※〈INIT〉ボタンを押すと、[MSG]ランプが緑点滅します。

そのまま押しつづけると、すべてのランプが橙点灯します。

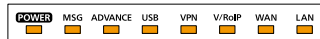


〈INIT〉ボタン
長押し(約3秒)

点灯(緑)



点滅(緑)

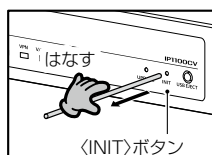


全点灯(橙)

- 3 すべてのランプが ● 橙点灯したことを確認して、〈INIT〉ボタンから手をはなす

※[POWER]ランプが ● 緑点灯すると、初期化完了です。

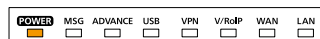
※初期化実行後、起動が完了して[POWER]ランプが ● 緑点灯するまでは電源を切らないでください。



〈INIT〉ボタン

全点滅(赤→緑)

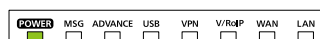
点灯(橙)



点滅(緑)



点灯(緑)



ご注意

初期化すると、本製品のIPアドレスは、「192.168.0.1」(出荷時の設定)になります。

初期化実行後、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。

3 保守について

3. 設定を出荷時の状態に戻すには

管理 > 初期化

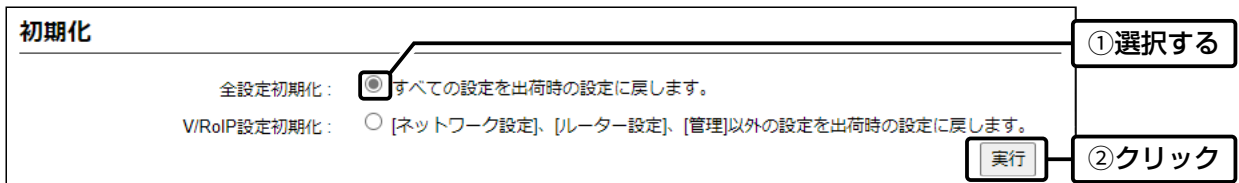
本製品に設定されたIPアドレスと管理者パスワードがわかっていて、そのIPアドレスで設定画面にアクセスできるときは、本製品の設定画面から、すべての設定を出荷時の状態に戻せます。

IPアドレスと管理者パスワードが不明な場合などの初期化については、3-4ページをご覧ください。

■ 設定画面を使用する

- 1 「管理」メニュー、「初期化」の順にクリックします。
「初期化」画面が表示されます。

- 2 初期化したい条件(例:全設定初期化)を選択して、「実行」をクリックします。



- 3 <OK>をクリックします。
出荷時の状態に戻すために、本製品が再起動します。



- 4 再起動完了後、「設定画面に戻る」と表示された文字の上にマウスポインターを移動してクリックします。
※設定画面に戻るまで、電源は切らないでください。

初期化の条件について

◎全設定初期化をクリックした場合

本製品に設定されたすべての内容を出荷時の状態に戻します。

初期化すると、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1」(出荷時の設定)になります。

初期化実行後、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。

◎V/RoIP設定初期化をクリックした場合

「ネットワーク設定」メニュー、「ルーター設定」メニュー、「管理」メニュー以外で設定した内容だけを出荷時の状態に戻します。

初期化実行後、WLAN無線機、IP電話機が使用できなくなりますので、必要に応じて、設定してください。

3 保守について

4. ファームウェアを更新する

本製品の設定画面からファームウェアを更新できます。

A ファイルを指定して更新する

オンライン更新できない環境では、あらかじめ弊社ホームページからダウンロードしたファームウェアを指定して、手動で更新できます。

B オンライン更新(P.3-8)

インターネットから本製品のファームウェアを最新の状態に自動更新できます。

C <UPDATE>ボタンを使用して更新する(P.3-9)

本体の<UPDATE>ボタンを押して、本製品のファームウェアを最新の状態に更新できます。

TOP

■ ファームウェアについて

ファームウェアは、本製品を動作させるために、出荷時から本製品のフラッシュメモリーに書き込まれているプログラムです。

このプログラムは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップすることがあります。

更新を実行する前に、本製品の設定画面にアクセスして、「TOP」画面に表示されるバージョン情報を確認してください。ファームウェアを更新すると、機能の追加など、本製品を最良の状態にできます。

| システム情報 | |
|--------------------------|----------|
| 本体名称 | IP1100CV |
| バージョン | |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP100H) | |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP110H) | |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP200H) | |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP200PG) | |
| 内蔵ファームウェアバージョン (IP210H) | |
| 内蔵ファームウェアバージョン (VP-2100) | |

バージョン情報

■ ファームウェアの更新についてのご注意

◎ 更新中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。

更新中に電源を切ると、データの消失や故障の原因になります。

◎ ご使用のパソコンでファイアウォール機能が動作していると、更新できないことがあります。

更新できない場合は、ファイアウォール機能を無効にしてください。

◆ ファームウェアの更新結果については、自己責任の範囲となります。

次に示す内容をよくお読みになってから、弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> から提供される本製品のアップデート用ファームウェアファイルをご使用ください。

本製品以外の機器への書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、あるいは停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3 保守について

4. ファームウェアを更新する

管理 > ファームウェアの更新

A ファイルを指定して更新する

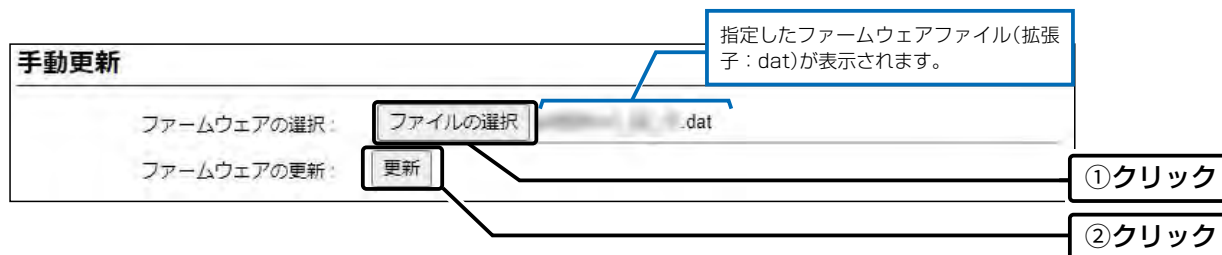
ファームウェアの更新を実行する前に、現在の設定内容を保存されることをおすすめします。(P.3-2)

※ 更新後、既存の設定内容が初期化されるファームウェアファイルがありますので、ダウンロードするときは、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

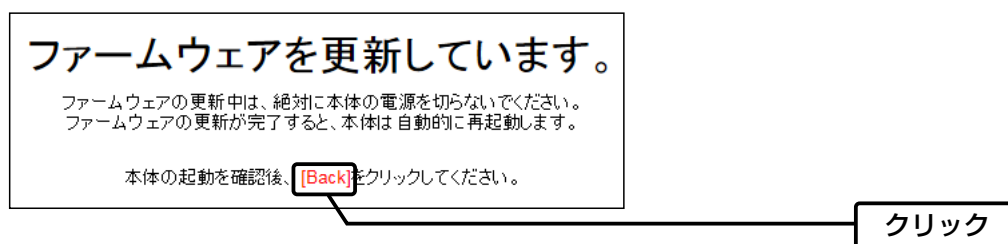
※ 日常、管理者以外の端末から更新できないように、設定画面へのアクセス制限の設定をおすすめします。(取扱説明書[活用編])

1 「管理」メニュー、「ファームウェアの更新」の順にクリックします。
「ファームウェアの更新」画面が表示されます。

2 下記のように、弊社ホームページからダウンロードして解凍したファームウェアファイル(拡張子: dat)を指定して、更新します。



3 更新完了後、[Back]と表示された文字の上にマウスポインターを移動してクリックすると、設定画面に戻ります。
設定画面に戻らないときは、ファームウェアの更新中ですので、しばらくしてから再度クリックしてください。
(接続するパソコンや本製品の電源は、絶対に切らないでください。)



ご注意

[Back]の操作(手順3)で設定画面に戻るようになるまで、ご使用のパソコンや本製品の電源を絶対に切らないでください。
途中で電源を切ると、データの消失や誤動作の原因になります。

※ 出荷時の設定に戻るような注意書きがあるバージョンアップ用ファームウェアの場合は、上図の[Back]をクリックしても設定画面に戻れないことがあります。

その場合は、接続するパソコンのIPアドレスを「例: 192.168.0.100」に設定してから、本製品の設定画面「192.168.0.1」にアクセスしなおしてください。

3 保守について

4. ファームウェアを更新する

管理 > ファームウェアの更新

④ オンライン更新

下記の手順で、最新のファームウェアを確認後、[MSG]ランプが●緑点灯しているときは、本製品のファームウェアをオンラインで更新できます。

※ 自動更新機能が「有効」に設定されているときに、オンラインで新しいファームウェアを検知します。(取扱説明書[活用編])

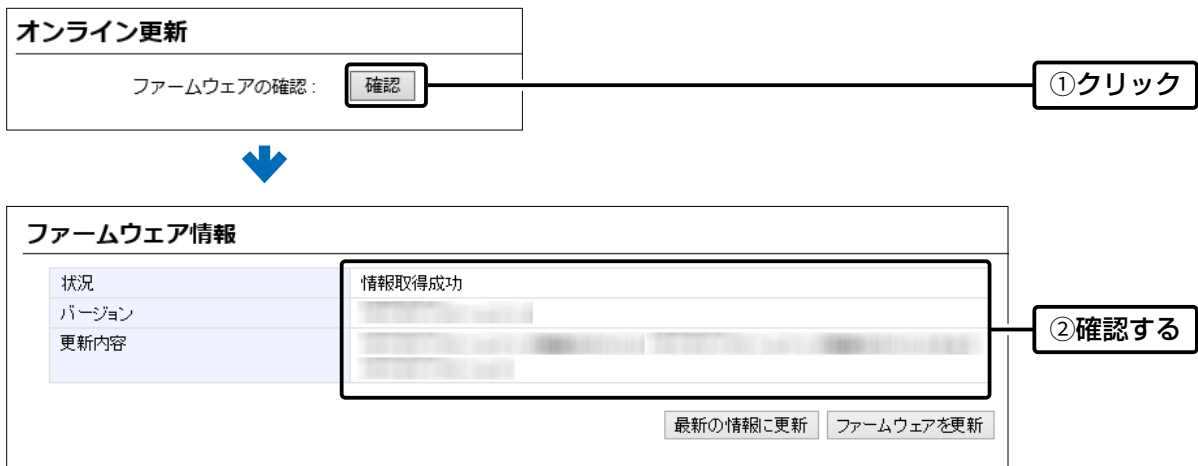
※ ファームウェアの確認には、インターネット回線への接続が必要です。

また、インターネット回線接続時は、本製品へのDNS設定、デフォルトゲートウェイの設定が必要です。

※ 更新を実行する前に、現在の設定内容を保存されることをおすすめします。(P.3-2)

- 1 「管理」メニュー、「ファームウェアの更新」の順にクリックします。
「ファームウェアの更新」画面が表示されます。

- 2 [ファームウェアの確認]欄の<確認>をクリックして、表示される更新内容を確認します。
※「新しいファームウェアはありません。」が表示され、[MSG]ランプが消灯のときは、更新は必要ありません。



- 3 <ファームウェアを更新>をクリックします。
弊社のアップデート管理サーバーにアクセスを開始します。
※更新により、既存の設定内容が初期化されるファームウェアファイルがありますので、更新を実行する前に、表示される更新内容をご確認ください。

- 4 更新が完了するまで、お待ちください。
弊社のアップデート管理サーバーに接続すると、ファームウェアのダウンロードを開始し、更新後は、自動的に再起動します。

ファームウェアを更新しています。

ファームウェアの更新中は、絶対に本体の電源を切らないでください。
ファームウェアの更新が完了すると、本体は自動的に再起動します。

本体の起動を確認後、[Back]をクリックしてください。

3 保守について

4. ファームウェアを更新する

管理 > ファームウェアの更新

③ <UPDATE>ボタンを使用して更新する

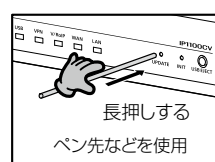
[MSG]ランプが●緑点灯した場合は、下記の手順で、本製品のファームウェアをバージョンアップできます。

※オンラインファーム検知時、ファームウェアは自動的に更新されません。

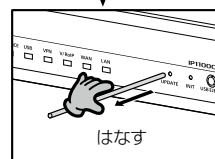
※更新内容によっては、アップデート管理サーバーから本製品のファームウェアが自動更新されることがあります。

運用中にファームウェアを更新して本製品が再起動しますので、自動更新を望まない場合は「無効」(出荷時の設定:有効)に設定してください。

1 [MSG]ランプが●緑点灯から✳緑点滅に切り替わるまで、<UPDATE>ボタンを押します。



2 [MSG]ランプが✳緑点滅したことを確認して、<UPDATE>ボタンから手をはなします。ファームウェアのダウンロードを開始し、更新後は自動的に再起動します。
※本製品が再起動したあと、ご使用の端末を再起動してください。



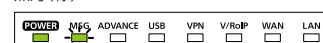
ランプ表示

点灯(緑)

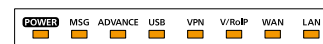


点灯(緑)

点灯(緑)



点滅(緑)



全点灯(橙)

再起動後、[POWER]ランプ点灯(緑)

※ご使用の環境により、[MSG]ランプ以外の状態は異なります。(全点灯時を除く)

3 保守について

5. USBメモリーによる自動設定機能について

本製品のUSBポートにUSBメモリー(市販品)を接続すると、あらかじめUSBメモリーに保存されたファームウェアファイルや設定ファイル(本製品の設定が保存されたファイル)を本製品に自動で読み込みます。

また、本製品のLAN側MACアドレスをフォルダー名とするフォルダーを作成することで、1つのUSBメモリーを使用して、複数台(本製品)の設定復元やファームウェアの更新ができます。

※操作方法については、3-14ページ～3-17ページをご覧ください。

◎ファームウェアの更新

本製品のファームウェアファイル(拡張子: dat)をUSBメモリーに保存後、本製品にUSBメモリーを差し込んで、ファームウェアを更新します。

◎設定の保存/復元

本製品の設定ファイルをUSBメモリーに保存後、本製品にUSBメモリーを差し込んで、自動で設定を復元します。

ご参考

「管理」メニューの「管理ツール」画面で、[USBメモリー]欄が「有効」に設定されているとき、USBメモリーが差し込まれると、USBメモリーへのアクセスが開始されます。

The screenshot shows a settings window titled "USB設定" (USB Settings). It contains the following options:

- USBメモリー: 無効 有効
- USBアクセス許可: ファームウェアの更新
- 設定の保存/復元
- オリジナル保留音/メッセージ
- USB認証キー: _____
- USB認証キーの書き込み:

(※画面の内容は、出荷時の設定です。)

3 保守について

5. USBメモリーによる自動設定機能について

■ USBストレージデバイス使用時のご注意

- ◎ 指紋認証型、アプリケーション認証(パスワード認証)型など、セキュリティ対応型のUSBメモリーは使用できません。
- ◎ ご使用になる前に、あらかじめ、USBメモリー内のデータをバックアップしてください。
- ◎ データ保護のため、必ず[USB]ランプが消灯してから、USBメモリーの接続や取りはずしをしてください。
設定保存/復元、ファームウェアの更新で使用する場合など、USBメモリーを接続中([USB]ランプ ● 緑点灯中)は、絶対にUSBメモリーを取りはずさないでください。
ファイルの消失や故障の原因になります。
- ◎ USBメモリーを差し込むときは、形状と差し込み方向に注意して、奥まで確実に差し込んでください。
- ◎ USBメモリーを接続中は、[USB]ランプが ● 緑点灯します。
- ◎ 本製品の設定画面でUSB認証キーが設定(P.3-18)されている場合、差し込まれたUSBメモリー側の認証キーと一致しないときは、自動設定機能は動作しません。
- ◎ 設定を復元する直前の設定値は、設定ファイル(bakdata.sav)として、本製品に接続したUSBメモリーにバックアップされます。
- ◎ USBメモリーに保存された設定ファイルやファームウェアファイルが、本製品に適用されているものと同じ場合や、破損していたり、本製品以外のものであったりするときは、自動設定、またはファームウェアの更新をしません。
※本製品で動作中のものと異なる設定ファイルやファームウェアファイルが、USBメモリーに保存されている場合は、その内容で自動設定されます。
- ◎ 設定ファイルとファームウェアファイルの両方がUSBメモリーに保存されている場合は、設定復元、ファームウェアの更新の順に自動設定を実行します。

■ 対応するUSBストレージデバイスの規格

インターフェース : USB3.0/2.0/1.1

デバイス : USB 大容量デバイス(USB Mass Storage Class)

フォーマット : FAT16/FAT32(exFATやNTFSなど、ほかのフォーマットには対応していません。)

※すべてのUSB対応周辺機器で動作を保証するものではありません。

※装着するデバイスの消費電流に応じてセルフパワー供給が必要になることがあります。

3 保守について

5. USBメモリーによる自動設定機能について

■ 自動設定に使用するファイル名の付けかた

設定ファイル名は、「savedata」(拡張子：sav)でUSBメモリーに保存してください。

※自動設定に使用する設定ファイルは、「管理」メニュー→「設定の保存/復元」画面→「設定の保存」項目(P.3-2)で保存したものと、自動バックアップされる設定ファイル以外は、使用できません。

ファームウェアファイル名は、「firmware」(拡張子：dat)でUSBメモリーに保存してください。

※ファームウェアの更新に使用するファームウェアファイルは、弊社ホームページからダウンロードし、解凍してから、ファームウェアファイル名を変更してください。

■ 自動バックアップされる設定ファイルについて

バックアップは、下記のファイル名で、最大10世代前まで自動バックアップされます。

最新のバックアップ設定ファイルは、bakdata.savで自動バックアップされます。

例：1世代前のファイル名 bakdata_1.sav

2世代前のファイル名 bakdata_2.sav

3世代前のファイル名 bakdata_3.sav

～ 中略 ～

10世代前のファイル名 bakdata_10.sav

※10世代を超えると、最も古いバックアップ設定ファイル(bakdata_10.sav)が削除されます。

また、削除と同時に、ファイル名の数字が1世代後退します。(例：bakdata_9.sav→bakdata_10.sav)

※ファームウェアファイルは、バックアップされません。

※本製品の設定内容を変更した場合に、設定ファイル(bakdata.sav)が自動バックアップされます。

3 保守について

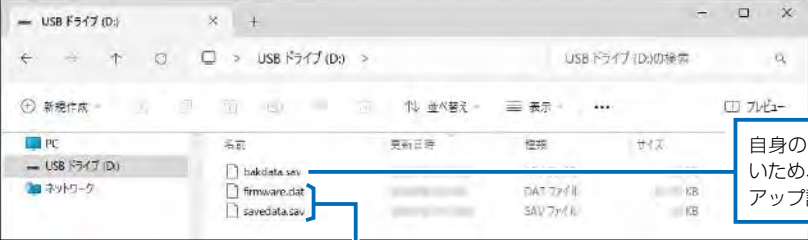
5. USBメモリーによる自動設定機能について

■ 複数台分の設定ファイルを1つのUSBメモリーで管理するには

1つのUSBメモリーを使用して、本製品(複数台分)の設定復元やファームウェアの更新をするときは、あらかじめ、本製品のシリアルシールに記載されているLAN側MACアドレス(P.iv)をフォルダー名^{*}とするフォルダーを作成し、そのフォルダーに本製品の設定ファイルやファームウェアファイルを保存しておく必要があります。

^{*}全角のフォルダー名は使用できません。

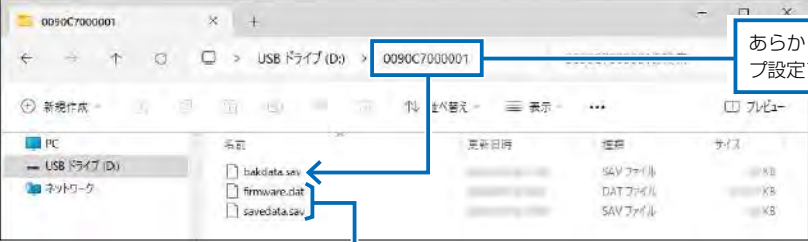
ルートディレクトリーにフォルダーがないとき



自身のLAN側MACアドレスと一致するフォルダーがないため、USBメモリーのルートディレクトリーにバックアップ設定ファイルを作成します。

自身のLAN側MACアドレスと一致するフォルダーがないため、ルートディレクトリーにある設定ファイルやファームウェアファイルを読み込みます。

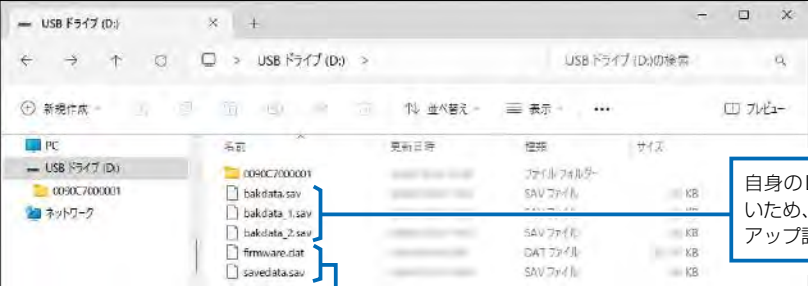
自身のLAN側MACアドレス(例：0090C7000001)と一致するフォルダーがあるとき



あらかじめ作成しておいたフォルダーの中にバックアップ設定ファイルを作成します。

あらかじめ作成しておいたフォルダーの中にある設定ファイルやファームウェアファイルを読み込みます。

自身のLAN側MACアドレス(例：0090C7000002)と一致するフォルダーがないとき



自身のLAN側MACアドレスと一致するフォルダーがないため、USBメモリーのルートディレクトリーにバックアップ設定ファイルを作成します。

自身のLAN側MACアドレスと一致するフォルダーがないため、ルートディレクトリーにある設定ファイルやファームウェアファイルを読み込みます。

3 保守について

6. USBメモリーから自動で設定を復元するには

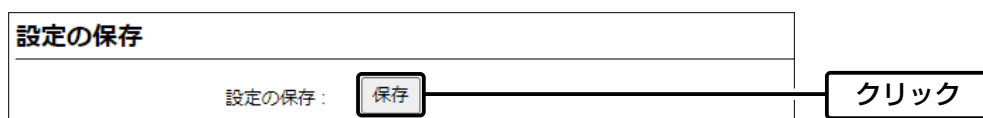
管理 > 設定の保存/復元

本製品の設定ファイルをUSBメモリー(市販品)に保存後、設定が異なる本製品にUSBメモリーを差し込んで、自動で設定を復元するまでの手順について説明します。

※ 使用条件については、「USBメモリーによる自動設定機能について」(P.3-10)をご覧ください。

■ 設定ファイルを保存して復元するまでの手順

- 1 USBメモリーをパソコンに差し込みます。
- 2 本製品の設定画面にアクセスします。(P.1-22)
- 3 「管理」メニュー、「設定の保存/復元」の順にクリックします。
「設定の保存/復元」画面が表示されます。
- 4 「設定の保存」欄の「保存」をクリックします。



- 5 「名前を付けて保存」をクリックします。
「名前を付けて保存」画面(別画面)が表示されます。



- 6 「名前を付けて保存」(別画面)画面で、設定ファイルの保存先にUSBメモリーのルートディレクトリーを指定し、ファイル名を「savedata.sav」に変更してから、「保存(S)」をクリックします。

※ ファイル名は、必ず「savedata.sav」に変更してください。

「savedata.sav」以外のファイル名では、USBメモリーからの復元に使用できません。



(次ページにつづく)

3 保守について

6. USBメモリーから自動で設定を復元するには

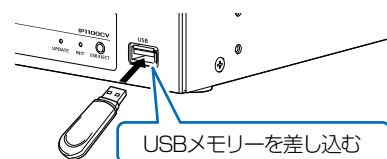
管理 > 設定の保存/復元

■ 設定ファイルを保存して復元するまでの手順

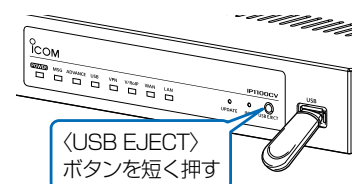
7 USBメモリーをパソコンから取りはずします。
※USBメモリーの取りはずしかたは、各周辺機器に付属する取扱説明書の記載内容にしたがってください。

8 設定を復元する本製品を用意します。

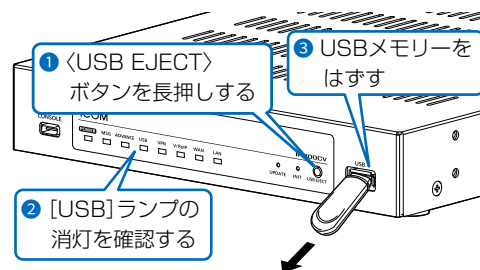
9 savedata.savが保存されたUSBメモリーを本製品のUSBポートに差し込みます。
USBメモリーが接続されると、[USB]ランプが●緑点灯します。



10 <USB EJECT>ボタンを短く押します。
設定を復元するため、本製品が再起動します。



11 [POWER]ランプが●緑点灯に切り替わったことを確認してから、[USB]ランプが消灯するまで、<USB EJECT>ボタンを押しつづけます。
[USB]ランプ消灯後、本製品からUSBメモリーを取りはずします。
※USBメモリーには、復元前の設定内容を保存した設定ファイルが自動でバックアップファイル(bakdata.sav)として保存されています。



ご注意

- ◎設定復元が完了するまで、絶対にUSBメモリーを取りはずしたり、電源を切ったりしないでください。
途中で、USBメモリーを取りはずしたり、電源を切ったりすると、設定ファイルの消失や故障の原因になります。
また、設定復元が完了するまで、本製品の設定画面にアクセスしないでください。
- ◎データ保護のため、必ず[USB]ランプが消灯してから、USBメモリーを取りはずしてください。

ご参考

「管理」メニューの「管理ツール」画面で、[USBメモリー]欄(P.3-10)が「有効」(出荷時の設定)に設定されているとき、USBメモリーが差し込まれた本製品の電源を入れると、USBメモリーへのアクセスが開始されます。

3 保守について

7. USBメモリーからファームウェアを更新するには

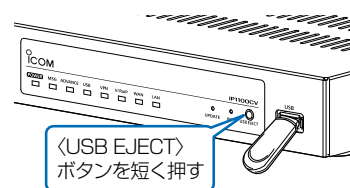
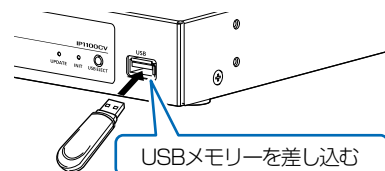
弊社ホームページからダウンロードした本製品のファームウェアファイル(拡張子:dat)をUSBメモリー(市販品)に保存して、本製品のファームウェアを更新するまでの手順について説明します。

※使用条件については、「USBメモリーによる自動設定機能について」(P.3-10)をご覧ください。

※更新を実行する前に、「ファームウェアの更新についてのご注意」(P.3-6)をご覧ください。

■ 更新するまでの手順

- 1 本製品のファームウェアファイルを弊社ホームページからダウンロードして、解凍します。
- 2 ファームウェアファイルのファイル名をfirmware.datに変更します。
※ファイル名は、必ず「firmware.dat」に変更してください。
「firmware.dat」以外のファイル名は、USBメモリーからの更新には使用できません。
- 3 USBメモリーをパソコンに差し込みます。
- 4 firmware.datをUSBメモリーのルートディレクトリーに保存します。
- 5 USBメモリーをパソコンから取りはずします。
※USBメモリーの取りはずしかたは、各周辺機器に付属する取扱説明書の記載内容にしたがってください。
- 6 ファームウェアを更新する本製品を用意します。
- 7 firmware.datが保存されたUSBメモリーを本製品のUSBポートに差し込みます。
USBメモリーが接続されると、[USB]ランプが●緑点灯します。
- 8 〈USB EJECT〉ボタンを短く押します。
ファームウェアを更新するため、本製品が再起動します。



ご注意

ファームウェアの更新が完了するまで、絶対にUSBメモリーを取りはずしたり、電源を切ったりしないでください。
更新中に、USBメモリーを取りはずしたり、電源を切ったりすると、故障の原因になります。

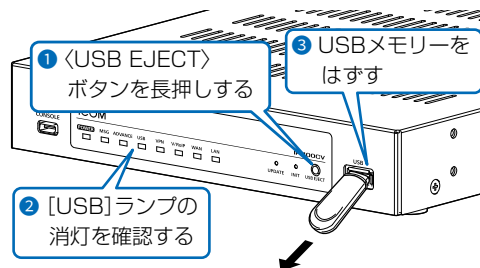
(次ページにつづく)

3 保守について

7. USBメモリーからファームウェアを更新するには

■ 更新するまでの手順

- 9 [POWER] ランプが ● 緑点灯に切り替わったことを確認してから、[USB] ランプが消灯するまで、〈USB EJECT〉ボタンを押しつづけます。
[USB] ランプ消灯後、本製品からUSBメモリーを取りはずします。



ご注意

データ保護のため、必ず[USB]ランプが消灯してから、USBメモリーを取りはずしてください。

更新後は、本製品の設定画面にアクセスして、ファームウェアバージョンを確認してください。

USBメモリーに保存された設定ファイルやファームウェアファイルが本製品に適用されているものと同じとき、破損や本製品以外のものである場合は、自動設定、またはファームウェアの更新をしません。

3 保守について

8. USBメモリー用の認証キーを設定するには

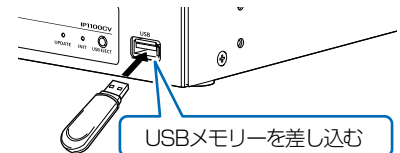
管理 > 管理ツール

本製品にUSB認証キーを設定することで、認証キーが一致するUSBメモリーを使用したときだけ、設定ファイルの自動バックアップ、設定の復元、ファームウェアの更新ができます。

■ 設定のしかた

- 1 USB認証キーの書き込みに使用するUSBメモリーを本製品の[USB]ポートに差し込みます。

※あらかじめ、USBメモリーに保存されたUSB認証キー(ファイル名: usbkey.dat)を変更する場合も、そのUSBメモリーを差し込みます。



- 2 本製品の設定画面にアクセスします。(P.1-22)

- 3 「管理」メニュー、「管理ツール」の順にクリックします。
「管理ツール」画面を表示します。

- 4 [USB設定]項目の[USB認証キー]欄に、大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字64文字以内で入力して、〈登録〉をクリックします。

※USB認証キーを変更する場合は、テキストボックスの内容を削除してから入力してください。

- 5 〈書き込み〉をクリックします。

(次ページにつづく)

3 保守について

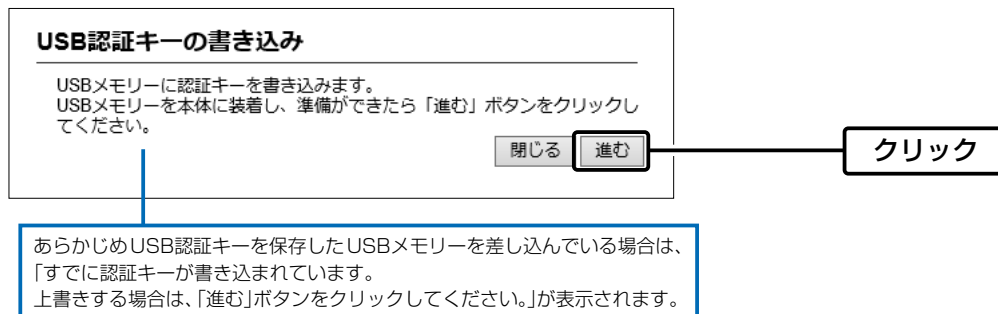
8. USBメモリー用の認証キーを設定するには

管理 > 管理ツール

■ 設定のしかた

6 「USB認証キーの書き込み」(別画面)が表示されたら、〈進む〉をクリックします。

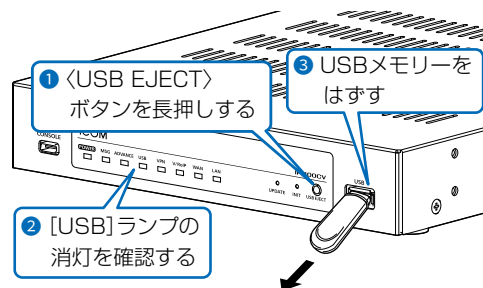
※書き込みを中止する場合は、〈閉じる〉をクリックします。



7 「認証キーの書き込みが完了しました。」が表示されたら、〈閉じる〉をクリックします。



8 本製品からUSBメモリーを取りはずします。



ご注意

データ保護のため、必ず[USB]ランプが消灯してから、USBメモリーを取りはずしてください。

この章では、
困ったときの対処法、設定画面の構成、仕様などを説明しています。

| | |
|----------------------|------|
| 1. 困ったときは | 4-2 |
| 2. Telnet/SSHで接続するには | 4-4 |
| ■ Telnet/SSHコマンドについて | 4-4 |
| ■ [CONSOLE]ポートを使用する | 4-5 |
| 3. 設定画面の構成について | 4-6 |
| 4. 機能一覧 | 4-9 |
| ■ ルーター機能 | 4-9 |
| ■ その他 | 4-9 |
| 5. 定格 | 4-10 |
| ■ 一般仕様 | 4-10 |
| ■ 有線部 | 4-10 |

4 ご参考に

1. 困ったときは

下記のような現象は、故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

[POWER]ランプが点灯しない

- ACアダプターが本製品に接続されていない
→ 本製品のACアダプター、およびDCプラグの接続を確認する
- ACアダプターをパソコンなどの電源と連動したコンセントに接続している
→ 本製品のACアダプターを壁などのコンセントに直接接続する

[LAN]ランプが点灯しない

- LANケーブルが本製品と正しく接続されていない
→ 本製品やパソコンの[LAN]ポート、またはLANケーブルを確認する
- パソコン、またはHUBの電源が入っていない
→ パソコンとHUBの電源が入っていることを確認する

本製品の設定画面が正しく表示されない

- WebブラウザのJavaScript機能、およびCookieを無効に設定している
→ JavaScript機能、およびCookieを有効に設定する

本製品の設定画面にアクセスできない

- IPアドレスのネットワーク部が、本製品とパソコンで異なっている
→ パソコンに設定されたIPアドレスのネットワーク部を本製品と同じにする
- ご使用のWebブラウザにプロキシサーバーが設定されている
→ 〈スタート〉(ロゴボタン)→[設定]→[ネットワークとインターネット]にある[プロキシ]で、設定を確認する

インターネットに接続できない

- 回線接続業者に契約をしたが、工事完了、または使用開始の通知がない
→ 契約、または工事の完了日をご契約の回線接続業者に確認する
- 使用する機器のMACアドレスを登録していない
→ 登録が必要な回線接続業者の場合は、本製品の「WAN MACアドレス」(WAN側接続用ポートのMACアドレス)を登録する(P.iv)
- ブリッジタイプモデム、または回線終端装置(FTTH)をご使用の場合で、ご契約の回線接続業者への接続方法を間違えている
→ 該当する回線種別(DHCPクライアント、固定IP、PPPoE)を、ご契約の回線接続業者に確認する
- ブロードバンドモデム、または回線終端装置(FTTH)が本製品と正しく接続されていない
→ ブリッジタイプモデム、または回線終端装置(FTTH)の場合は、本製品の回線種別の設定をご契約の回線接続業者との契約内容にしたがって変更(DHCPクライアント、固定IP、PPPoE)してから[WAN]ポートと接続する
ルータータイプモデムの場合は、[LAN]ポートと接続する
- WAN(回線接続業者)側からIPアドレスが取得できていない
→ 本製品とブリッジタイプモデム、または回線終端装置(FTTH)の接続を確認する
WAN側から取得したIPアドレスを確認するときは、「ルーター設定」メニューにある「WAN接続先」画面の「回線状態表示」に表示される内容を確認する
- DNSサーバーのIPアドレスが正しく指定されていない
→ 「ネットワーク設定」メニュー、または「ルーター設定」メニューでDNSサーバーの設定を確認する

4 ご参考に

1. 困ったときは

ルーター機能設定時に[WAN]ポート(WAN側)から本製品にアクセスできない

- 出荷時に登録されているIPフィルターの設定により、WAN側から本製品へのアクセスを遮断しているため
→ △注意 IPフィルターの変更によるセキュリティの低下で生じる結果については、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

USBメモリーにアクセスできない

- 本製品のUSBメモリー機能を無効に設定している
→ 本製品のUSBメモリー機能を有効に設定する

WLAN無線機が圏外、または「接続試行中」と表示される

- 無線アクセスポイントとの距離がはなれすぎている
→ 場所を移動してみる
- 無線アクセスポイントの電源が入っていない
→ 無線アクセスポイントの電源を入れる
- WLAN無線機機(VP-2100を除く)の無線LAN設定が接続先の無線アクセスポイントと合っていない
→ 接続先の無線アクセスポイント側で無線LAN設定などを確認する
→ 各端末のプログラミングソフトウェアでWLAN無線機の無線LAN設定などを確認、または変更する
- 接続先の無線アクセスポイントがANY拒否などSSIDステルス(隠蔽)機能を設定している(5GHz帯(W53/W56)利用時)
→ 接続先の無線アクセスポイント側でANY拒否などSSIDステルス(隠蔽)機能を確認する

WLAN無線機が「設定取得失敗」と表示される

- WLAN無線機(VP-2100を除く)の保守サーバー設定が接続先のコントローラーと合っていない(圏内表示の場合)
→ 各端末のプログラミングソフトウェアでWLAN無線機の保守サーバー設定などを確認、または変更する
→ 本製品でWLAN無線機の保守サーバー設定などを確認、または変更する
- コントローラーがネットワークに接続されていない
→ コントローラーやHUB、またはLANケーブルを確認する

WLAN無線機で通話できない

- 相手局番号、またはグループ番号を間違えている
→ 相手局番号、またはグループ番号を確認する
- 相手先の電話番号、またはグループ番号を「呼出先設定」画面に登録していない
→ 相手先の電話番号、またはグループ番号を「呼出先設定」画面で確認する
→ 接続先のVE-PG3やVE-PG4とブリッジ接続できているか確認する

WLAN無線機(IP200PG/VP-2100を除く)で近隣呼び出しができない

- 近隣呼出機能が無効に設定されている
→ コントローラーの「無線機個別」画面で近隣呼出機能を確認する
→ 設定を変更した場合は、WLAN無線機を再起動して、本製品の設定内容を再取得する
→ IP100Hの[FUNC]を押して近隣呼出を選択し、「ON」にする
→ IP110H、IP200H、IP210Hのメニュー画面で近隣呼出機能を「ON」にする
- WLAN無線機が近隣呼出機能で接続する無線アクセスポイントが設定されていない
→ コントローラーの「近隣呼出接続」画面で設定内容を確認する

2. Telnet/SSHで接続するには

Telnet/SSHでの接続について説明します。

ご使用のOSやTelnet/SSHクライアントが異なるときは、それぞれの使用方法をご確認ください。

※出荷時、「Telnet/SSH設定」項目の[Telnet]欄が「無効」に設定されているため、Telnetクライアントから本製品にアクセスできません。（取扱説明書[活用編]）

※本製品のTelnetで採用している文字コードは、UTF-8です。

Windows標準のTelnetクライアントでは対応できない場合がありますので、UTF-8に対応したターミナルソフトウェアをご使用ください。

【ログインについて】

① 下記を入力して、ログインします。

login : admin (固定)

Password: 「管理者」画面で設定したパスワードを入力します。（取扱説明書[活用編]）

② ログインに成功すると、プロンプト IP1100CV> が表示されます。

【設定の保存について】

設定変更後、「save」を入力して[Enter]キーを押します。

※コマンド入力での保存をしていない場合、本体再起動後、設定の変更が失われます。

【ログアウトについて】

「quit」、「exit」、「logout」コマンドを実行すると、ログアウトします。

■ Telnet/SSHコマンドについて

使用できるTelnet/SSHコマンドの表示方法と、コマンド入力について説明します。

| | |
|---------------|---|
| コマンド一覧…………… | [Tab]キーを押すと、使用できるコマンドの一覧が表示されます。 コマンド名の入力につづいて[Tab]キーを押すと、サブコマンドの一覧が表示されます。 |
| コマンドヘルプ…………… | コマンドの意味を知りたいときは、コマンド名につづいて、「?」を入力するとコマンドのヘルプが表示されます。 例) IP1100CV> save ? (saveコマンドのヘルプを表示する場合) ※「help」を入力して[Enter]キーを押すと、全ヘルプの一覧が表示されます。 ※Windows標準のTelnetクライアントでは文字化けする場合がありますので、UTF-8に対応したターミナルソフトウェアをご使用ください。 |
| コマンド名の補完…………… | コマンド名を先頭から数文字入力し[Tab]キーを押すと、コマンド名が補完されます。 入力した文字につづくコマンドが1つしかないときは、コマンド名を最後まで補完します。 例) e[Tab]→exit 複数のコマンドがあるときは、1回目の押下でビープ音コマンドを送出し、2回目以降の押下でコマンド候補を表示します。 例) res[Tab]→reset restart ※ビープ音は、お使いのターミナルソフトウェアやOSの設定により、音の有無、音色が異なります。 |

4 ご参考に

2. Telnet/SSHで接続するには

■ [CONSOLE]ポートを使用する

本製品の[CONSOLE]ポートとパソコンの[USB]ポートを、市販のUSBケーブル(Type-C)で接続すると、ターミナルソフトウェアから設定できます。

※ご使用していただくためには、USBドライバーが必要です。

※弊社ホームページから、USBドライバーとインストールガイドをダウンロードしていただき、手順にしたがってインストールしてください。

※USBドライバーをインストールしたあと、ターミナルソフトウェアのCOMポートを下記の値に設定します。

- ◎[接続方法]の選択 : USBケーブルを接続しているCOMポートの番号を指定します。
- ◎通信速度 : 115200(ビット/秒)
- ◎データビット : 8
- ◎パリティ : なし
- ◎ストップビット : 1
- ◎フロー制御 : なし

※設定後、何も入力せずに[Enter]キーを押すと、「IP1100CV login:」と表示されます。

4 ご参考に

3. 設定画面の構成について

本製品の全設定を初期化したとき、Webブラウザに表示される画面構成です。

| 設定メニュー | 設定画面 | 設定項目 |
|--------------|--------------|--|
| TOP | TOP | システム情報 MACアドレス |
| 情報表示 | ネットワーク情報 | インターフェース Ethernetポート接続情報 DHCPリース情報 |
| | SYSLOG | SYSLOG |
| ネットワーク設定 | IPアドレス | 本体名称 IPアドレス設定 |
| | DHCPサーバー | DHCPサーバー設定 静的DHCPサーバー設定 静的DHCPサーバー設定一覧 |
| | スタティックルーティング | IP経路情報 スタティックルーティング設定 スタティックルーティング設定一覧 |
| | ポリシールーティング | 送信元ルーティング設定 送信元ルーティング設定一覧 |
| | QoS | QoS設定 QoSルール設定 QoSルール設定リスト |
| ルーター設定 | WAN接続先 | 回線状態表示 回線種別設定 |
| | アドレス変換 | アドレス変換設定 DMZホスト設定 静的マスカレードテーブル設定 静的マスカレードテーブル設定一覧 |
| | IPフィルター | 一般設定 IPフィルター設定 IPフィルター設定一覧 |
| | 簡易DNS | 簡易DNSサーバー設定 簡易DNSサーバー設定一覧 |
| | VPN | IPsec設定 IPsecトンネル設定 IPsecトンネル設定一覧 |
| 無線機コントローラー設定 | RoIP通信設定 | 他拠点通信設定 VoIP拡張設定 |
| | テナント設定 | テナント番号 |
| | RoIPサーバー | 通話優先順位設定 |
| | ブリッジ | ブリッジ設定 ブリッジ設定一覧 ブリッジグループ設定 ブリッジグループ設定一覧 |
| | 他拠点接続 | 他拠点接続設定 他拠点設定一覧 |
| | 近隣呼出接続 | 近隣呼出接続設定 アクセスポイント検索設定 近隣呼出接続設定一覧 |

4 ご参考に

3. 設定画面の構成について

| 設定メニュー | 設定画面 | 設定項目 |
|-----------------------|------------------------------|------------------------|
| 無線機コントローラー設定 (つづき) | 無線機管理 無線機追加 | 無線機管理 |
| | | TRX番号設定 |
| | | TRX番号設定一覧 TRX番号一括設定 |
| | 無線機個別 | 無線機個別設定 |
| | | 証明書管理 |
| | | 無線機個別設定コピー |
| | | 無線機個別設定一覧 |
| | 無線LAN | 無線LAN設定 |
| | | 無線LAN設定一覧 |
| | アドレス帳 | アドレス帳グループ設定 |
| | | アドレス帳グループ詳細設定 |
| | | アドレス帳設定の保存と書き込み |
| | | アドレス帳設定 |
| | | アドレス帳設定一覧 |
| | メッセージ | メッセージグループ設定 |
| | | メッセージグループ詳細設定 |
| | | メッセージ設定の保存と書き込み |
| | | メッセージ設定 |
| | プレゼンス 設定グループ詳細 | プレゼンス設定 |
| | | 設定グループ設定一覧 |
| 設定グループ設定 | | |
| 設定グループ一括設定 | | |
| 無線機通話録音 | 共通設定 | |
| | 録音ボックス設定 | |
| | 録音ボックス設定一覧 | |
| 呼出先設定 | 呼出先設定 | 呼出先設定 |
| | | 呼出先設定一覧(全体) |
| | | 呼出先設定一覧(グループ) |
| | | 呼出先設定一覧(トークグループ) |
| | | 呼出先設定一覧(管理用トークグループ) |
| | | 呼出先設定一覧(個別) |
| | | 呼出先設定一覧(電話) |
| | | 呼出先一括設定 |
| | | 管理 |
| 時計 | 時刻設定 自動時計設定 SNTPサーバー設定 | |
| SYSLOG | SYSLOG設定 | |
| SNMP | SNMP設定 SNMPv3設定 | |
| 管理ツール | USB設定 | |
| | HTTP/HTTPS設定 | |
| | Telnet/SSH設定 | |
| | UID確認 | |
| ネットワークテスト | PINGテスト | |
| | 経路テスト | |
| 再起動 | 再起動 | |

4 ご参考に

3. 設定画面の構成について

| 設定メニュー | 設定画面 | 設定項目 |
|---------|--------------|-------------|
| 管理(つづき) | 設定の保存/復元 | 設定の保存 |
| | | 設定の復元 |
| | | 設定内容一覧 |
| | 初期化 | 初期化 |
| | ファームウェアの更新 | ファームウェア情報 |
| | | オンライン更新 |
| | | 自動更新 |
| | | 手動更新 |
| | 内蔵ファームウェアの更新 | 内蔵ファームウェア情報 |
| | | オンライン更新 |

4. 機能一覧

■ 無線機関連機能

- 無線機制御(300台)
- 単信通信(シンプレックス)
- 複信通信(フルデュプレックス)
- 多重通信
- 全体/グループ呼び出し
- トークグループ呼び出し
- 個別呼び出し
- 優先呼び出し
- 近隣呼び出し
- グループ会議
- プレゼンス機能(10件)
- メッセージ機能(10件)
- アドレス帳
(IP100H : 50件、
IP110H/IP200H/IP210H/VP-2100 : 500件)
- 位置情報
- 受信音声ミュート機能
- 通信圏外通知機能
- オートプロビジョニング
- 無線アクセスポイント検索機能
- 他拠点接続機能
- 弊社製無線機との通信
※VE-PG4/VE-PG3が必要
- VoIPシステムとの通信
※VE-PG4/VE-PG3と弊社製SIPサーバーが必要
- オーダーコールシステム対応
- 無線機通話録音

■ ルーター機能

- PPPoE接続
- IPマスカレード
- 固定IP接続
- 静的マスカレード
- DHCPクライアント接続
- DMZ
- DHCPサーバー
- 静的DHCPサーバー
- スタティックルーティング
- DNS代理応答
- IPフィルター
- QoS
- VPN

■ その他

- 接続制限機能(管理者ID/パスワード)
- 内部時計設定
- ファームウェアの更新(WEB/USB)
- 設定保存/復元(WEB/USB)
- WEBメンテナンス(HTTP/HTTPS)
- TELNETメンテナンス(TELNET/SSH)
- コンソールメンテナンス(USB)
- オンラインファームアップ(自動/手動)

4 ご参考に

5. 定格

定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

■ 一般仕様

電 源 : DC12V±10%[DCプラグ極性：⊖~~⊕~~⊕]
※ACアダプター(付属品)は、AC100V±10%
最大33W(付属のACアダプター使用時)

使 用 環 境 : 温度0～40℃、湿度5～95%(結露状態を除く)

外 形 寸 法 : 約213(W)×36.8(H)×242(D)mm(突起物を除く)

重 量 : 約1.5kg(付属品を除く)

適 合 規 格 : クラスB情報技術装置(VCCI)

インターフェース : ランプ(POWER、MSG、ADVANCE、USB、VPN、V/RoIP、WAN、LAN)
ボタン(UPDATE、INIT、USB EJECT)
[USB]ポート : USB Type-A(USB3.0)
[CONSOLE]ポート : USB Type-C(USB2.0)

■ 有線部

インターフェース : [WAN]ポート(RJ45型)×1(Auto MDI/MDI-X)
[LAN]ポート(RJ45型)×1(Auto MDI/MDI-X)
●IEEE802.3u/100BASE-TX準拠
●IEEE802.3ab/1000BASE-T準拠
●IEEE802.3bz/2.5GBASE-T準拠

通 信 速 度 : 100/1000/2500Mbps(自動切り替え/全二重)

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A7814-2J
© 2024 Icom Inc. 202411